

通
海
學
報

既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	六九
明治四十三、四十四年度	六九
一般會計	六九
歲入	六九
明治四十四年度	六九
一般會計	七〇
歲入	七〇

既往年度 目次

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳入ノ賦課徴收ニ於テ

立木ノ拂下ヲ爲スニ當リ長期間繼續シテ盗伐ヲ爲サシメタルモノ一件

其他不當ナルモノ七十一件

合計七十二件

明治四十三年、四十四年度

歳入

立木ノ拂下ヲ爲スニ當リ長期間繼續シテ盗伐ヲ爲サシメタルモノ一件(六六)

一般會計

歳入經常部

第三款 官業及官有財産收入

第二項 森林收入

報告

(六六) 本項決算額ノ外鹿兒島大林區署ニ於テ收入ニ至ラサルモノ

アリ右ハ薩摩國伊佐郡山野村十會國有林外一箇所ニ於ケル主産物ノ拂下ヲ爲スニ當リ山野小林區署森林主事甲斐某外三名
カ或ハ共謀シ或ハ單獨ニ拂下出願人平岡某外二名ノ請託ヲ容レ明治四十一年八月ノ頃ヨリ四十四年六月ニ至ル間ニ於テ出
願以外ノ縦外二種三百八十三本此材積一萬六千五百六十五尺ノ餘價格貳萬千九百貳拾六圓五拾參錢八厘ニ相當スル立木ヲ
盗伐セシメタルモノニシテ内辨償濟又現存物件價格百九圓貳拾六錢四厘ヲ控除シタル前掲金額ハ未タ收入ニ至ラサルモノ
ナリ依テ本件ハ立木ノ拂下ヲ爲スニ當リ長期間繼續シテ多數ノ盗伐ヲ爲サシメタルモノニシテ不當ナリトス

既往明治四十三年、四十四年度

歳入(六六)

二二、八一七、二七四

二二、八一七、二七四

二二、一三九、二七〇

二二、九五六、五四四

二二、八一七、二七四

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

明治四十四年度

歳入

其ノ他不當ナルモノ七十一件(六七)

二、一三九、二七〇

一般會計

歳入經常部

第一款 租 稅 第二項 所得稅

二、一三九、二七〇

【報告】

(六七) 横須賀外七十稅務署ニ於テ收入ニ至ラサルモノ

アリ右ハ横須賀市外百三十六郡市町村水利組合ニ於テ本年度中株式會社日本興業銀行ニ支拂ヒタル公債利子拾萬七千貳拾七圓六拾五錢ニ對スル所得稅ニシテ稅法ノ規定ニ依レハ公債利子所得稅ハ利子支拂ノ際支拂者ニ於テ之ヲ徵收スヘキモノナルニ其利子全額ヲ銀行ニ交付シ後チ之カ徵收ヲ爲シタルカ爲メ本年度ニ於テ金庫ニ拂込ヲ爲スコトヲ得サリシニ因ルモノナリ而シテ今之カ金庫ニ拂込ノ情況ヲ觀ルニ利子支拂後六箇月以上經過ノモノ八百拾貳圓餘一箇年以上經過ノモノ六百參拾七圓餘二箇年乃至三箇年經過ノモノ參百六拾九圓餘アリ甚シキハ本院ノ照會ヲ受ケタル後拂込ヲ爲シタルモノ少カラス右ハ畢竟歳入徵收ノ監督上不注意ニ基因スルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

衆議院決議

政府ハ決算ニ於テ違法ト決議セルモノニ對シ將來ニ於テ其收支方法ヲ改正スヘキモノトス

大正二年度歳入歳出決算検査報告

大正二年度歲入歲出決算檢查報告

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	七一
一般會計	七三
歲入	七三
歲出	八一
外務省所管	八一
內務省所管	八二
大藏省所管	八八
陸軍省所管	八八
海軍省所管	九二
農商務省所管	九七
逓信省所管	九八
特別會計	一〇〇
內務省所管	一〇〇
朝鮮總督府	一〇〇
歲出	一〇〇
臺灣總督府	一〇三

大正二年度 目次

二

歲出	一〇三
樺太廳	一〇六
歲出	一〇六
大藏省所管	一〇七
帝國鐵道	一〇七
資本勘定	一〇七
歲出	一〇八
收益勘定	一〇八
歲出	一〇八
陸軍省所管	一一四
東京砲兵工廠	一一五
歲出	一一五
海軍省所管	一一六
海軍工廠資金	一一六
歲出	一一六
文部省所管	一一七
東京帝國大學	一一七
歲出	一一七
農商務省所管	一一八
製鐵所	一一八
歲出	一一八
官金	一一九
既往年度	一二三
明治四十五	一二三
大正元年度	一二三
貴族院決議	一二五
衆議院決議	一二五
衆議院附帶條件	一二六
衆議院希望決議	一二六

大正二年度 農商務省所管 製鐵所 歲出 東京帝國大學 歲出 農商務省所管

大正二年度 目次

三

大正二年度歳入歳出決算検査報告

豫算及法律勅令違背ノ事項

大正二年度歳入歳出總決算及同特別會計歳入歳出決算ノ内歳入ノ賦課徴收歳出ノ使用及官金ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ

一般會計

歳入ニ於テ

- 租税ノ徴收過ニ屬スルモノ八件 二八、〇一六、八一〇
- 租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十四件 一六、〇六六、七五〇
- 價格ヲ異ニセル物品ヲ他ノ低價品中ニ混同シテ拂下ヲ爲シタルモノ一件 一、五〇〇、〇〇〇
- 其他不當ナルモノ三件 二、一二四、〇七〇
- 合計二十六件 四七、七〇七、六三〇

歳出ニ於テ

- 未竣功ノ工事ニ對シ竣功シタルモノ、如ク装ヒ工費ヲ仕拂ヒタルモノ一件 三、四七五、七五〇
- 經費ノ所屬年度ヲ混同シ且ツ高價ノ物件ヲ購入シタルモノ一件 一一、一六〇、〇〇〇
- 物件ノ購入ニ關シ其數量ノ當否ヲ確認スルコト能ハサルモノ三件 四六、〇七七、六四〇
- 虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ十三件 五、五〇四、一九七
- 競争入札ニ付スヘキ工事ノ施行又ハ物件ノ購入ヲ隨意契約ニ依リタルモノ四件 四八、三四四、九九〇
- 豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ五件 八七、四二二、〇一〇

大正二年度

大正二年度

請負契約ノ協定宜シキヲ得サルモノ一件 六、二六五、六四九^四三二五
 交付地金ヲ低價ニ算定シ請負額ヨリ控除シタルカ爲メ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ二件 三、八三、六八八〇五〇
 事業上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ二件 五、五一、二二三〇七
 其他不當ナルモノ一件 三、四九、二〇〇
 合計三十三件 六、八五七、一八三、四六九

特別會計

歳出ニ於テ

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ三件 二九、一一九^四一六〇
 豫算ノ使用宜シキヲ得サルモノ一件 一、七四八、二二〇
 請負料ノ仕拂ニ代ヘ官ニ納付セシムヘキ物件ヲ交付シタルモノ一件 二七、二五五〇一〇
 競争入札ニ付スヘキ物件ノ購入ヲ隨意契約ニ依リタルモノ三件 一七、八八八、七五〇
 豫算ノ目的ニ違背シ且ツ高價ヲ以テ物件ヲ購入シタルモノ一件 二〇、二三八、二九二〇
 設計ニ違背シタル工事ニ對シ工費ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件 八、〇〇四、三八五
 虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ四件 一一、五三三、七〇〇
 工事ノ施設不完全ニシテ開業後電車ノ運轉ヲ休止シ手直ヲ要スルニ至リタルモノ一件 六、六四、六〇五、九九七
 設計宜シキヲ得ス竣功後幾クナラスシテ大破ヲ來シタルモノ一件 一三、七二二、七〇六
 移轉改築ノ名義ヲ以テ新營ヲ爲シ在來建物ヲ請負人ニ交付シ其計算明ナラサルモノ四件 一八、〇一七、八五〇
 事業實施ノ方法宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件 五、八二七、〇六〇
 物件ノ購入ニ關シ事實ニ反スル證明ヲ爲シ年度所屬ヲ混同シタルモノ一件 四九〇、四一〇

七二

不正ノ入札ヲ行ヒ且ツ粗造工事ニ對シ工費ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件 二二、一〇〇、〇〇〇
 合計二十三件 一、〇二二、六九六、一六八

官金ニ於テ

銀行救済ノ爲メ巨額ノ支出ヲ爲スニ當リ國庫金ノ運用ト爲シ豫算決算ニ編入セサルモノ一件 五、八五四、八三三^四二五四
 總計八十三件

一般會計

歳入

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ八件(一)(二)(三)(四)
 租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十四件(一)(二)(三)(四)
 價格ヲ異ニセル物品ヲ他ノ低價品中ニ混同シテ拂下ヲ爲シタルモノ一件(八)
 其他不當ナルモノ三件(五)(六)(七)
 合計二十六件 四七、七〇七、六三〇

歳入經常部

第一款 租 税 第二項 所得税

【報告】

(一) 館林稅務署ニ於テ徴收過ニ屬スルモノ
 ア右ハ土毛モスヲン株式会社ノ所得額ヲ前年度ニ於テ拾壹萬七千參拾九圓參錢ト決定シタルモ益金中ニ計算セル會社合併益金拾四萬貳千四百五拾九圓參拾壹錢ヲ所得額ヨリ控除セシハ誤謬トシテ本年度ニ於テ之ヲ加算更訂シ前記ノ稅額ヲ追

八、九〇三、七〇〇

大正二年度 歳入 (一)

七三

大正二年度

請負契約ノ協定宜シキヲ得サルモノ一件
 交付地金ヲ低價ニ算定シ請負額ヨリ控除シタルカ爲メ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ二件
 事業上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ二件
 其他不當ナルモノ一件
 合計三十三件

特別會計

歳出ニ於テ

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ三件
 豫算ノ使用宜シキヲ得サルモノ一件
 請負料ノ仕拂ニ代ヘ官ニ納付セシムヘキ物件ヲ交付シタルモノ一件
 競争入札ニ付スヘキ物件ノ購入ヲ隨意契約ニ依リタルモノ三件
 豫算ノ目的ニ違背シ且ツ高價ヲ以テ物件ヲ購入シタルモノ一件
 設計ニ違背シタル工事ニ對シ工費ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件
 虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ四件
 工事ノ施設不完全ニシテ開業後電車ノ運轉ヲ休止シ手直ヲ要スルニ至リタルモノ一件
 設計宜シキヲ得ス竣功後幾クナラスシテ大破ヲ來シタルモノ一件
 移轉改築ノ名義ヲ以テ新營ヲ爲シ在來建物ヲ請負人ニ交付シ其計算明ナラサルモノ四件
 事業實施ノ方法宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件
 物件ノ購入ニ關シ事實ニ反スル證明ヲ爲シ年度所屬ヲ混同シタルモノ一件

七二

六、二六五、六四九^四三二五
 三、八三六、八八〇五〇
 五、五一二、三〇七
 三、四九二、二〇〇
 六、八五七、一八三、四六九

不正ノ入札ヲ行ヒ且ツ粗造工事ニ對シ工費ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件
 合計二十三件

官金ニ於テ

銀行救済ノ爲メ巨額ノ支出ヲ爲スニ當リ國庫金ノ運用ト爲シ豫算決算ニ編入セサルモノ一件
 總計八十三件

五、八五四、八三三^四二五四

一般會計

歳入

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ八件(一)(二)(三)(四)
 租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十四件(一)(二)(三)(四)
 價格ヲ異ニセル物品ヲ他ノ低價品中ニ混同シテ拂下ヲ爲シタルモノ一件(八)
 其他不當ナルモノ三件(五)(六)(七)
 合計二十六件

歳入經常部

第一款 租 税 第二項 所得稅

【報告】

(一) 館林稅務署ニ於テ徴收過ニ屬スルモノ
 ア) 右ハ土毛モスリヤン株式會社ノ所得額ヲ前年度ニ於テ拾壹萬七千參拾九圓參錢ト決定シタルモ益金中ニ計算セル會社合
 併益金拾四萬貳千四百五拾九圓參拾壹錢ヲ所得額ヨリ控除セシハ誤謬トシテ本年度ニ於テ之ヲ加算更訂シ前記ノ稅額ヲ追

八、九〇三、七〇〇

大正二年度 歳入 (一)

七三

徴シタルモノアリ然レトモ本會社ハ大正元年十一月日本糸糸毛斯輪株式會社ト合併ノ結果被合併會社ノ拂込株式六拾五萬圓ニ對シ合併會社ハ五拾萬圓拂込株式ヲ被合併會社ノ株主ニ交付シタルモノニシテ之ニ依リ生シタル差益金拾五萬圓ハ資本ノ異動ニ因ルモノナルヲ以テ所得額ニ計算スヘキモノニアラス隨テ之カ所得額ハ拾萬九千四百九拾八圓參拾四錢ト決定スヘキモノナリ

新潟稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

五、九〇二、四三〇

アリ右ハ株式會社新潟銀行ノ所得額ヲ決定スルニ當リ當該事業年度中前期繰越ニ係ル株式會社中條共立銀行合併差益金九萬四千四百貳拾貳圓八拾貳錢ヲ以テ補填シタル貸金缺損五萬七千參百五拾四圓六錢及抵當質物流込物件時價換算損却金壹萬六百五拾九圓ハ營業上必要ノ經費ナルニ損金ニ計算セス且ツ其殘額貳萬六千四百九圓七拾六錢ヲ所得額ニ加算シタルニ因ルモノナリ

永代橋稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

二、七八五、一五〇

アリ右ハ九州水力電氣株式會社ノ所得額ヲ四萬四千五百六拾貳圓六拾壹錢ト決定シタルモノナルモ當該事業年度中博多電氣軌道株式會社ト合併ノ際生シタル差益金ヲ以テ補填シタル資産ノ減價償却北筑線及電鐵創立費償却金八拾七萬五千圓ハ之ヲ損金ニ計算スヘキモノナルヲ以テ同會社ニ對シ所得稅ヲ課スヘキモノニアラス

同署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

二、七六九、六二〇

アリ右ハ合名會社中井商店ノ所得額ヲ決定スルニ當リ別途積立金及滯貸償却ノ事實ナキニ拘ラス別途積立金參萬千圓ヲ以テ滯貸ヲ償却セルモノトシテ損金ニ計算シ又恩給資金所屬支出金ノ收入金ニ超過セル七百貳拾六圓貳拾四錢ヲ損金ニ計算セサルニ因ルモノナリ

同署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

二、六二五、九七〇

アリ右ハ共済生命保險株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ保險契約分配金ノ仕拂額貳萬六千七百六拾四圓拾錢ヲ損金ニ計

算セサルニ因ルモノナリ

横濱稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

二、七七二、八九〇

アリ右ハ株式會社横濱取引所ノ所得額ヲ四萬四千參百六拾六圓參拾參錢ト決定シタルモノナルモ當該事業年度中資本ヲ減少シテ得タル差額ヲ以テ償却セル前期繰越損失金貳拾萬圓ハ之ヲ損金ニ計算スヘキモノナルヲ以テ同會社ニ對シ所得稅ヲ課スヘキモノニアラス

神戸稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、八二一、九五〇

アリ右ハ株式會社川崎造船所ノ所得額ヲ決定スルニ當リ使用人ニ支給シタル賞與金貳萬九千五百五拾壹圓ヲ損金ニ計算セルニ因ルモノナリ

一、六八七、五〇〇

東稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一、八七二、二七〇

アリ右ハ株式會社浪速銀行ノ所得額ヲ決定スルニ當リ重役ノ遺族ニ對シ贈與シタル慰勞金貳萬七千圓ヲ損金ニ計算セサルニ因ルモノナリ

一、一六九、〇二〇

アリ右ハ大阪市東區堀内某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ貸金參萬圓此所得貳千貳百參圓貳拾錢ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

一、〇〇一、四四〇

函館稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

七、五

八圓四拾四錢四厘ト計算スルト共ニ實際支出セサル船舶東郷丸大修繕積立金五千八百九拾壹圓參拾貳錢ヲ損金ニ算入シ一方ニ於テ當期ノ利益ニ繰入レタル前期繰越積立金四千參百貳拾圓ヲ益金ヨリ控除セサリシニ因ルモノナリ

八〇八^四一二〇

佐世保稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ佐世保市田中丸某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ貸金七萬參千六百六拾六圓此所得七千參百六拾六圓六拾錢ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

五五八^四三〇〇

北及茨木兩稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ大阪市北稅務署管内ヨリ茨木稅務署管内へ轉出シタル菊地某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ池田町ニ於ケル醫業ノ所得五千貳百圓ト計算スヘキヲ誤テ五百貳拾圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

四〇九^四一九〇

金澤稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ石川縣精練株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ當該事業年度中假受金ヨリ設立費償却積立金ニ振替ヘタル四千四百四拾七圓資産價格ノ増加益貳千四百圓ヲ所得額ニ加算セサルニ因ルモノナリ

一七四^四七三〇

柏崎稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ新潟縣刈羽郡橫澤村山口某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ貸金壹萬六千圓此所得千四百五拾參圓六拾五錢ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

一四七^四四七〇

神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ東京市神田區加藤某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ大正二年三月土地共有者ヨリ其持分ヲ買得シタルニ由ル所得千五百拾貳圓四拾八錢ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

一一五^四七六〇

名古屋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ名古屋市東區梅村某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ貸金九千八百圓此所得千五百五拾貳圓及土地所得貳百八圓合計千參

百六拾圓ヲ脫漏シタルニ因ルモノナリ

【辨明】

右ハ孰モ取扱上ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

會計検査院検査報告ノ通

【報告】

但シ第一種所得税中金澤稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スル石川縣精練株式會社ノ分會社解散ノ爲徵收シ能ハサルモノ及第三種所得税中徵收不足ノ分ニシテ本人ノ申告ナキカ爲徵收シ能ハサルモノヲ除クノ外大正三年度及同四年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】

(一) 中野稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ
アリ右ハ信濃電氣株式會社ノ所得額ヲ前年度ニ於テ五萬五千五百圓八拾九錢ト決定シタルモ同會社カ明治四十四年十月上田電燈株式會社ヲ合併スルニ際シ被合併會社ノ株主ヨリ持込タル貳萬七千五百圓ヲ益金ニ計算洩トシテ本年度ニ於テ之ヲ加算更訂シ前記ノ稅額ヲ追徵シタルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ該持込金ハ合併ノ際資産ノ減價償却ニ充テサルノミナラス合併會社ハ其出金額ヲ積立金トシテ資産増加ニ處分シタル以上ハ其原因資産状態ノ調節ニアリトスルモ合併會社ノ利益金ナリト認ムト謂フニアリ然レトモ會社合併ニ際シ兩會社ノ資産状態ヲ調節シ各株主ノ利益ヲ均衡ナラシムル爲メ合併ノ方法トシテ被合併會社ノ株主ニ對シ一定ノ出金ヲ爲サシメタルモノニシテ畢竟會社ノ合併ニ伴フ資産ノ異動ニ外ナラサルヲ以テ所得ニ算入スヘキモノニアラス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

中野稅務署ニ於テ信濃電氣株式會社カ上田電燈株式會社ヲ合併スルニ際シ被合併會社ノ株主ヨリ持込ミタル貳萬七千五百圓ニ對シ課税シタルハ不當ナリト檢定セリト雖該持込金ハ株主カ無償ニテ之ヲ會社ニ提供シタルモノナル以テ當然會社ノ當該事業年度ニ於ケル總益金ニ計算スヘキモノナルニ會社カ便宜之ヲ省略シテ直ニ減價償却積立金ニ繰込ミタルモノナリ而シテ第一種ノ所得ハ法人ノ各事業年度總益金ヨリ同年度總損金ヲ控除シタルモノニ對シ課税スヘキモノナルヲ以テ益金ノ性質ヲ有スル該持込金ヲ總益金中ニ計算シ所得稅ヲ課シタルハ稅法上當然ノ處分ニシテ敢テ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

第三項 營業稅

【報告】

(三) 永代橋稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一六二^四四二〇

大正二年度 歳入 (一)(三)

アリ右ハ渡邊倉庫株式會社ノ課税標準タル資本金額ヲ決定スルニ當リ課税外ニ屬スル貸貸倉庫ニ要スル資本見積額參拾貳萬四千貳百八拾五圓ヲ控除セス拂込株式金及前期繰越金ノ平均額五拾萬參千四拾五圓ヲ以テ之ヲ計算セルニ因ルモノナリ
一、一〇二、四六〇

横濱稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ横濱正金銀行ノ資本金額ヲ計算スルニ當リ書記慰勞資金ノ各月割平均額貳拾萬四百九拾貳圓拾八錢ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正四年度ニ於テ訂正處分済

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

第四項 相続税

【報告】

(四) 新發田稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

五、八〇一、四二〇

アリ右ハ新潟縣白鷺某ノ家督相続ニ付其課税價格ヲ決定スルニ當リ被相続人ノ先代ニ於テ相続人ニ對シ分家セシムル爲メ贈與ノ契約ヲ爲シタル總額拾萬圓ノ内一部交付ニ係ル六千貳百圓ヲ相続財産ニ加算セス且ツ其殘額九萬參千八百圓ヲ相続財産價額ヨリ控除シタルニ因ルモノナリ右ハ被相続人ノ先代ニ於テ本件相続人ヲ分家セシムル爲メ贈與スヘキ契約ヲ爲シタルモノナルヲ以テ其受贈者家督相続人ニ選定セラレタル以上ハ契約ノ要件タル分家ノ事實不能ニ歸シ債務ハ既ニ存在セサルモノナルヲ以テ之ヲ相続財産ヨリ除外シタルハ不當ナルノミナラス受贈者ニ於テ契約ノ趣旨ニ依リ分家スルトキハ相続税法第二十三條ニ基キ課税スヘキモノナルニ受贈者カ家督相続ヲ爲ス場合ニ於テ之ヲ相続財産價額ニ計算セサルカ如キハ相続財産ニ對シ課税ヲ全ウセントスル税法ノ趣旨ニ反スルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

新發田稅務署ニ於テ新潟縣白鷺某ノ家督相続ニ付其ノ課税價格ヲ決定スルニ當リ被相続人ノ先代カ相続人ニ對シ分家セシムル爲メ贈與ノ契約ヲナシタル總額拾萬圓ノ内一部交付ニ係ル六千貳百圓ヲ相続財産ニ加算セス且ツ其ノ殘額九萬參千八百圓ヲ相続財産價額ヨリ控除シタルハ不當ナリト檢定セリト雖該贈與カ贈與契約ト同時ニ其ノ效力ヲ發生セルモノナルコトハ未タ分家ノ事實發生セサル以前ニ於テ贈與者カ贈與財産ノ一部ヲ受贈者ニ交付シタル事實ニ徴スルモ明カナル所ナリトス果シテ然ラハ假令受贈者カ偶然贈與義務繼承者ノ家督相続人ニ選定セラレ分家ノ事實不能ニ歸シタル場合ト雖既ニ發生セル贈與ノ效力ヲ遡テ消滅セシムルモノニアラス而シテ相続税法上課税價格ニ見積ルヘキ相続財産ハ相続開始ノ時ニ現存スル被相続人ノ財産ニ限ルヘキモノニシテ又其ノ財産ノ價格ヨリ控除スヘキ債務ハ相続開始ノ時ニ現存スル被相続人ノ債務タルヘキモノナルヲ以テ本件相続ニ付相続開始以前既ニ他人ニ交付済ニ係ル財産ヲ相続財産中ニ加算スヘカラサルハ勿論先代ヨリ繼承セル債務ニシテ其ノ履行未済ニ屬スル分ヲ相続財産ノ價格ヨリ控除スルハ當然ニシテ決シテ不當ト謂フコトヲ得ス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス
【衆決】 承認
(參照) ○相続税法(明治三十八年一月三日法律第二十號)
第三條第一項 被相続人カ本法施行地ニ住所ヲ有スルトキハ相続開始ノ際本法施行地ニ在ル相続財産ノ價額ニ相続開始前一年内ニ被相続人カ本法施行地ニ在ル財産ニ付爲シタル贈與ノ價額ヲ加ヘ其ノ中ヨリ左ノ金額ヲ控除シタルモノヲ以テ課税價格トス
三 債務
第二十三條第一項 左ニ掲グル場合ニ於テ本法施行地ニ在ル不動産及船舶以外ノ財産ニ付爲シタル贈與ノ價額カ五百圓以上ナルトキハ遺產相続開始シタルモノト看做シ其ノ財産ノ價額ヲ課税價格トシテ本法ニ依リ相続税ヲ課ス
二 分家ヲ爲スニ際シ若ハ分家ヲ爲シタル後本家ノ戸主又ハ家族カ分家ノ戸主又ハ家族ニ贈與ヲ爲シタルトキ

【報告】

(五) 東稅務署ニ於テ徵收ニ係ル

一、二八五、六一〇

ハ明治四十五年五月中開始セル大阪市東區伊藤某ノ家督相続ニ付賦課シタル課税價格拾九萬貳千參百九拾九圓參拾六錢此稅額六千四百貳拾七圓九拾七錢ノ内本年度ニ對スル年賦納付額ニシテ五千四百四拾貳圓參拾六錢ハ後年度ニ屬スルモノナリ右ハ課税價格ヲ決定スルニ當リ土地家屋其他ノ相続財産此價額四萬七千四拾貳圓五拾九錢ヲ脱漏シ稅額ニ於テ貳千參百拾四圓拾貳錢ノ不足ヲ生スルニ至リシモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

大正二年度 歳入 (五)

大正二年度 歳入 (六)(七)

八〇

但シ大正三年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】

(六) 佐世保稅務署ニ於テ徵收ニ係ル

五二一四八〇

ハ明治三十九年五月及十月中開始セル佐保某外二名ノ家督相續ニ付大正二年三月ニ至リ賦課シタル相續稅價格參萬九千八百四拾壹圓參拾貳錢此稅額六百拾五圓參拾貳錢ノ内本年度ニ於テ徵收シタルモノナルモ會計法第十九條ニ依リ時効完成後ニ屬シ遂ニ之カ處分ヲ取消スニ至リシモノナリ當該官吏ノ説明ニ依レハ當時宅地々價修正事務ノ多忙ナリシト納稅者ヨリ提出セル財産目錄ノ時價見積不相當又ハ書類ノ不完全等ノ爲メ多大ノ日子ヲ要シ決定ノ遅延シタルニ因ルモノナリト謂フニアルモ納稅義務者ノ申告ヲ受理セシヨリ長キハ五箇年餘ニ涉リ之カ決定ヲ爲サス遂ニ時効ノ完成スルニ至リシカ如キハ處理宜シキヲ得サリシモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日法律第四號)

第十九條 政府ニ納ムヘキ金額ニシテ其ノ納ムヘキ年度經過後滿五箇年内ニ上納ノ告知ヲ受ケサルモノハ其ノ義務ヲ免ル、モ
ノトス但シ特別ノ法律ヲ以テ期滿免除ノ期限ヲ定メタルモノハ各々其ノ定ムル所ニ依ル

【報告】

(七) 福知山稅務署ニ於テ徵收ニ至ラサリシモノ

三一六九八〇

アリ右ハ若田某外十四名ノ相續ニ對シ各課稅價格最低限ニ達セサルモノト決定シタルモノナルモ其實納稅資格ヲ有シ其課稅價格合計ハ參萬千七百四圓五拾五錢ニシテ之ニ對スル納稅額ハ前記金額ノ如クナルニ同署在勤稅務署屬岡野某カ課稅最低限ニ達セサルモノ、如ク裝ヒ一面ニ於テ課稅價格決定通知書ヲ偽造シテ納稅義務者ニ交付シ之カ金員ヲ騙取シタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正三年度及同四年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

歳入臨時部

第一款 官有物拂下代

第五項 物品拂下代

【報告】

(八) 海軍煉炭製造所ノ徵收ニ係ル

一、五〇〇〇〇〇

ハ同所ニ於テ本年度中谷口無煙煉炭工場主谷口某ニ拂下ケタル洗淨炭五千噸ノ代價ナリ右ハ明治四十五年檢査報告ニ詳悉セシト同シク從來一噸當リ參拾錢ヲ以テ拂下ケタル洗淨炭ニ品質優良ニシテ高價ナル沈澱淨炭千六百五十噸ヲ混合シ同一價格ヲ以テ拂下ケ國庫ニ損失ヲ來セシモノニシテ不當ナリトス(明治四十五年(一一二頁參照))

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ當事者ニ對シテハ將來ヲ注意セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

歳出

外務省所管

未竣功ノ工事ニ對シ竣功シタルモノ、如ク裝ヒ工費ヲ仕拂ヒタルモノ一件(九)

三、四七五、七五〇

歳出臨時部

第一款 營繕費 第一項 在外公館修築費

【報告】

(九) 外務省ノ支出ニ係ル

三、四七五、七五〇

ハ在間島總領事館廳舍及附屬家竝ニ官舎塗替其他修繕工事費ニシテ大正二年十月中設計ノ如ク竣成シタリトシテ仕拂ヒタルモノナリ然ルニ同三年五月之カ實地ヲ檢査スルニ廳舎及附屬家漆喰壁塗替工事ハ未竣功ニシテ之ニ相當スル現金千八百

大正二年度 歳入 (八) 外務省 (九)

八一

貳拾七圓ハ總領事館ニ於テ保管セリ當該官吏説明ノ要旨ハ間島ハ不便ノ地ニシテ諸材料及職工等一々遠隔ナル清津方面ヨリ求メサルヘカラサルニ交通機關不備ナル爲メ實際ノ著手意外ニ手間取り工事中既ニ寒冷ノ時季ニ入り到底年度内ニ竣功ノ見込ナキヲ以テ之ヲ中止スルノ已ムナキニ至リシモノニシテ前渡金ヲ一旦返納シ翌年度新ニ經費要求ノ手續ヲ爲スニ於テハ工事情行上ノ困難少カラサルニ由リ已ムヲ得ス請負金全額ヲ仕拂ヒ殘工事ニ對スル分ハ其竣成ヲ認メ請負人ニ交付スル爲メ預リ金トシテ一時保管シ置キタリト謂フニアリ然レトモ冬季ニ際シ工事情行難キ事情アリトセハ豫算ヲ翌年度ニ繰越使用スルノ手續ヲ爲スト共ニ前渡金ハ一旦返納シ更ニ適當ノ時期ニ至リ前渡ヲ受クヘキモノナリ依テ本件ハ未竣功ノ工事ニ對シ竣功セルモノ、如ク裝ヒ請負代價ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ殘工事ハ翌年度五月三十一日續行同七月十日竣功シ之カ工費トシテ保管セシ金千八百貳拾七圓ハ請負人ニ交付セシモ右ハ手續豫當ナラサリシヲ以テ當事者ニ對シテ將來ヲ戒諭シタリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

内務省所管

經費ノ所屬年度ヲ混同シ且ツ高價ノ物件ヲ購入シタルモノ一件(一一)
 物件ノ購入ニ關シ其數量ノ當否ヲ確認スルコト能ハサルモノ三件(一〇)(一三)(一四)
 虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(一五)(一七)
 競争入札ニ付スヘキ物件ノ購入ヲ隨意契約ニ依リタルモノ三件(一一)(一八)
 其他不當ナルモノ一件(一六)
 合計十件

歳出經常部

第五款 傳染病研究所 第三項 事業費

【報告】 (一〇) 傳染病研究所ノ支出ニ係ル

三〇、四五七〇七二

ハ牛馬羊等ノ飼料トシテ本年度中購入シタル藁十三萬四千貫干草九萬二千貫大麥一萬七千五百貫燕麥一萬九千七百貫麩二萬千五百九十六貫大豆百九十三石ノ代價ナリ大正四年二月ノカ實地ヲ検査スルニ物品出納簿ト取扱者ノ受拂簿トハ單位ノ稱呼ヲ異ニスル爲メ其受授明瞭ナラズト雖モ同年度中飼養動物ノ總延數ニ對シ各一日ノ最高飼料見込數ヲ乘シ一箇年飼料ノ受拂數ヲ檢スルニ年度末現在高ニ於テ價格貳千百餘圓ニ相當スル殘品不足セルノ計算ナルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件物品ハ嵩張リタル品質ニシテ且ツ其數量多キカ爲メ受入検査ノ際總體ヲ計量スルコト困難ナルニ由リ已ムヲ得ス其幾分ヲ抽出檢量シ之カ平均數ヲ總把又ハ依數ニ乘シテ總量ヲ確認スルノ方法ヲ採リ毎次係員數名立會嚴重ニ之ヲ施行セリ而シテ殘品不足ノ計算ヲ示スニ至レルハ購入ノ際ニ於テハ重量ヲ以テ受入レタルニ拘ラス實際飼料ノ場合ニハ把數又ハ依數ヲ以テ概算シ之ヲ拂出シタルニ由リ日々幾分ツ、増飼ノ傾向ト爲リ積ミテ多量ノ差額ヲ生スルニ至リシモノト思料スト謂フニアリ然レトモ動物ノ大部分ハ藥液ノ注射ヲ爲シタルモノナルヲ以テ其飼料ハ健全ナルモノニ比シ少量ナルヘキコトハ疑ヒナク且ツ前記計算ハ總テ最高所要量ヲ以テ積算セルニ由リ縦ヒ間ニ幾分ノ増飼アリトスルモ殘高ニ於テ斯ル多量ノ不足ヲ示スヘキモノニアラス況ンヤ動物ノ現在數ハ常ニ異動アルニ拘ラス之カ飼料ハ日々同一數量ヲ拂出シタルモノトシテ記帳セルカ如キハ事實ニ反スルモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ購入數量ノ當否ヲ確認スルコト能ハサルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本項飼料ノ受拂ニ關シテハ曩ニ會計検査院ノ質問ニ對シ答辯セル如ク購入ニ際シテハ重量ニ依リ飼與ニ際シテハ把數等ニ依ルハ取扱上最モ便宜ナルニ依レリ而シテ計算上殘品不足ヲ示スニ至レルハ日々幾分ツ、増飼ノ傾向トナリ積ミテ多量ノ差額ヲ生シタルニ外ナラス又其使用數量ハ爾後ノ実績ニ徴スルモ特ニ多量ヲ要シタルモノニアラス要スルニ取扱上適當ナラサリシ點ハアルモ之レカ爲メニ購入數量ノ當否ヲ確認スルコト能ハストノ批難ハ當ヲ得タルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(一一) 傳染病研究所ノ支出ニ係ル

一六、二四四、九九〇

大正二年度 内務省 (一〇)(一一)

ハ血清豫防液類及痘苗ノ包装用罫入木筒竝ニ配送材料等ノ代價ニシテ東京市齋藤某外三名ヨリ本年度中百餘回ニ隨意契約ヲ以テ購入シタルモノナリ大正四年二月之カ實地ヲ検査スルニ右ハ孰モ所要數量ヲ豫定シ得ヘキモノナルヲ以テ競争入札ニ付スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ各種購入ノ必要ハ大體ニ於テ豫期シ得サルニアラスト雖モ血清豫防液及痘苗類ハ十餘種ノ多キニ上リ其一種亦更ニ數様ニ區別セラル、等多種多樣ノ包装ヲ要シ加之一面諸多傳染病其他ノ疾病發生流行ノ狀況ニ由リ所要ノ種類及數量毎時期一定セサルヲ以テ其趨勢ニ從ヒ緩急ヲ計リ漸次購入シタルモノナリト謂フニアリ然レトモ本品ノ如キハ多年ノ實驗ニ徴シ所要ノ緩急ヲ計ルニ於テハ之ヲ競争入札ニ付シ能ハサルノ事山ナキノミナラス本件購入單價ハ爾後競争入札ニ依リ購入シタル同種ノ單價ニ比シ著シク高價ニ當レリ要スルニ本件ハ隨意契約ニ依リ高價ノ物件ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (一一) 傳染病研究所ノ支出ニ係ル

一一、一六〇〇〇

ハ事業上ニ要スル馬匹九十三頭ノ代價ニシテ本年度中購入シタリトシテ證明セルモノナリ大正四年二月之カ實地ヲ検査スルニ正規ノ關係書類簿冊ニハ一回ニ七頭又ハ八頭宛十二回ニ購入シタルモノ、如ク記載セルモ別ニ實際飼養者ノ所持セル記録ニ徴スルトキハ七頭乃至二十一頭宛五回ニ受入レタルモノニシテ其數總テ符合セス之ニ對スル當該官吏説明ノ要旨ハ免疫用馬匹ハ急速ノ所要ヲ辨スヘキ準備ノ爲メ時ニ多數ヲ牽入レシメタルモノニシテ實際ノ購入數ハ飼養者ノ記録ヲ正當ト爲スモ正規ノ關係書類ニハ經費支辨ノ都合上特ニ分割記載スルノ已ムナキ事情アリシニ由ルト謂フニアリ是ヲ以テ飼養者ノ記録ニ基キ本年度中ノ購入數ヲ調査スルニ七十七頭代價九千貳百四拾圓ナルニ拘ラス前年度中購入ニ係ル十一月以降ノ分三十三頭代價參千九百六拾圓ヲ本年度ニ於テ購入セルモノ、如ク裝ヒ尙ホ本年度購入ニ係ル一月以降ノ分十七頭代價貳千四拾圓ハ後年度ニ於テ購入セルモノ、如ク裝ヒ順次支出年度ヲ繰下ケ遂ニ本年度ニ於テ前掲金額ノ仕拂ヲ爲シタル

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (一二) 傳染病研究所ノ支出ニ係ル

九、八三四〇六八

モノニシテ其證明ハ事實ニ反スルノミナラス之カ購入ニ關シテハ數年來盛岡市八幡某ヨリ隨意契約ヲ以テ一手供給セシメ其代價ハ前年度ハ通シテ一頭百參拾五圓本年度ハ百貳拾圓トシ絶エテ他ノ見積ヲ徴セサリシモノニシテ之ヲ本件實地検査後購入ニ係ル一頭代價七拾餘圓ナルニ比較スルトキハ著シク高價ナリシモノト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ經費ノ所屬年度ヲ混同シ且ツ高價ノ物件ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (一四) 傳染病研究所ノ支出ニ係ル

五、七八六五〇〇

ハ検査検査等ノ爲メ要スル兔「モルモット」鼠總計一萬七千二百五十六匹ノ代價ニシテ本年度中東京市藤本某外三名ヨリ購入シタルモノトシテ證明セルモノナリ大正四年二月之カ實地ヲ検査スルニ其購入頭數ハ事業上ノ消費斃死ノ數ト權衡ヲ

大正二年度 内務省 (一二)(一四)

【報告】 (一五) 内務省ノ支出ニ係ル
 ハ測量調査用人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實同省土木局雇近藤某カ加古川筋測量調査ニ從事中大正二年九月ヨリ同三年三月マテノ間ニ於テ使役セサル人夫ヲ使役シタルモノ、如ク装ヒ之カ人夫賃ノ仕拂ヲ受ケタルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (一六) 内務省東京土木出張所ノ支出ニ係ル
 ハ渡良瀬川改修ニ屬スル古河機械工場一棟新築工事費六千九百八拾四圓ノ内ニシテ六千六百參拾四圓八拾錢ハ明治四十五年度ニ屬スルモノナリ右建築ハ明治四十五年七月請負契約ヲ締結シ大正元年十二月竣功ヲ告ケタルモノナルモ該屋根三百

歳出臨時部

第二款 治水事業費 第一項 事務費

【報告】 (一五) 内務省ノ支出ニ係ル

一六四四四〇

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

第二款 河川費

【報告】 (一六) 内務省東京土木出張所ノ支出ニ係ル

三四九二二〇〇

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (一七) 内務省東京土木出張所ノ支出ニ係ル
 ハ利根川改修ニ屬スル取手機械工場陸梁修繕、同附屬下家新築等ノ工事費トシテ證明シタルモノナルモ其實同所雇松崎某カ取手機械工場ニ勤務中大正二年十二月及同三年一月ニ於テ孰モ高島某ニ請負ハシメタルモノ、如ク装ヒ同人名義ノ工費金請求書及受領證書ヲ偽造シ之カ金額ヲ騙取シタルモノナリ而シテ該工事ハ擅ニ之ヲ他ノ請負人ニ施行セシメ附屬下家新築費百七拾圓ヲ交付シタル外百五拾四圓參錢ハ私消シタルモノナリ依テ本件ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

三二四〇三〇

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

第四款 營繕費 第一項 新營繕費

【報告】 (一八) 神奈川縣ノ支出ニ係ル

一五八〇〇〇〇

【審明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (一八) 神奈川縣ノ支出ニ係ル
 ハ同縣港務部所屬横濱市所在輸入獸類檢疫所、汚物置場、同飼料置場新增築費ニシテ大正二年十二月中二廉ニ分割シ隨意契約ニ依リ島村某ノ請負ニ付シ同縣ノ支出ニ係ル

ハ長濱檢疫所、二等停留場附屬廁所、第二號附屬浴室渡廊下、被消毒物置場新增移築ノ費用ニシテ大正三年一月中四廉ニ

二二七五〇〇〇

大正二年度 内務省 (一七)(一八)

分割シ隨意契約ニ依リ加藤某ノ請負ニ付シ施工セシメタルモノナリ右ハ孰モ競争入札ニ付スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ工事各廉毎ニ豫算令達ヲ受ケ其範圍内ニ於テ整理セサルヘカラサルカ故ニ一括シテ豫定價格ヲ定メ競争ニ付スルハ不可能ト認メタリト謂フニアリ然レトモ本件ハ孰モ同時期ニ契約ヲ締結シ且ツ同一場所ニ施行シタルモノナルヲ以テ各一括シテ競争入札ニ付スヘキモノナリ依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日法律第四號) 第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ(下略)

大藏省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(一九)

七九四^四五〇〇

歳出經常部

第十五款 諸拂戻及缺損補填金 第一項 諸拂戻金

【報告】 (一九) 大阪稅務監督局ノ支出ニ係ル

七九四^四五〇〇

ハ所得稅過納拂戻金トシテ證明シタルモノナルモ其實葛城稅務署在勤稅務署屬飯田某カ明治四十三年度中既ニ拂戻濟ニ係ル岡橋某外二名ノ四十二年度所得稅過納金ニ對スル租稅拂戻請求書同仕譯書及其原議書ヲ偽造シ更ニ仕拂命令ヲ發行スルニ至ラシメタル總額貳千八百四拾五圓拾錢ノ内ニシテ貳千五拾圓六拾錢ハ既往二箇年度ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

陸軍省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(二〇)
豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ三件(一一)(一二)(一三)
合計四件

八〇四^四四五二
六九^三三九〇一〇
七〇、〇四三^四四六二

歳出經常部

第二款 軍事費 第八項 糧秣費

【報告】 (二〇) 第十二師團經理部ノ支出ニ係ル

八〇四^四四五二

ハ下關重砲兵第六聯隊用馬糧ノ購買代トシテ證明シタルモノナルモ其實同隊經理委員助手陸軍砲兵軍曹花村某カ供給人ト共謀シ大正二年八月ヨリ十月ニ至ル間ニ於テ虚偽ノ證書書類ヲ作成シ實際納付數量以上ノ代價ヲ附加請求セシメ其仕拂ヲ受ケタルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ當事者ニ對シテハ相當處分ヲ了シ其ノ未納ニ係ル物品ハ既ニ納付セシメタリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

歳出臨時部

第十九款 臨時軍事費 第一項 臨時軍事費

【報告】 (二一) 陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル

五四^三三三三^四二六〇

ハ朝鮮駐劄軍經理部ニ於テ施行シタル京城衛戍病院精神病室、龍山憲兵分隊下士上等兵宿舍、陸軍倉庫被服庫、龍山憲兵分隊被服庫及雜器庫、平壤衛戍病院動物小屋新築其他附屬工事費竝ニ備附器具代ニシテ外ニ六千參拾壹圓七拾六錢九厘ノ材料ヲ官給使用セリ右ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニアラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ朝鮮駐劄軍永久兵營廳舍建築及初度調辦費ハ財政上ノ都合ニ依リ總額ト年割額ヲ定メ七箇年ノ繼續事業トシテ實施シタルモノニシテ年割額ノ制限ナケレハ諸般ノ設備ハ一途ニ著手シ成ルヘク同時ニ竣成セシムル希望ナルモ年割額ノ制限アルト且ツ朝

大正二年度 陸軍省 (二〇)(二一)

鮮ノ如キハ材料及勞役ノ供給ニ於テモ制限ヲ受ケ又一方ニハ物價及勞銀ノ變動ニ伴ヒ豫算ニ不足ヲ來スノ虞アルニ由リ工
事ノ大小緩急順序ヲ顧慮シ先ツ病院ニアリテハ比較的急需ノ管理室及内外科病室ヲ憲兵分隊ニアリテハ廳舎ヲ陸軍倉庫ニ
アリテハ廳舎及糧秣倉庫ヲ各最先ニ著手竣成セシメ比較的不急ノ精神病室動物舍宿舍及被服庫等ハ之ヲ後廻シト爲サシメ
タルモノニシテ主タル建物ト建設時期ヲ異ニセルモ孰モ本費支辨ノ目的範圍ニ屬スルモノナリト謂フニアリ然レトモ右ハ
既ニ使用部隊ニ引渡シ一旦豫定ノ目的ヲ達シタル以後ニ於テ補足シタルモノナルヲ以テ該補足ノ經費ハ別途ニ豫算ヲ要求
スヘキモノニ屬シ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニアラス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモ
ノトス

【辨明】 本件工事及其他ノ設備ハ朝鮮ニ於ケル兵營廳舎ノ建設ニ伴ヒ之カ必要ヲ認メ其ノ著手ハ豫算及設備ノ緩急ヲ顧慮シ大正二年度ニ於テ實
施シタルモノナリト雖爾後注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計法第十二條違背

【參照】 ○會計法(明治二十二年二月十一日
法律第四四號)

第十二條第一項 國務大臣ハ豫算ニ定メタル目的ノ外ニ定額ヲ使用シ又ハ各項ノ金額ヲ彼此流用スルコトヲ得ス

【報告】 (二二) 陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル

一一、一四九〇三〇

ハ朝鮮駐劄軍經理部ニ於テ施行シタル龍山步兵聯隊准士官合同宿舍再築及附屬工費並ニ備附物品代ニシテ外ニ四百七拾
貳圓四拾錢ノ材料ヲ官給使用セリ右ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニアラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯
ノ要旨ハ本經費ハ通常ノ場合ニ在リテハ災害費トシテ豫算ヲ要求スヘキモ朝鮮ニ於ケル廳舎等ノ建築ハ當時臨時軍事
費ヲ以テ尙ホ實施中ニ係リ未タ當初ノ目的ヲ達成セズ豫算使用モ亦繼續中ナルニ付特ニ火災復舊費ヲ要求センヨリハ寧ロ
繰合セノ出來得ル限り本費ヨリ支辨シ以テ當初ノ豫定ヲ完成スルコトニ努ムルノ妥當ナルヲ認メタルニ由ルト謂フニアリ
然レトモ朝鮮ニ於ケル本費支辨ノ事業ハ數年ニ涉リ實施スルモ各箇ノ工事ニ就テハ其竣成ニ從ヒ之ヲ使用部隊ニ引渡シタ
ル時期ヲ以テ經費區分ノ限界ト看做サルヘカラス而シテ本件ハ一旦竣成ヲ告ケ其使用中燒失シタルモノナルヲ以テ之カ

復舊經費ハ當然別途ニ要求スヘキモノニ屬シ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニアラス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計
法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

本件工事ハ臨時軍事費ヲ以テ建設シタル龍山步兵聯隊准士官合同宿舍ノ火災復舊ニ係リ當時朝鮮ニ於ケル兵營廳舎等ノ設備ハ該經費ヲ以
テ繼續實施中ナリシニ依リ努メテ豫算ノ繰合セテ計リ本費ヨリ支辨セシモノナリト雖爾後注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計法第十二條違背

【參照】 ○會計法第十二條第一項(九〇頁參看)

【報告】 (二三) 陸軍會計監督部ノ支出ニ係ル

三、七五六七二〇

ハ鎮海灣及永興灣要塞地帯ノ設備ニ伴フ標石標札ノ製作建設ニ要シタル經費及旅費等ナリ右ハ本費ノ支辨ト爲スヘキモノ
ニアラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ朝鮮駐劄軍永久兵營廳舎建築及初度調辨費ハ建築ノ外土
地ノ買收編入及境界設置等ニ要スル營繕ヲ包含ス而シテ本件要塞ノ設置ハ戰役當時ヨリ著手シ土地ノ編入ハ明治四十三年
ニ至リ完了シタルモ要塞地帯ノ設置ハ諸般ノ關係ヲ顧慮シ調査研究ヲ要シタル爲メ漸ク大正二年九月勅令第二百八十四號
ニ亞テ同年十一月陸海軍省告示ヲ以テ確定セラレ之カ地帯標植立ヲ要シタルニ由リ臨時軍事費目的ノ範圍内ニ屬スルモノ
トシ本費ヨリ支辨セリト謂フニアリ然レトモ本件要塞地帯區域標ノ植立ハ前記勅令發布ノ結果ニ由ルモノニシテ本費豫算
ハ明治三十九年法律第五十二號ニ依リ一般會計ヘ移換ノ際其用途ハ既ニ限定セラレ本件ノ如キ經費ハ之ヲ包含セサルヲ以
テ當然別途ニ要求スヘキモノニ屬シ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニアラス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二
條ニ違背シタルモノトス

【辨明】

本件要塞地帯標ノ建設ハ該地帯ノ調査研究ニ時日ヲ要シ漸ク大正二年度ニ至リ之ヲ實施セシモ元來右ハ要塞設置ニ伴フ附帶工事ナルニ依
リ本費ヨリ支辨シタルモノナルモ爾後注意スヘシ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計法第十二條違背

【參照】 ○要塞地帯法ノ一部ヲ朝鮮ニ施行スルノ件(大正二年九月二十五日
勅令第二百八十四號)

大正二年度 陸軍省 (二三)

要塞地帯法ハ第十八條及第二十八條ヲ除キ之ヲ朝鮮ニ施行ス

○朝鮮領海灣及永興灣要塞地區(大正二年十一月二十一日)

要塞地帯法第三條及第六條ニ依リ朝鮮領海灣及永興灣ニ於ケル陸軍防禦營造物ノ地帯ヲ左圖實線以內同法第七條第二項ノ區域ヲ實線以外點線以內トシ各區域ハ實地ニ標識ヲ設ケテ之ヲ表示ス

(附圖略)

○陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計終結ニ關スル件(明治三十九年五月十二日)

第三條 陸海軍ニ屬スル臨時事件費ノ支辨ニ係ル工事、測量又ハ製造ノ事業ニシテ其ノ會計年度内ニ經費ノ支出ヲ終ラサルモノ

ハ其ノ支出未済ノ豫算額ヲ一般會計ニ移シ遞次繰越シ使用スルコトヲ得外國注文ニ係ル物品ノ購入代及一時賜金ノ支出ヲ終ラサルモノニ付亦同シ

第四條 陸海軍ニ屬スル臨時事件費支辨ノ諸費中復員ヲ爲ササル部隊ニ係ル經費ニシテ其ノ會計年度内ニ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ豫算額ヲ一般會計ニ移シ使用スルコトヲ得

第五條 前二條ニ規定シタルモノヲ除クノ外陸海軍ニ屬スル臨時事件費支辨ノ諸費ニシテ既ニ契約ヲ爲シ又ハ仕拂ノ義務ヲ生シ其ノ會計年度内ニ支出ヲ終ラサルモノハ其ノ支出未済ノ豫算額ヲ一般會計ニ移シ使用スルコトヲ得

第六條 陸海軍ニ屬スル臨時事件費特別會計ニ於テ歲計剩餘アルトキハ一般會計ノ歳入ニ繰入ルヘシ

海軍省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ三件(二四)(二五)(二九)

請負契約ノ協定宜シキヲ得サルモノ一件(二六)

交付地金ヲ低價ニ算定シ請負額ヨリ控除シタルカ爲メ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ二件(二七)

競争入札ニ付スヘキ工事ニシテ隨意契約ニ依リタルモノ一件(二八)

合計七件

歳出經常部

第二款 軍事費 第八項 造船造兵及修理費

九七三三六〇

六、二六五、六四九、三二五

三八三、六八八、〇五〇

二八、一四五、〇〇〇

六、六七八、四五五、七三五

【報告】(二四) 舞鶴海軍經理部ノ支出ニ係ル

ハ舞鶴海軍工廠ニ於ケル定備人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實同廠會計部計算課附筆生吉田某カ大正元年九月ヨリ

同二年五月ニ至ル間ニ於テ單獨又ハ造船部記録工岸川某ト共謀シ賃金區分表及賃金領收書等ヲ偽造シ騙取シタル總額八百

參拾壹圓七拾九錢ノ内ニシテ六百五拾四圓參錢ハ明治四十五年ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタル

モノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】會計検査院検査報告ノ通

但シ監督ノ任ニアリタル者ニ對シテハ相當處分ヲ加ヘ犯人ハ處刑サレ又被害金ハ犯人無資力ノ爲之ヲ据置貸トナシタリ

【貴決】 異議ナシ 衆決】 不當

第十二項 艦營費

【報告】(二五) 海軍煉炭製造所ノ支出ニ係ル

ハ同所構内原料炭運搬賃金トシテ證明シタルモノナルモ明治四十五年ニ屬スルモノナルモ大正元年ニ屬スルモノナルモ

ノ工事費ニ充當シタル總額壹萬七拾參圓七拾錢五厘ノ内ニシテ九千七百七拾六圓拾錢五厘ハ既往二箇年度ニ屬スルモノナ

リ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス(明治四十五年(二八)(二八頁參看))

【辯明】會計検査院検査報告ノ通

但シ當事者ニ對シテハ相當ノ處分ヲ了セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 衆決】 不當

歳出臨時部

第六款 軍備補充費 第一項 軍艦製造費

【報告】(二六) 海軍省經理局ノ支出ニ係ル

ハ英國「ダキカース」造船會社ニ於テ建造シタル巡洋戰艦金剛ノ請負代價貳千參百五拾九萬八千四百拾七圓貳拾九錢九厘

大正二年度 海軍省 (二四)(二五)(二六)

六、二六五、六四九、三二五

九三

一七七七六〇

ノ内ニシテ千七百拾參萬貳千四百九拾七圓九拾七錢四厘ハ既往三箇年度ニ屬スルモノナリ右ハ
ニ詳悉セシ如ク當局者ノ不正行爲ニ基因シ會社要求ノ價格ヲ以テ直チニ之ヲ請負ニ付シタルモノニシテ代價ノ協定其宜シ
キヲ得タルモノニアラス依テ本件ハ不當ナリトス(明治四十五年(一九一九)頁參看)

【辨明】 本件軍艦金剛ノ建造請負ニ付テハ前年度會計検査報告ニ對シ辯明シタルカ如ク安社及毘社申出ノ計畫及價格ニ付相當調査ヲ遂ケ毘
社ト契約ヲ締結シタルモノニシテ商人ノ提供スル口錢ハ必シモ請負金額ニ影響スト斷スヘキモノニアラス而シテ請負價格ハ相當ト認ムル
ヲ以テ本件代價ノ協定及支出ハ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】

(二七) 本項ニ於テ海軍省經理局ノ支出ニ係ル

三〇九、四七八、二八〇

第三項造船造兵及修理費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

七四、二〇九、七七〇

ハ株式會社日本製鋼所ニ對シ大正元年九月ヨリ同二年四月ニ至ル間ニ於テ四回ニ註文セシ砲若干門其他各種彈丸、魚形水
雷氣室材料等此代價總額百五拾六萬七千貳百四拾圓ノ内拂ニ屬スルモノナリ本件製造ニ關シテハ其製造材料ニ充ツヘキ
地金トシテ鋼及鐵交屑ヲ交付シ之ニ相當スル價格ヲ請負代價ヨリ控除スヘシトノ契約ヲ爲シ本年度ニ於テ軍事費所屬註文
品ニ對スル分少許ヲ併セ鋼及鐵交屑三千四百四拾六噸九百四十噸ヲ交付シ内二千三百九噸四百六十四噸此代價參萬四千六百四
拾壹圓九十五錢ハ本年度ニ於ケル仕拂代價ヨリ之ヲ控除セリ而シテ右地金每一噸ノ價格ハ前年度ニ於テ本件同様ノ契約
ニ依ル地金價格拾貳圓五拾錢ニ比シ價格騰貴ノ趨勢アルト製鐵所買入價格ヲ調査參酌セリトノ理由ヲ以テ貳圓五拾錢ヲ
増加シ拾五圓ト計算シタリ然ルニ本件交付地金ハ明治四十五年(一九一九)年度検査報告ニ詳悉セシト同シク吳工廠砲壇及水雷ヲ製造ス
ル工場ヨリ生シタル優良ノ鋼及鐵交屑ニシテ一般市場又ハ他工廠ニ於テ不用地金トシテ賣買セラル、モノト同視スヘキモ
ノニアラス即チ本件同一工場ヨリ生シタル鐵屑ニシテ前年度ニ於テ一般競争ニ依リ賣却セシ價格ハ一噸當リ甲種ハ百圓乙
種ハ七拾圓乃至四拾五圓ニシテ前記交付地金ノ價格ニ比シ著シキ差違アルモノナリ當局者ノ説明スル所ニ依レハ右一般競
争ニ依リ賣却ニ係ル分ハ孰モ眞鍮屑ヲ混合セル鐵削屑ニシテ全然其實質ヲ異ニシ比較對照ヲ爲スヘキモノニアラスト謂

フト雖モ歲入徵收官ヨリ本院ニ對シ證明セル歲入徵收額計算書證據書中該物件拂下契約書附屬内譯ニ依レハ明治四十五年
五月細川某ニ拂下ノ分鐵削屑甲六萬五千五拾圓價拾錢同乙四萬五千五拾圓價五錢大正元年八月平田某ニ拂下ノ分鐵削屑甲二萬五拾圓
價拾錢同乙三萬五拾圓價七錢同年十月石山某ニ拂下ノ分鐵削屑甲二萬五千五拾圓價拾錢同乙四萬五千五拾圓價四錢五厘ト明記シ
アルヲ以テ其換算額ハ一噸ニ付甲種ハ百圓乙種ハ七拾圓乃至四拾五圓ニ當リ同書中別口ニ於テ眞鍮屑ノ混合セルモノニ對
シテハ右混合ノ旨註記シタルモノアルヲ以テ之ヲ觀レハ引證ニ係ル拂下鐵削屑中眞鍮屑ヲ混合スルノ事實ハ之ヲ認ムルヲ
得ス假リニ歲入徵收官ノ證明ハ事實ト相違シ實際ハ其後ニ至リ本院ニ於テ回付ヲ受ケタル調査ノ如ク一般競争ニ依ル拂下
品中眞鍮屑ヲ混合スルモノトスルモ其含有量ハ百分ノ七弱乃至二十四ニ過キスシテ同年度中吳工廠ニ於テ拂下ケタル眞鍮
屑ノ價格一噸當リ貳百八拾圓ヲ標準トシ之ヲ計算スルニ前記拂下鐵削屑一噸中ニ含有スル眞鍮屑ノ價格ハ拾九圓乃至六拾
七圓ニ相當シ之ヲ控除シテ鐵削屑ノミノ價格ヲ算出スルトキハ其ノ一噸ノ價格貳拾七圓乃至七拾圓ト爲ルヲ以テ右鐵削屑
ノ實價ハ素ヨリ此額ヲ下ラサルモノト認メサルヲ得ス而シテ本年度交付地金中ニハ舞鶴佐世保兩工廠ヨリ交付シタルモノ
又ハ吳工廠造船造機工場ヨリ生シタルモノ之レナキニアラサルモ其過半數ハ砲壇及水雷ヲ製造スル工場ヨリ生シタルモノ
ナリ之ヲ要スルニ本件ハ交付地金ノ品質如何ヲ顧ミス低廉ナル價格ヲ算定シテ之ヲ仕拂額ヨリ控除シタルカ爲メ國庫ニ少
カラサル損失ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス(明治四十五年(一九一九)頁參看)

【辨明】 本件ハ前年度會計検査報告ニ對シ辯明シタル如ク日本製鋼所ニ交付シタル鋼鐵交屑ハ鋼鐵板、山形鋼等ノ殘屑ニシテ品質普通ノモ
ノナレハ大阪市場其ノ他ニ於ケル價格ヲ參酌シテ代價ヲ定メタルハ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第二項 水陸設備費

【報告】

(二八) 吳海軍經理部ノ支出ニ係ル

二八、一四五、〇〇〇

ハ吳海軍工廠火藥庫新營工事費ニシテ軍事上秘密ヲ要スルモノトシ會計法ハ第二十四條第二號ニ依リ隨意契約ヲ以テ廣島

市堀内某ノ請負ニ付シタルモノナリ然ルニ右ハ敢テ秘密ヲ要スヘキモノト認メ難ク且ツ本工事ニ牽連セル土工ハ競争入札ニ付シタルニ由リ之ヲ觀レハ隨意契約ト爲スヘキモノニアラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ火藥庫構造ノ内容竝ニ其庫積ハ軍事上秘密ヲ要スルモノト認メ從來此種工事ハ會計法第二十四條第二號ヲ適用スル方針ヲ採レリ又之ニ牽連スル土工ノ如キモ元來秘密建物建設地點ナルカ故ニ構内狀況ノ秘密ヲ保ツヘキハ軍事上切望スル所ナレトモ單ニ土工ヲ分離實施スルハ妨ケナシト認メ競争ニ付シタルモノナリト謂フニアリ然レトモ本件建物ノ構造ハ他ノ經理部ニ於テ一般競争ニ付シタルモノニ比シ敢テ特殊ノ點アルモノニアラサルヲ以テ獨リ當地ニ建造スルモノニ限り之ヲ秘密ナリトシ隨意契約ニ依ルノ理由ヲ認ムルヲ得ス依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 會計法第二十四條違背

(参照) ○會計法(明治二十二年二月十二日法律第四號)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第一 政府ノ所爲ヲ秘密ニスヘキ場合ニ於テ命スル工事又ハ物品ノ賣買貸借ヲ爲ストキ

【報告】

(二一九) 横須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル

四九八〇〇〇

ハ横須賀海軍工廠造船部第二機械工場増築直營工事ニ關シ横須賀市小倉某ヨリ供給セシ職工人夫賃トシテ證明セルモノナルモ右ハ海軍技手鈴木某カ横須賀海軍經理部建築科勤務中職工人夫ノ勤務日數ヲ計算スルニ當リ請負人小倉某ノ雇人一本松某ト共謀シ大正二年十二月ヨリ同三年三月ニ至ル間ニ於テ實際使用セサル職工人夫ヲ使用シタルモノ、如ク裝ヒ之ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ犯人ハ處刑サレ被害金ハ追徴セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

農商務省所管

事業上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ二件(三三〇)

五、五一二、三〇七

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ三件(三三二)(三三三)

九二五、四八〇

合計五件

六、四三七、七八七

歳出經常部

第三款 森林費 第六項 事業費

【報告】

(三三〇) 本項ニ於テ青森大林區署ノ支出ニ係ル

五、三二七、一一七

歳出臨時部第四款國有林野經營費第二項事業費ニ於テ同署ノ支出ニ係ル

一九五、一九〇

ハ仙臺及白石兩小林區署部内ニ於テ本年度内ニ施行シタル國有林新植竝ニ手入事業ニ要シタル苗木代及人夫賃等ノ經費ニシテ外ニ官苗及前年度購入ニ係ル苗木若干ヲ使用セリ然ルニ事業擔當員タル森林主事猪苗代某外七名カ實行ニ當リ使役人夫ノ監督ヲ怠リ粗雑ナル植付ヲ爲サシメ苗木ノ選定運搬假植等ニ關シ事業上相當ノ注意ヲ缺キ終ニ三割乃至八割ノ枯損ヲ來セルノミナラス不必要ナル手入事業ヲ遂行シタル等ノ爲メ前掲金額ノ内經常部ニ於テ貳千八百八拾圓餘臨時部ニ於テ百貳拾五圓餘合計參千五圓餘ノ損失ヲ來シ是等枯損ニ對シテハ更ニ植栽ヲ行ハサルヘカラサルニ至レルモノナリ而シテ造林上本件同様ノ不成績ハ尙ホ大正三年度ニ繼續シ同年度經常部ニ於テ貳千貳百四拾貳圓餘臨時部ニ於テ四百九拾圓餘ノ損失ヲ來セリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】

(三三一) 本項ニ於テ青森大林區署ノ支出ニ係ル

四三七、八〇〇

歳出臨時部第四款國有林野經營費第二項事業費ニ於テ同署ノ支出ニ係ル

一四三、八〇〇

大正二年度 農商務省 (三三〇)(三三一)

ハ青森縣北津輕郡喜良市村相野山國有造林事業ニ要シタル人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實同署管内喜良市小林區署在勤元森林主事齋藤某カ大正二年六月ヨリ十月ニ至ル間ニ於テ人夫傭役簿竝ニ人夫賃請求書等ヲ偽造シ實際雇入レサル人夫ヲ雇入レタルモノ、如ク裝ヒ之ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (三三二) 秋田大林區署ノ支出ニ係ル

三三三 八八〇

ハ秋田縣河邊郡船岡村字大川前外二國有林ニ於テ大正二年七月乃至十月中使役シタル造林手入軌道築設、樵運材人夫賃金トシテ證明シタルモノナルモ其實現金前渡官吏大曲小林區署長山林技手酒井某カ仕拂ヲ爲スニ際シ賃金請求書及領收證等ヲ偽造シ前記金額ヲ横領シタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

逕信省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(三三三)
虛構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ三件(三三四)(三三五)
合計五件

歳出經常部

第二款 逕信費 第一項 俸給

【報告】 (三三三) 逕信省ノ支出ニ係ル

一七、二〇八 〇〇〇

逕信大臣官房經理課大阪出張所ノ支出ニ係ル

九七五 〇〇〇

【辨明】

ハ逕信次官以下本省所屬職員百六十四名ニ對シ給與セル年末慰勞金ナリ抑々本項豫算ハ郵便貯金局逕信管理局通信官署海員審判所及海底電線敷設從事ノ職員ニ對スル俸給ヲ計上セルモノナルヲ以テ之カ賞與ハ右職員ニ限局セラル、モノト解スルヲ相當トシ若シ前記本省所屬職員ニ對シ賞與ヲ行フノ必要アリトセハ其俸給ノ屬スル逕信本省豫算ノ範圍内ニ於テ支辨スヘキモノナリ依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計法第十二條違背

(參照) ○會計法第十二條第一項(九〇頁參看)

第五項 逕信事業費

【報告】 (三三四) 九州逕信局ノ支出ニ係ル

一〇、五四二 一〇〇

ハ逕信職工及通信工夫ノ在職慰勞手當、特別休暇手當竝ニ臨時退職手當トシテ證明シタルモノナルモ其實九州逕信局書記補鶴田某カ同局在勤中大正元年十一月ヨリ同三年三月マテノ間ニ於テ虛偽ノ書類ヲ作成シ或ハ各受領者ノ委任ヲ受ケタルモノ、如ク裝ヒ有合印ヲ押捺シテ騙取シタル總額千貳百貳拾八圓五拾四錢ノ内ニシテ百七拾四圓參拾參錢ハ明治四十五年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ當事者ハ刑法上ノ處分ヲ受ケ監督ノ任ニ在リタル者ニ對シテハ相當處分ヲ加ヘ又過誤拂金ハ回收ノ手續中ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (三三五) 本項ニ於テ西部逕信局ノ支出ニ係ル

三七六 四〇〇

歳出臨時部第五款電話交換擴張費第一項電話交換擴張費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル
ハ德島電信電話技術官駐在所ニ於ケル人夫賃及物品代トシテ證明シタルモノナルモ其實同所在勤逕信局技手山口某及通信

大正二年度 逕信省 (三三四)(三三五)

工手松崎某カ單獨若クハ共謀シ大正元年九月ヨリ同三年五月ニ至ル間ニ於テ人夫雇入竝ニ物品購入ニ關スル帳簿書類ヲ偽造又ハ變造シ實際雇入レサル人夫賃又ハ購入セサル物品代價ヲ附加請求シ或ハ自己ノ使用ニ供スル目的ヲ以テ購入セル物品ニ對シ駐在所ニ必要ナル他ノ物品ヲ購入シタルカ如ク裝ヒ騙取シタル總額八百圓九拾七錢五厘ノ内ニシテ貳百六拾九圓ハ明治四十五年度ニ屬シ六拾八圓貳拾五錢ハ大正三年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】會計検査院検査報告ノ通

但シ當事者ハ刑法上ノ處分ヲ受ケ(松崎某ハ所在不明)監督ノ任ニ在リタル者ハ大正四年度勅令第二百六號ニ依リ懲戒ヲ行ハレサルモノニ該當セルヲ以テ將來ヲ訓告スルニ止メ又過誤拂金ハ既ニ一部ヲ回收セシモ其ノ餘ハ回收ノ手續中ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○懲戒又ハ懲罰ノ免除ニ關スル件(大正四年十一月十日)抄録

官吏又ハ官吏待遇者ニシテ大正四年十一月十日ノ所爲ニ付懲戒又ハ懲罰ノ處分ヲ受ケタル者ニ對シテハ將來ニ向テ其ノ懲戒又ハ懲罰ヲ免除ス未タ處分ヲ受ケサル者ニ對シテハ懲戒又ハ懲罰ヲ行ハス

特別會計

內務省所管

朝鮮總督府

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(三六)(三七)

豫算ノ使用宜シキヲ得サルモノ一件(三八)

合計三件

歳出臨時部

10,133,800

1,748,220

1,882,020

第八款 營繕費 第二項 新營及設備費

【報告】(三六) 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

五,354,000

ハ司稅局廣梁灣出張所ニ建設シタル鹽粉碎工場竝ニ附屬鹽庫ノ工費ニシテ諸機械代七千五百八拾圓ハ明治四十五年度歳出經常部第二款總督府第十一項專賣事業費ヨリ支出シタルモノナリ右ハ豫算ニ見積リナキノミナラス急設ノ必要アリトシ施行シタルニ拘ラス大正四年六月實地検査ノ當時ハ全ク不使用ノ状態ニアルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ平安南北黃海ノ三道ハ既ニ輸入支那天日鹽ヲ使用ニ慣レ大部分ハ原鹽ヲ需用スト雖モ其他ノ各地方ニ於テハ殆ント煎熬鹽ヲ使用セルヲ以テ鹽商ハ競フテ支那天日鹽ヲ輸入再製シ煎熬鹽ノ販路ヲ蠶食シ再製工場頻リニ勃興シ再製鹽ハ實ニ全道ヲ席卷セスンハ止マサルノ勢ナリシト廣梁灣鹽田ハ其生産額増加シ販路擴張ノ必要ヲ感シタルトニ由リ粉碎工場急設ノ必要ヲ認メ加フルニ官鹽販賣人ニ於テモ頻リニ其設立ヲ希望シテ止マス故ニ經營上必要ナル機宜ノ處置トシテ之ヲ實行シタリ然ルニ一面當局ノ原鹽普及ニ努メタルト鮮人ノ嗜好モ漸次變遷シ天日製原鹽ノ有利ナルヲ覺リ之ヲ歡迎スルニ至リシトニ由リ當初豫想シタルカ如ク多量ノ粉碎ヲ要スルニ至ラスト謂フニアリ然レトモ本件設備ハ本項豫算ニ積算セサル所ニシテ又大正三年度司稅局廣梁灣出張所ノ事業年報ニ依レハ同二年十一月竣功後數月ヲ隔テ、僅ニ四十七萬餘斤ヲ生産試賣シタルノ外暫ク其事業ヲ休止シ四年三月沿海州地方漁業用トシテ神戸市鈴木商店ニ六百萬斤ヲ供給スルノ約ヲ爲シタルモノニ對シ約其半數ヲ供給シタルニ止マリ其契約ヲ解除シ爾後不使用ノ状態ニアルニ由テ之ヲ觀レハ當時施設ノ急要アリシモノト認ムルヲ得ス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ且ツ不急ノ工事ヲ施行シタルモノニシテ不當ナリトス

本件ハ曩ニ會計検査院ニ對シテ説明セル如ク本府ノ天日製鹽ハ其ノ根本方針トシテ原鹽ノ儘供給シ以テ年々巨額ニ達スル輸入支那鹽ニ代ヘントスルモノナルモ地方若ハ用途ニ依リテハ尙再製鹽又ハ煎熬鹽ヲ需用スルモノ少カラス依テ是等ノ方面ニ對シテハ先ツ粉碎鹽ヲ供給シ漸次原鹽使用ノ慣習ヲ馴致スルヲ得策ト認メ本件ノ設備ヲナシタルモノナリ而モ粉碎ヲナスハ甚タ不利益ナルヲ以テ販賣上萬已ムヲ得サル場合ノミニ止メ出來得ル限り原鹽ノ供給ニ努メタルモ尙大正二年度ニ於テ拾七萬貳千七百貳拾壹斤同三年度ニ於テ百貳拾貳萬貳千貳拾斤同四年度六月ニ至ル間ニ於テ貳百四拾七萬參千六百七拾斤ヲ粉碎スルニ至リタルモノナリ要之當時鹽業界ノ現狀ニ鑑ミ輸入鹽ノ防止

大正二年度 朝鮮總督府(三六)

ニ努ムルニ萬算ナキヲ期セムニハ極メテ緊要ノ施設ニ屬シ本豫算内ニテ支辨シタルハ不當ノ支出ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】 (三七) 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

四、七七九、八〇〇

ハ警務總監部庶務課分室新築工事費ニシテ本項豫算ニ包含セサルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ當初警務總監部倉庫及留置場ヲ新築スルノ計畫ナリシモ同部廳舎ハ憲兵隊司令部ノ一部ヲ使用セル關係上庶務課分室ヲ急造スルノ必要ヲ生シ已ムヲ得ス本費ヨリ之カ經費ヲ支出シタリト謂フニアリ右ハ豫算ニ積算セル倉庫等ノ建築ヲ廢シ其費用ヲ流用シテ事務所ヲ建設シタルモノニ係リ本年度ニ於テ廢停セル倉庫ノ建築ニ對シ更ニ翌年度ニ於テ豫算ヲ要求スルニ至リシモノナリ依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 警務總監部ニ於テハ從來憲兵隊司令部ノ一部ヲ以テ之カ廳舎ニ充テ來リタルモ遽ニ衛生事務ノ増加シタルカ爲庶務課分室ヲ急造スル必要ヲ生シ本費ヨリ之レカ經費ヲ支出シタルモノニシテ不當ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計法第十二條違背

(參照) ○會計法第十二條第一項(九〇頁參看)

第十款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】 (三八) 朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル

一、七四八、二二〇

ハ海雲臺鐵道旅館建設用地一萬千八百四坪ノ内七千六百五坪ノ買收代五千五百七拾四圓四拾錢地上物件補償金五百四拾五圓及其他ノ經費千九百拾壹圓四拾四錢合計八千參拾圓八拾四錢ノ内ニシテ六千貳百八拾貳圓六拾貳錢ハ前年度ニ屬スルモノナリ右ハ明治四十五年年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク本件土地ハ鐵道事業ノ經營上必要ナキモノニシテ豫算ノ使用其宜シキヲ得タルモノニアラス依テ本件ハ不當ナリトス(明治四十五年年度(四八四頁參看))

【辨明】 本件土地ノ買上ハ前年度ヨリノ繼續ニ係リ同年度決算檢査報告ニ對シ辯明セル如ク旅館建設ノ好適地ト認メタルニ依ルモノニシテ不當ノ支出ニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

臺灣總督府

歳出

請負料ノ仕拂ニ代ヘ官ニ納付セシムヘキ物件ヲ交付シタルモノ一件(三九)
豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(四〇)
競争入札ニ付スヘキ物件ノ購入ヲ隨意契約ニ依リタルモノ一件(四一)
合計三件

一、七、二、五、五〇・一〇
一、八、九、八、五三・六〇
七、五、八、五五・一〇
五、三、八、二五・八八・〇

歳出經常部

第十八款 專賣局 第七項 專賣品補償及購買費

【報告】 (三九) 臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ル

一、二、七、二、五、五〇・一〇

ハ神戸市合名會社鈴木商店ニ請負ハシメタル樟腦油再製ニ依リ明治四十五年度中生シタル樟腦四萬九千三十斤ヲ本年度ニ於テ買上ケタル代價ナリ而シテ本件請負契約ニ依レハ再製上生シタル樟腦ノ内原料百斤ニ對シ四十七斤ノ義務納付ヲ命シ其數量以外ニ生シタル部分ハ別ニ大藏省ノ定メタル價格ニ依リ之ヲ買上クルコト、シ副産物タル白油赤油等ハ請負人ニ交付スルト同時ニ再製請負料ノ仕拂ヲ爲サ、ルコト、爲シタルモノナリ右ハ明治四十五年年度檢査報告ニ詳悉セシト同シク再製上生シタル産物ハ總テ之ヲ官ニ納付セシムヘキハ當然ニシテ請負料ノ仕拂ニ代ヘ其産物ノ幾分ヲ請負人ニ交付シ別ニ樟腦ノ買上ヲ爲スカ如キハ國庫ノ歳入歳出ヲ混同スルモノト謂ハサルヲ得ス今本年度ニ於ケル再製請負ノ實績ヲ以テ官營工場ノ實績ニ比較スルニ官營ニ於テハ原料百斤當リ樟腦四十七斤餘之ヲ請負人ノ製品々質ニ換算セハ五十二斤餘ト爲リ其他赤油二十五斤餘白油十八斤餘ヲ得タルニ拘ラス請負人ノ生産ハ樟腦四十九斤餘白油十六斤餘赤油十九斤餘ニ止マリ又請負人ニ交付シタル樟腦及赤白油等ノ價格拾四萬貳千餘圓ニ上レルヲ以テ樟腦油再製料ハ原料百斤當リ六圓九拾貳錢餘ト爲リ

大正二年度 臺灣總督府 (三九)

官營工場ノ生産費百斤當リ參圓貳拾五錢餘ニ比シ參圓六拾七錢餘ノ差違ヲ示シ本年度原料交付高二百五万八千餘斤ニ對シ其差額七萬五千六百餘圓ノ多キニ上リ且ツ官營ニ依リ得タルヘキ利益ハ臘油百斤當リ參拾參圓餘ニシテ請負ニ付シタルモノハ同百斤當リ貳拾參圓九錢餘ナルヲ以テ九圓九拾錢餘ノ差違ヲ生シ本年度臘油交付高ニ對シ貳拾萬參千餘圓ノ差違ヲ示スノ計算ナリ要スルニ本件ハ請負料ノ仕拂ニ代ヘ官ニ納付セシムヘキ物件ヲ交付シタルモノニシテ不當ナリトス(明治四十五年(五二)頁參看)

【辯明】 會計検査院ハ請負料ノ仕拂ニ代ヘ其ノ產物ノ幾分ヲ請負人ニ交付シ別ニ樟腦ノ買上ヲ爲スカ如キハ國庫ノ歳入歳出ヲ混同スルモノニシテ不當ノ措置ナリト認メラルルモ右明治四十五年(五二)頁參看年度辯明書ニ於テ詳悉セシ如ク官ヨリ交付スル原料樟腦油ニ對シ樟腦ノ得量ヲ示シ定率以上ニ生シタル部分ヲ製造者ノ所得トナスハ原料ノ濫費ヲ防キ生産數量ヲ多カラシムル所以ニシテ又再製上ノ副產物タル赤油白油ヲ請負人ノ所得トナスハ之カ取引ニ經驗アル請負人ヲシテ直ニ處分セシメ以テ政府ノ引取及賣渡ノ手數ヲ省略スル所以ニシテ何レモ其ノ策ヲ得タルモノト認ム畢竟本件產物ノ無償交付ハ事業ノ性質及經濟上ノ得失ニ鑑ミ締結シタル契約ノ履行ニシテ未タ政府ノ歳入タルニ至ラサル前之ヲ處分スルモノナレハ國庫ノ歳入歳出ヲ混同スルモノト云フヲ得サルノミナラス現在ノ方法ハ樟腦專賣法施行ノ當初ヨリ實行シ來レルモノニシテ敢テ不當ト認メサルモ本件ヲ以テ連年帝國議會ノ問題トナスハ本意ニアラサルヲ以テ大正五年度ヨリ現在ノ方法ヲ改ムル見込ニテ之カ豫算ノ編成ヲ替ヘ本期議會ニ要求シタリ尙ホ現在ノ官營工場ハ樟腦油產額ヲ再製シ得ルノ設備ヲ有セサルヲ以テ之カ一部ヲ民間ノ製造ニ委スルハ已ムヲ得サルモノトス

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

歳出臨時部

第一款 特別事業費 第一項 水利事業費

【報告】 (四〇) 臺灣總督府土木局ノ支出ニ係ル

一八、九八五、三六〇

ハ本年度中官設埤圳ノ管理及公共埤圳ノ監督ニ要シタル費額トシテ土木局職員ノ俸給其他之ニ件フ經費ヲ支出シタルモノナリ右明治四十五年(五二)頁參看年度検査報告ニ詳悉セシト同シク本費ハ埤圳ノ新設改良及該事業ニ件フテ得ラルヘキ水力電氣工事費ヲ積算シタルモノナルヲ以テ本件經費ヲ包含セス當局者ハ豫算上屬ノ俸給ヲ積算シアルヲ理由トシ埤圳ノ管理監督ニ要ス

【辯明】 土木局員ノ經費ヲ支辨スルモ不當ニアラスト説明スルモ本費ノ目的ハ埤圳及電氣ノ工事費ニ限レルモノナルヲ以テ其工專上ノ事務ニ從事スル屬ノ給與等ニ充ツルハ格別埤圳ノ管理監督ニ要スル事務ノ經費ニ充ツヘキモノニアラス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス(明治四十五年(五二)頁參看)

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス
【衆決】 會計法第十二條違背
(參照) ○會計法第十二條第一項(九〇頁參看)

第八款 災害費 第四項 臺北郵便局其他火災復舊費

【報告】 (四一) 臺北郵便局ノ支出ニ係ル

七、五八五、五一〇

ハ郵便區分棚、戸棚、卓子、椅子其他各種器具類等ノ代價ニシテ大正二年三月同局火災ノ際燒失シタル補充トシテ同年十一月以降數十回ニ分割シ隨意契約ニ依リ購入シタルモノナリ右ハ競争入札ニ付スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ備品ノ大小形狀ハ廳舎竣工ノ上執務者ノ配置如何ニ由リ之ヲ參酌スルヲ便利ト認メ又廳舎竣工前ニアリテハ格納ノ場所ナク且ツ罹災ニ因リ事務劇増シ全部取纏メ一括競争ニ付スルニ於テハ多數ノ日子ヲ要シ購入遅延ノ虞アルニ由ルト謂フニアリ然レトモ本件豫算ハ同年七月四日令達ヲ受ケ豫メ購入スヘキ品目及價格ヲ指定セラレタルモノニシテ且ツ廳舎ハ同十一月中既ニ竣工シタルヲ以テ爾後ノ購入ニ關シテハ格納場所ヲ顧慮スルノ要ナク備品ノ大小形狀等亦明カニ之ヲ決定シ得ヘク縦ヒ全部ヲ一括スルコトヲ得ストスルモ適宜區分シ競争入札ニ付シ能ハサリシ事由ヲ認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ競争入札ニ付スヘキ物件ヲ隨意契約ニ依リ購入シタルモノニシテ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法第二十四條(八八頁參看)

大正二年度 臺灣總督府 (四一)

樺 太 廳

歳出

豫算ノ目的ニ違背シ且ツ高價ヲ以テ物件ヲ購入シタルモノ一件(四二)

二〇、二三八、二九二〇

歳出臨時部

第一款 事業費 第三項 拓殖費

【報告】

(四二) 樺太廳ノ支出ニ係ル

八五、三四二、九二〇

ハ神戸市合名會社鈴木商店ヨリ購入セル「イルガス」式酒精蒸餾機械一式ノ代價
同廳ノ支出ニ係ル

一一七、〇四〇、〇〇〇

ハ東京市白井某カ樺太ニ於テ蒸餾セル酒精(純酒精容量八〇パーセント)八百八十石ヲ買上ケタル代價ナリ抑、樺太廳ハ移民獎勵ノ結果逐年其數ヲ増加シ農産物モ亦從テ増加スルニ至レルモ交通不便ニシテ運賃廉ナラス販路ニ苦シム狀況ナルヲ以テ之カ利用ノ方策ヲ講シタル結果「ウキスキー」製造ヲ有望ナリトシ其工場ノ設備ヲ計畫セルモ之ヲ完成センニハ豫算ノ關係上數年ヲ期セサルヘカラス然ルニ適、白井某カ大泊ニ「ツンドラ」ヲ原料トスル酒精工場ヲ建設スルノ計畫アルヲ以テ之ヲ利用スルヲ得策ナリトシ大正二年度四月右酒精蒸餾機械ヲ購入シ直チニ年額料金八千圓ヲ以テ之ヲ同人ニ貸付シタルモノニシテ又其蒸餾セル酒精ハ少クトモ三箇年間之ヲ貯藏スルニアラサレハ「ウキスキー」トシテ飲料ニ適セサルヲ以テ其間ニ於ケル資本ノ固定ハ薄資ナル民間起業者ノ耐ユル所ニアラスト爲シ本年度ニ於テ前記數量ヲ購入シ更ニ翌年度ニ於テ千四百石此代價拾八萬六千貳百圓ノ購入ヲ爲シタルモノナリ然ルニ右酒精蒸餾竝ニ買上ニ關スル經費ハ本項豫算ニ包含セサルヲ以テ之ヲ本費ノ支辨ト爲シタル事由竝ニ酒精買上價格算定ノ標準ニ關シ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本項拓殖費ハ總テ拓殖上必要ナル經費ニ外ナラサルヲ以テ同項中工業試驗費ノ不足ヲ他ノ費目ヨリ流用支辨スルモ敢テ豫算ノ目的ニ反スルモノニアラスト認メタルニ由ル又買上價格ハ東京橫濱北海道ノ平均價格一石百貳拾貳圓餘ニ容器代拾圓餘ヲ加

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

大藏省所管

帝國鐵道

歳出

設計ニ違背シタル工事ニ對シ工費ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件(四三)
虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ三件(四四)(四五)(五〇)
工事ノ施設不完全ニシテ開業後電車ノ運轉ヲ休止シ手直ヲ要スルニ至リタルモノ一件(四六)
設計宜シキヲ得ス竣功後幾クナラスシテ大破ヲ來シタルモノ一件(四七)
移轉改築ノ名義ヲ以テ新營ヲ爲シ在來建物ヲ請負人ニ交付シ其計算ノ明ナラサルモノ四件(四八)(五一)
事業實施ノ方法宜シキヲ得ス國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件(四九)
合計十一件

資本勘定

大正二年度 樺太廳 (四二)

第一款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】 (四三) 鐵道院ノ支出ニ係ル

八、〇〇四、三八五

ハ喜多方新津間鐵道德澤外三停車場、新發田村上間鐵道新發田外七停車場及郡山平間鐵道舞木外六停車場ニ於ケル乗降場貨物積卸場並ニ本家寄附廣場道路面ニ敷込ミタル砂利九百七十三立坪餘ノ請負代價トシテ中野某外七名ニ仕拂ヒタル壹萬千參百九拾參圓八拾七錢六厘ノ内ニシテ參千參百八拾九圓四拾九錢壹厘ハ大正三年度ニ屬スルモノナリ大正三年十月之カ實地ヲ検査スルニ乗降場及貨物積卸場ニ對シテハ徑半吋以下又停車場本家寄附廣場道路面ニ對シテハ徑一吋以下ノ篩砂利ヲ用ユヘキ示方ナルニ前者ハ徑一吋半以上後者ハ徑三吋以上ニ及ヘル歩大ノモノヲ多量ニ混入セリ右ハ設計ニ違背シタル工事ニ對シ代價ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件停車場本屋寄附廣場道路ハ新築道路盛土ヲ強固ニスル爲先ツ玉石又ハ栗石ヲ入レ搗固メタル後規定寸法ノ砂利ヲ撒布シタルモノニシテ検査官實地検査ハ施行後三箇月乃至二年四箇月ヲ經過シタルトキナリシヲ以テ約三吋ニ過キサル厚サニ敷込ミタル小徑ノ砂利ハ次第ニ沈下シ下部ノ玉石多少上部ニ露出スルニ至リタレトモ歩行上別ニ支障ヲ認メサルニ依リ其ノ儘放置シタルモノナリ又乗降場及貨物積卸場ニ規定寸法ヲ超ユル砂利ノ交リタルハ一旦設計通り竣工シ受授ヲ了シタレトモ其ノ後線路ニ撒布スヘキ砂利ヲ貨車ヨリ取卸シノ際該砂利多少散落混交シタルト德澤、日出谷、三春及中條乗降場ノ如キハ工事竣工後橋梁又ハ軌條等材料置場トシテ使用シタルカ爲地面ニ不陸ヲ生シ之カ填補トシテ線路砂利ヲ使用シタルトニ依リ實地検査ノ當時多少大徑砂利ノ殘存シタルハ事實ナルモ工事ノ仕様設計ニ違反シタルモノニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (四四) 鐵道院ノ支出ニ係ル

七、二九六、一五〇

ハ德島建設事務所ニ於テ川田池田間軌條敷設並ニ橋桁架設、電話線架設等ニ要シタル人夫賃トシテ證明セルモノナルモ其實同事務所在勤鐵道院技師川村某外二名方明治四十五年六月ヨリ大正三年四月ニ至ル間ニ於テ單獨若クハ共謀シ工事進行

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ横領金百八拾圓參拾錢ハ大正四年十一月八日辨償濟犯人太西某ハ大正四年一月川村某及松本某ハ同年六月裁判所ノ確定判決ニ依リ處罰セラレタリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (四五) 鐵道院ノ支出ニ係ル

三七四、〇二四

ハ敦賀建設事務所ニ於テ線路測量ニ要シタル人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實同事務所在勤鐵道院技師倉谷某外二名方人夫供給請負人一瀬某ト共謀シ大正二年六月ヨリ十月ニ至ル間ニ於テ實際使用シタル人夫數ニ對シ虚偽ノ員數ヲ附加シ之ニ相當スル前記金額ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ横領金ハ全部大正三年三月九日辨償濟犯人林某ハ大正三年四月倉谷某外一名ハ同年九月裁判所ノ確定判決ニ依リ處罰セラレタリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

【報告】 (四六) 鐵道院ノ支出ニ係ル

六六四、六〇五、九九七

ハ東京横濱間電車運轉設備ニ關スル電線路架設、乗降場設置及電車製作ニ要シタル費額百九拾六萬貳千九百貳拾壹圓四拾壹錢九厘ノ内ニシテ壹萬五千四百六拾九圓七拾壹錢壹厘ハ既往二箇年度ニ百貳拾八萬貳千八百四拾五圓七拾壹錢壹厘ハ大正三年度ニ屬スルモノナリ抑、本工事ハ明治四十四年度ヨリ著手シ大正三年十二月竣工ヲ告ケ同月二十日東京驛ノ開業ト

大正三年度 帝國鐵道 (四五)(四六)

共ニ運轉ヲ開始シタルモノナルモ故障頻發シ其儘營業ヲ繼續スルコト能ハス二十六日遂ニ運轉ヲ休止シ爾來殘工事ト併セ之カ補修工事ヲ施行シ同四年五月十日稍ク其營業ヲ再開スルニ至リシモノナリ右ハ架空電車線ノ施工不完全ニシテ軌道トノ間隔適合セサルノミナラス曲線部ニ於ケル位置橋梁前後ニ於ケル取附方法、配電區畫點ノ位置適當ナラス又車輛ノ裝置ニ就テハ「ローラー、パントグラフ」ノ形式構造費用ニ適セス其他乗降場面車臺ト適應セサリシ爲メ旅客ノ乗降ニ甚シキ不便ヲ來セルモノアル等ノ爲メ之ニ對シ總テ補修工事ヲ施行シタルモノナリ而シテ是等手戻工事ハ開業ノ際ニ於ケル殘工事ト併セ施行シタルニ由リ精確ナル費用ヲ計算スルコト能ハスト雖モ其損失額ハ九千四百餘圓ヲ下ラサルノミナラス尙ホ軌道曲線ニ於ケル高度改修等ノ爲メ若干ノ損失ト爲リタルモノアリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 電車運轉開始後電氣ニ關スル工事其ノ他ニ不完全ノ點アルヲ發見シ其ノ補修ヲナスニハ運轉ヲ休止シテ施工スルヲ便宜ト認メ一時運轉ヲ休止シタルモノナリ其ノ損失額ハ線路停車場建築物改築費九百四拾五圓電氣設備補修費參千五百拾五圓及車輛改修費千四百六拾四圓等合計五千九百貳拾四圓ニシテ會計檢査院カ之ヲ九千四百餘圓ト計上シタルハ前記ノ改築補修費ノ外旅客ノ乗降ニ便スル爲乗降場面嵩上ニ要シタル參千五百餘圓ヲ加算シタルモノト認ム

但シ責任者ハ懲戒ノ處分ヲ受ケタリ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 不當

【報告】 (四七) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一三、七二二、七〇六

ハ品川灣海面埋立地假護岸請負工事費トシテ鈴木某ニ仕拂ヒタル四萬千九百九拾九圓七拾錢六厘ノ内ニシテ貳萬七千四百七拾七圓ハ既往二箇年度ニ屬シ大正三年二月竣功ヲ告ケタルモノナリ然ルニ同四年三月ノカ實地ヲ檢査スルニ護岸全延長五千八百三呎餘ニ對スル張石九百九十三面坪餘ハ殆ント崩壞シテ舊形ヲ存セス全部ノ改修ヲ要スルノ現況ナリ右ニ對シ立會技師説明ノ要旨ハ大正三年八月十二日ヨリ十三日ニ渉ル暴風雨ニ因リ激浪張石面ヲ衝キ其間隙ヨリ潮水滲入シタルカ爲メ張石下ノ盛土ハ波濤ノ進退ニ連レ護岸板張ニ設ケタル張間ヨリ流出シ爲メニ張石面ノ不陸ヲ來シ漸次増大シテ右ノ破損狀態ヲ呈スルニ至リタルモノナリト謂フニアリ即チ本件護岸工事ノ破損ハ當初施工ノ際特ニ設ケタル護岸板張ノ張間ヨリ土

【辨明】

砂ノ流出シタルニ基因スルモノニシテ當初設計ノ宜シキヲ得サリシモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス
品川灣埋立ハ約二十萬坪ノ計畫ナルモ差當リ約八萬千餘坪ヲ埋立テ引續キ追加埋立ノ計畫ナルヲ以テ本件護岸及張石ハ單ニ埋土ヲ保護スル爲假設的ニ施設シタルモノナリ從テ大正三年八月暴風雨ノ際ノ如キ異常ノ激浪ニ堪ヘサリシハ已ムヲ得サルコトニシテ設計當ヲ得サルモノニアラスト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 承認

【報告】 (四八) 鐵道院ノ支出ニ係ル

四、九七〇、〇〇〇

ハ上野停車場構内機關庫主任詰所移轉改築其他工事費ニシテ大正三年一月平野某ニ請負ハシメ同年三月竣功ヲ告ケタルモノナリ而シテ其起工決議書類ニ依レハ上野鶯谷間電車線第二線増設工事ノ施設ニ伴ヒ同構内元計理課附屬物置等ノ移轉撤去ヲ要スルモノアルヲ以テ之ヲ利用シ機關庫主任詰所ニ移轉改築ヲ爲サントスト謂フニアリ
同院ノ支出ニ係ル

三、一四一、〇〇〇

ハ大宮停車場構内改築工事ノ内工場附屬職工見習生教室移轉改築其他工事費ニシテ大正二年十二月吉田某ニ請負ハシメ同三年三月竣功ヲ告ケタルモノナリ而シテ其起工決議書類ニ依レハ同構内在來計理課附屬事務所六十八坪七合五勺ヲ移轉改築スルト共ニ之ニ八坪二合五勺ヲ増築シ總坪數七十七坪ノ教室ト爲サントスト謂フニアリ右ハ孰モ在來建物ヲ利用シ移轉改築ノ名義ヲ以テ請負ハシメタルモノナリト雖モ其建造物タル之カ構造仕様ヲ異ニシ強テ古材ヲ利用セントセハ小屋組若クハ床下等ノ一部材料ニ改造充當シ得ルニ過キスシテ卻テ工費ヲ増加スルノミナラス大正四年一月ノカ實地ヲ檢査スルニ在來建物ハ之ヲ利用シタルノ跡ナク殆ント新築ニ係リ立會官吏ノ説明スル所ニ依ルモ上野停車場構内機關庫主任詰所ニ於テ家根瓦ノ一部大宮工場附屬職工見習生教室ニ於テ石材ノ一部ヲ利用シタルノ外在來建物ハ其儘之ヲ請負人ニ給付シ適宜處分セシメタルモノナリ即チ本件ハ建物ノ新築ニ際シ在來建物ノ拂下處分ヲ爲サス其工費ノ一部ニ充當センカ爲メ之ヲ請負人ニ給付シタルモノニシテ決算上收支ヲ混同スルノミナラス其給付シタル在來建物ノ評價ニ關シテハ何等之ヲ確認スヘキ書類ナキヲ以テ其計算ノ當否ヲ知ルニ由ナキモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 本件ハ移轉改増築工事ニシテ在來建物ヲ其ノ儘廢毀スルハ不利ナルヲ以テ其ノ用材中使シ得ルモノハ相當加工ノ上使シセシムルヲ目的トシタルモ請負人ノ都合ニ依リ舊材ヲ利用スルコト少ク新材料ノ補足多カリシニ過キス而シテ其ノ結果ハ官ニ於テ不利ナラサルヲ以テ之ヲ容認シタルモノナリ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 承認

第二款 鐵道用品及工作費 第一項 用品及工作費

【報告】

(四九) 鐵道院ノ支出ニ係ル

五、八二七、〇六〇

ハ樞丸太材六千三百三十八石餘ノ汽船積込貨トシテ大湊木材株式會社ニ對シ仕拂ヒタルモノナリ右ハ大正二年度十二月青森縣下北郡外海岸小老部及越部土場所在資材ヲ大阪安治川口製材場ニ運送ノ爲メ單ニ汽船ニ積込マシメタル賃金ナルニ拘ラス一尺メ壹圓拾參錢餘ニ當リ從來同會社カ枕木製作ノ請負ヲ爲セル料金中同郡海岸各土場ヨリ青森市海岸マテノ資材積込及運搬賃ヲ併セ一尺メ當リ五拾九錢五厘ト計算セルニ比シ甚シク高價ニ屬セリ而シテ當初本件積込ニ關シ同會社ヨリ提出セル見積書ニ依レハ人夫賃七拾錢ニテ一日百五十人ヲ使役シ天候平穩ノトキ一日千尺メ以上ヲ積込ミ諸經費概算貳千百拾圓ナルモ成ルヘク費用低減ノ方法ヲ講シ實費ヲ以テ引受クヘシト爲シアルニ拘ラス其實費精算ノ結果ハ人夫賃ヲ八拾五錢トシ人夫一日百五十六人乃至二百三十九人ヲ使役シ功程僅ニ六百尺メ乃至八百尺メニ過キスシテ其總費額遂ニ前掲五千八百貳拾七圓餘ト爲リ當初見積額ノ二倍餘ト爲ルニ至レリ之ニ對シ當該官吏說明ノ要旨ハ本件積込場所タル小老部沿海ハ常ニ波浪高ク積込困難ニシテ從來同會社ニ引渡セル枕木資材積込場所ノ比ニアラス且ツ同地ハ積込ニ經驗アル人夫ナキヲ以テ其大部分ハ青森方面ヨリ雇入ル、ノ必要アリ隨テ積込不可能ノ日ト雖モ賃金ノ仕拂ヲ要スルヲ以テ積込賃ノ高低ハ一ニ繫リテ天候ノ如何ニアリ何人モ之ヲ豫測スルコトヲ得ス強テ之ヲ請負ニ付スルトキハ殆ント投機ニ類スルヲ以テ寧ロ實費拂トスルノ安全且ツ利益ナルヲ認メタルニ由ルモノナリ又會社ヨリ提出セル見積書ハ單ニ概要ニ過キス契約ノ趣旨ハ實費拂ニアルヲ以テ決シテ羈束スルノ精神ニアラスト謂フニアリ土地ノ狀況ニ徴シ一應ノ理由アリト認ム

ルモ右ノ如ク普通請負ニ付スルヲ不利トスル場合ニ於テ直營ヲ以テ之ヲ實施スルハ格別何等羈束力ナキ見積書ニ依リ實費拂ノ契約ヲ爲シタルカ如キハ不當ノ措置ト謂ハサルヘカラス且ツ本件積込後ニ於テ其殘材五百一尺メ餘ヲ越部及小老部ヨリ青森マテ運搬スルニ當リ船積賃ヲ併セテ一尺メ八拾六錢四厘ヲ以テ請負ハシメタル事實アルニ徴スレハ本件ニ限り必スシモ實費拂ト爲スノ要ナキノミナラス實費拂ノ結果ハ卻テ費用ヲ増大シ官ノ不利益ト爲ルニ至レルモノト認ム要スルニ本件ハ事業實施ノ方法其宜シキヲ得サリシモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

本件積込場所小老部及越部沿岸ハ外洋ニ面シ冬季ハ概ネ波濤高クシテ積込不可能ノ場合多ク且ツ該地方ハ小漁村ニシテ木材船積ニ經驗アル請負業者及人夫ナキヲ以テ人夫ノ大部分ハ之ヲ他地方ヨリ傭入荷役不能ノ日ニ在リテモ賃金ノ支拂ヲ要スルカ故ニ川内、佐井方面其ノ他ノ如キ概ネ内海ニ面シ風波少ク帆船ヲ用ヒ從テ積載數量少ク加フルニ木材積込運搬ニ經驗アル土著ノ請負業者及人夫ヲ使シ得ルノ便アル地方トハ大ニ情況ヲ異ニスルヲ以テ檢査院カ後者ノ積込及運搬賃一尺メ五拾九錢六厘ヲ以テ前者ニ比較セントスルハ當ヲ得タルモノト謂フヲ得ス而シテ右運搬積込實費請負ニ附シタルハ檢査報告ニ於テモ認ムル如ク土地ノ情況及季節ノ關係上一定金額ノ請負ニ付スルトキハ雙方ニ不當ノ損益ヲ來スノ處アルカ故ニ相當ノ信用ヲ拂ヒ枕木ヲ製作セシメ居ル大湊木材株式會社ヲシテ嚴重ナル監督ノ下ニ實費支拂ノ約束ヲ以テ運搬セシムルハ雙方ノ利益ナリト認メ該會社ノ申出ヲ承認シタルニ依ルモノニシテ會社ハ見積書ヲ提出シタルモノニ實費請負ノ條件ヲ付シ該見積額ヲ以テ直ニ請負ノ意志ナキカ故ニ當初提出ノ見積書ニ依リ雙方羈束セラレサリシハ當然ナリトス而シテ現場ニハ官吏ヲ派シ人夫使役、功程及賃金ヲ調査シ一々證據ニ依リテ實費ヲ計算シテ仕拂ヲ爲シタルモノナルカ故ニ名ハ請負ナルモ實ハ直營ト選ム所ナシ故ニ其ノ方法ニ於テモ金額ニ於テモ不當ナリト云フヲ得ス檢査院ハ又其ノ後本件殘材五百石餘ヲ運搬シタル賃金一尺メ當リ八拾六錢四厘ヲ以テ本件ト比較シタルトモ本件ノ積込ハ十一月末ヨリ十二月中旬ニ互リ同地方海上最モ不穩ノ時期ナリシニ反シ殘材ヲ運搬シタルハ翌年七月中旬ヨリ十月中旬迄ノ海上平穩ノ季節ニ係リ且前者ハ時期宜シカラサルヲ以テ汽船ヲ用ヒ後者ハ帆船ヲ以テシ其ノ汽船ヲ以テスル場合ニハ一時ニ六千石餘ヲ積込ム必要アルヲ以テ天候ヲ測リ豫メ積込ニ慣レタル多數ノ人夫ヲ傭入ルルノ必要アリ其ノ帆船ノ場合ニ於テハ百五十石前後ヲ積取ルニ依リ僅少ナル土著ノ勞働者ヲ以テ足ルカ故ニ前者ニアリテハ莫大ノ人夫賃ヲ要シ後者ハ然ラサルナリ加之前者ニ在リテハ原木捲立場所ヨリ五丁餘ノ海岸ニ濱出ヲ要シタルモ後者ノ場合ニ於テハ既ニ前運送ノ際ニ濱出ヲ了リタルヲ以テ該費用ヲ要セサルモノトス斯ノ如ク兩者大ニ事情ヲ異ニスルヲ以テ彼ヲ以テ直ニ此ニ比較セントスルハ當ヲ得ス加之後者ノ場合ニ於テモ會社ハ帆船ニテ積込ヲ試ミ失敗シテ終ニ馬車ヲ以テ山越ヘ運搬シ内海沿岸近川ニ出シ同所ヨリ帆船ヲ以テ青森ニ輸送スルノ止ムナキニ至

リ爲ニ少カラサル損失ヲ招キタルノ事實アリ之ヲ要スルニ本件實費拂ノ方法ヲ採リタルハ不當ニアラスト認ム

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク 【衆決】 警告

【報告】 (五〇) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一二二八九^四四八〇

ハ札幌工場手宮支工場ニ於ケル職工給料トシテ證明セルモノナルモ其實同支工場雇鈴木某カ明治四十五年五月ヨリ大正三年七月ニ至ル間ニ於テ引續キ工作認簿等ヲ改竄シ實際使役セサル人工ヲ加算シ其賃金ヲ横領シタル總額四千拾壹圓參拾貳錢ノ内ニシテ參百七拾九圓四拾九錢ハ明治四十五年大正元年度千參百四拾貳圓參拾五錢ハ大正三年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ犯人鈴木某ハ大正三年十一月豫審中死亡シ監督責任者ニ對シテハ懲戒處分ヲ了シタリ而シテ横領金四千拾壹圓參拾貳錢ノ内金七百七拾六圓貳拾參錢ハ大正四年一月七日迄ニ身元保證人ヨリ辨納シ殘額金參千貳百參拾五圓九錢ハ貸付金トシテ北海道廳ニ引繼キタリ

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

收益勘定

歳出

第一款 鐵道作業費 第一項 事業費

【報告】 (五一) 鐵道院ノ支出ニ係ル

六、四九三^四七五〇

ハ東京鐵道管理局廳舎改築其他工事費ニシテ大正二年六月吉田某ニ請負ハシメ同七月竣功ヲ告ケタルモノナリ而シテ其起工決議書類ニ依レハ同管理局事務室ノ狹隘ヲ感スルニ至リタルヲ以テ其第一號廳舎ニ四十五坪第二號廳舎ニ三十八坪五合ヲ増築スル爲メ在來鐵道院圖書室八十二坪餘及附屬渡廊下十三坪餘ノ内ヲ移轉充當セントスト謂フニアリ

三、四四〇^四〇〇〇

ハ新橋停車場構内東京倉庫事務室改築其他工事費ニシテ大正二年九月平野某ノ請負ニ付シ同十二月竣功ヲ告ケタルモノナリ而シテ其起工決議書類ニ依レハ飯田町停車場構内保線事務所在來木造瓦及鐵板葺二階建百十坪餘及附屬家ノ一部ヲ移轉改築セントスト謂フニアリ右ハ孰モ在來建物ヲ利用シ移轉改築スルノ名義ヲ以テ請負ハシメタルモノナリト雖モ在來建物ニ比シ之カ構造仕様ヲ異ニシテ強テ之ヲ新設計ニ適合スル用材ニ改造使用セントセハ卻テ工費ヲ増加スルノミナラズ大正四年一月之カ實地ヲ検査スルニ在來建物ハ之ヲ利用シタルノ跡ナク殆ント新築ニ係リ立會官吏ノ説明スル所ニ依ルモ家根瓦若クハ石材ノ一部ヲ利用シタルノ外在來建物ハ其儘之ヲ請負人ニ給付シ適宜處分セシメタルモノナリ即チ本件ハ建物ノ新築ニ際シ在來建物ノ拂下處分ヲ爲サス其工費ノ一部ニ充當センカ爲メ之ヲ請負人ニ給付シタルモノニシテ決算上收支ヲ混同スルノミナラス其給付シタル在來建物ノ評價ニ關シテハ何等之ヲ確認スヘキ書類ナキヲ以テ其計算ノ當否ヲ知ルニ由ナキモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 本件ハ移轉改築工事ニシテ在來建物ノ梁及柱ハ重ニ見(隱レ)ノ箇所ニ使用シ其他ハ相當挽割リ使用セシムル目的ナリシモ請負人ノ都合ニ依リ在來建物ノ古材料ヲ利用スルコト少ク新材料ヲ使用シ竣功セシメタルモノニ係リ官ニ於テモ不利ナラサルヲ以テ之ヲ容認シタルモノナリ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク 【衆決】 承認

陸軍省所管

東京砲兵工廠

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(五二)

一、五七四^四〇四六

第一款 東京砲兵工廠作業費 第四項 作場費

【報告】 (五二) 東京砲兵工廠ノ支出ニ係ル

一、五七四^四〇四六

ハ石炭購買代トシテ證明シタルモノナルモ其實同工廠筆工遅野井某外一名カ供給者古河合名會社ノ納入代理人某ト共謀シ

大正二年度 東京砲兵工廠 (五二)

大正二年八、九兩月中關係書類ヲ作成シ實際納付セサル數量ヲ納付シタルカ如ク裝ヒ前掲金額ノ仕拂ヲ受ケシメタルモノ
ナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ當事者ニ對シテハ相當處分ヲ了シ且其損害金ハ既ニ之ヲ納付セシメタリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

海軍省所管

海軍工廠資金

歳出

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購入ヲ隨意契約ニ依リタルモノ二件(五三)(五四)

一〇、三〇三、二四〇

第一款 材料物品費 第一項 材料物品費

【報告】 (五三) 横須賀海軍工廠ノ支出ニ係ル

五、一九八、一八〇

ハ同工場工場用調革五千五百七十六呎ノ代價ニシテ大正二年中三回ニ會計法第二十四條第四號ヲ適用シ新田帶革製造所代
理横須賀市赤松某ヨリ隨意契約ニ依リ購入シタルモノナリ右ハ競争入札ニ付スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問
セシニ其答辯ノ要旨ハ調革ハ長時日間實地ニ使用スルニアラサレハ其良否判明セサルモノニシテ制規ノ検査ノミニテハ全
部ニ對スル正確ノ判定ヲ下スコト能ハサルヲ以テ製品ニ就キ技術經驗ヲ有スルモノヨリ購入スルヲ萬全ナリトシ其當時ニ
於テハ新田帶革製造所ノ製品優良ナルヲ認メ同社ヨリ隨意契約ヲ以テ購入シタリト謂フニアリ然レトモ此種ノ物件ニアリ
テハ其供給者ニ乏シカラサルノミナラス規格ヲ示シ之ヲ競争入札ニ付スルニ於テハ所定ノ目的ヲ達シ得ヘキヲ以テ答辯ノ
事由ヲ認ムルコトヲ得ス依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 會計法第二十四條違背

【報告】 (五四) 横須賀海軍工廠ノ支出ニ係ル

五、一〇五、〇六〇

ハ同工場工業用螺錐大小三百三十五箇ノ代價ニシテ大正二年三、七兩月中會計法第二十四條第五號ヲ適用シ神戸製鋼所代
理横須賀市赤松某ヨリ隨意契約ニ依リ購入シタルモノナリ右ハ競争入札ニ付スヘキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問
セシニ其答辯ノ要旨ハ本品ハ「ホーラー」社製「ハイスビード」鋼ヲ以テ製作ヲ要スルモ本邦ニ於テハ神戸製鋼所ノ外他ニ之
ヲ求ムルモ到底完全ナルモノヲ製作シ得サルニ由リ隨意契約ヲ以テ購入シタリト謂フニアリ然レトモ本品製作上特種ノ鋼
材ヲ使用スルノ要アリトスルモ當時内地ニ於テ其製作ニ應スルモノ少カラス現ニ吳工廠ノ如キハ競争入札ニ依リ購入スル
ノ事例ニ徴シ答辯ノ事由ハ之ヲ認ムルヲ得ス依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 會計法第二十四條違背

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日)
法律(第四號)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ
於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第四 特種ノ物質又ハ特別使用ノ目的アルニ由リ生産製造ノ場所又ハ生産者製造者ヨリ直接ニ物品ノ購入ヲ要スルトキ

第五 特別ノ技術家ニ命スルニ非サレハ製造シ得ヘカラサル製造品及機械ヲ買入ル、トキ

文部省所管

東京帝國大學

歳出

物件ノ購入ニ關シ事實ニ反スル證明ヲ爲シ年度所屬ヲ混同シタルモノ一件(五五)

四九〇、四一〇

歳出經常部

第一款 東京帝國大學 第二項 物件費

大正二年度 海軍工廠資金 (五四)

【報告】

(五五) 東京帝國大學ノ支出ニ係ル

四九〇円 四一〇

ハ醫科大學教室實驗用各種購入物品ノ代價トシテ證明セルモノナリ大正四年三月之カ實地ヲ検査スルニ多種多樣ノ購入物品ニ對シ一々其品名數量ヲ列記シ事實ノ如ク證憑書類ヲ作成スルハ煩ニ堪ヘスト爲シ其主ナルモノニ數量ヲ増加シ代價ヲ割當ツル等虚偽ノ記載ヲ爲シ加之時期ヲ異ニシ購入シタル物品ヲ取總メ代價請求ノ日ニ於テ一括購入シタルモノ、如ク裝ヒ本年度ニ於テ實際購入セル代價九百參拾參圓七拾五錢ナルニ拘ラス既往二箇年度ノ購入ニ係ル百九拾五圓七拾五錢ヲ本年度ノ負擔トシ更ニ本年度購入代價中六百參拾九圓九錢ヲ翌年度ノ負擔トシ順次支出年度ヲ繰下ケ遂ニ本年度ニ於テ前掲金額ノ支出ヲ爲スニ至リシモノナリ依テ本件ハ物品ノ購入ニ關シ事實ニ反スル證明ヲ爲シ年度所屬ヲ混同シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

農商務省所管

製鐵所

歳出

不正ノ入札ヲ行ヒ且ツ粗造工事ニ對シ工費ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件(五六)

一一一、一〇〇、〇〇〇

歳出經常部

第一款 製鐵所作業費 第三項 事業費

【報告】

(五六) 製鐵所ニ瀨出張所ノ支出ニ係ル

一一一、一〇〇、〇〇〇

ハ中央潤野兩礦浴場並ニ附屬廊下新營工事費ニシテ大正二年十一月指名競争ニ依リ森本某ノ請負ニ付シ同三年三月竣功ヲ告ケタルモノナリ然ルニ本件工事ニ關シ當時營繕係長タリシ元製鐵所技手遠藤某ハ自ラ設計監督ヲ行フノ任ニアルヲ奇貨

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

官金

銀行救済ノ爲メ巨額ノ支出ヲ爲スニ當リ國庫金ノ運用ト爲シ豫算決算ニ編入セサルモノ一件(五七)

五、八五四、八三三、二五四

【報告】

(五七) 大藏省ニ於テ政府保有英貨六拾萬磅此換算額

五、八五四、八三三、二五四

ヲ株式會社日本興業銀行ニ對シ大正二年八、九兩月中明治二十七年法律第十六號ニ基キ日本銀行ヲ通シ年利二分ヲ以テ融通シタルモノアリ右同行ニ於テ金山ニ對スル滯貸及有價證券價格下落等ニ由リ多額ノ缺損ヲ來シタルヲ以テ之カ整理ノ爲メ大正二年六月中特別資金融通方ニ關シ内願スル所アリ之ニ對シ大藏大臣ハ其必要アリトシ日本銀行ヲシテ參百萬圓橫濱正金銀行ヲシテ貳百五十萬圓年利二分ヲ以テ貸付セシムルト共ニ從來年利三分乃至三分二分ノ一ヲ以テ運用セル政府保有在外正貨ノ内ヨリ前掲金額六拾萬磅ヲ引出シ之ヲ融通シタルモノナリ該救済ニ關シ當局者ノ事由トスル所ハ當時同行整理ノ方法ハ減資ヲ斷行スルカ又ハ積立金ヲ取崩シテ數期間無配當ヲ繼續スルカノ外其途ナキモ同行ハ外國ニ對スル關係少カラサルヲ以テ信用上之ヲ實行シ難キ事情アリ又内地工業ニ對スル金融ハ同行職責ノ一半ナルヲ以テ此際相當ノ資金ヲ供給シテ其金融ヲ助長セシムルハ同行ノ整理ト相待チテ國家經濟上最モ緊切ノ措置ト認メタリ而シテ利率ヲ年二分ト爲シタルハ相當ノ運用利鞘ヲ得セシムルニアラサレハ同行ノ整理ヲ完了セシムルコト能ハサルト且ツ在外正貨運用利子ハ豫算ニ於テハ平均年一分七厘五毛ニ見積アルヲ以テ其權衡ヲ參酌シタルモノナリト謂フニアリ今日日本興業銀行ノ破綻ニ際シ特別資金

大正二年度 官金 (五七)

ヲ交付シテ之ヲ救済スルノ必要アリシヤ又同行ノ此ノ如キ状態ニ至リシハ政府監督上ニ於テ缺クル所ナカリシヤ將ク之カ整理ニ關シ他ニ相當ノ方法ナカリシヤ否ヤハ姑ク之ヲ擱キ縱ヒ救済ノ必要アリトスルモ本件融通ハ國庫出納上一時貸借ニ關スル國庫金ノ運用ト認メ難ク隨テ歲出豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經ルノ要アリト認メ大藏大臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ歲出豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ要ムルコト一方法ナルモ預金部遊資ノ運用ニ依ルコトモ亦其一方法タリ而シテ同行破綻ハ大正二年度六月上旬ニシテ帝國議會閉會中ナルヲ以テ前段ノ方法ニ依ラシ半年末議會開會ノ時期ニ至ラサレハ救済上何等ノ解決ヲ爲スコト能ハスシテ同年上下兩半期ノ決算ニ於テ極端ナル破綻ヲ天下ニ公表セサルヘカラス斯クテハ救済ノ機會ヲ逸スルヲ以テ後段ノ方法ニ依ルコト、爲シタルモ適ニ當時國庫出納上ニ生シ居タル餘裕金ヲ一時預入シ置キ國庫金ノ必要アルニ際シテハ之ヲ引出シ代フルニ預金部ノ遊資ヲ以テスルモ法律上差支ナシト認メ之ヲ融通シタリト謂フニアリ然レトモ本件融通ハ日本興業銀行ノ缺損ニ對シ政府融通金ノ運用利鞘ヲ以テ之ヲ補填救済スルヲ目的トシタルモノニシテ同行ニ對スル内達ニ依ルニ融通資金ノ繼續ハ同行整理案ニ豫定セル整理完了期即チ大正十三年ヲ以テ最終期ト爲シアルニ徴シ畢竟長期ノ貸付ト認メサルヲ得ス其九十日ヲ以テ預入期限ト爲セルハ單ニ形式ニ過キスシテ明治二十七年法律第十六號ニ基キ國庫出納上一會計年度間餘裕アルトキ之ヲ預入スルカ如キ一時貸借ニ屬スルモノト認ムルヲ得ス而シテ大藏大臣ハ國庫金ノ必要アルニ際シテハ之ヲ引出シ代フルニ預金部ノ遊資ヲ以テスルモ差支ナシト謂フト雖モ明治二十三年法律第二十一號ニ依ル預金局預金ハ日本銀行ヲシテ之カ運用利殖ヲ取扱ハシメ其利殖金ヲ以テ利子ノ仕拂ニ充テ殘餘ハ利子仕拂元金ニ積立ツヘキモノニシテ縱ヒ預金部ニ遊資アリトスルモ郵便貯金利子歩合ノ半ニモ達セサル低利ヲ以テ融通スルカ如キハ該法律ノ趣旨ニ副フモノニアラス即チ本件ハ國庫金ノ運用ニアラスシテ長期ニ渉ル貸付金ナルヲ以テ國家ノ歲出ニ屬シ隨テ之カ支出ハ豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經ルノ途ニ出テサルヘカラス要スルニ本件ハ銀行ノ救済資金融通ニ際シ國庫金ノ運用ナリトシ破格ノ低利ヲ以テ長期ノ貸付ヲ爲シ之ヲ歲出豫算決算ニ編入セス巨額ノ支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

本件ハ大正二年度六月日本興業銀行總裁ヨリ同行ノ金山ニ對スル滯貨及有價證券價格下落ニ基ク缺損ノ整理並工業金融助長ノ爲特別資金融通方ニ付内願スル所アリ當時同行ノ財産及損益状態ニ顧ミ採ルヘキ整理方法トシテハ減資ヲ斷行スルカ又ハ積立金ヲ取崩シテ數期間無配當ヲ繼續スルノ途ナキニ非サレトモ然レトモ若シ此ノ如キ過激ノ處置ヲ施スニ於テハ獨リ同行ノ信用ヲ害スルノミナラス延テ一般金融界ノ動搖ヲ來スノ虞アリ殊ニ同行ハ七百五十萬圓ノ無記名株式ヲ有シ其ノ一半ハ外國市場ニ融通シ居ル關係上減資ハ到底事實實行不可能ナリトス且ツ同行ハ債券ヲ以テ唯一ノ武器トシ之ニ依テ資金ノ調達ヲ圖ルノ外ナキヲ以テ若シ内外ニ向テ信用ノ失墜ヲ來ストキハ同行ノ機能ハ茲ニ停止シ本邦工業金融ノ途絶絶シ我經濟界ノ發展ヲ阻止シ内外ニ對シ國家ノ體面ヲ毀損スルニ至ルヘシ依テ證議ノ末政府ハ同行ヲシテ過激ノ方法ニ依ラス穩健ナル手段ニ依リテ整理ヲナサシムルノ得策ナルヲ信シ而モ救済ノ著手ハ内外ニ對スル關係上一日モ之ヲ緩フスヘカラスナルノ状態ナルヲ認メ特ニ資金ヲ融通スルコトニ決シ會々在外正貨ニ餘裕アリシヲ以テ其ノ運用トシテ六拾萬磅ヲ限度トシ明治二十七年法律第十六號ニ依リ年二分ノ利附ニテ之ヲ日本銀行ニ預入シ更ニ同行ヲシテ日本興業銀行ニ預入セシメ九十日ヲ以テ期限トシ國庫ニ必要アレハ何時ニテモ返戻セシムル條件ヲ以テシタルモノナレハ必スシモ日本興業銀行整理完了ノ時迄繼續預入スヘキ義務アルニ非ス國庫ノ必要アルニ際シテハ之ヲ引出シ代フルニ預金部ノ遊資ヲ以テスル場合アリトスルモ亦必スシモ年二分ノ低利ヲ以テ融通スヘキ義務アルニ非ス之ヲ要スルニ本件ハ本邦特種金融機關ノ信用ヲ内外ニ保持シ國家ノ體面ヲ保全シ金融界ノ動搖ヲ豫防シ工業金融ニ對スル障礙ヲ排除シ國家經濟ノ發展ヲ期スルカ爲必要緊切ナル措置ニシテ國庫金ノ運用トシテモ不當ナルモノニ非ス

【貴決】 不當(一二五頁參看)

【衆決】 不當(一二五頁及一二六頁參看)

(參照) ○國庫金出納上一時貸借ニ關スル法律(明治二十七年六月十二日)

- 第一條 政府ハ國庫金出納上一會計年度間餘裕アルトキハ相當ノ利子ヲ徵シテ之ヲ當坐預又ハ定期預トシテ日本銀行ニ預ケ入ル、コトヲ得
- 第二條 政府ハ國庫金出納上一會計年度間一時不足ヲ生スルトキハ相當ノ利子ヲ附シ日本銀行ヨリ借入ヲ爲スコトヲ得
- 第三條 前條ニ依リ政府ノ借入ル、コトヲ得ヘキ金額ハ大藏省證券發行額ト合セテ當該年度該證券ノ發行最高額ヲ超過スルコトヲ得ス

○預金局預金郵便貯金郵便爲替金郵便取立金特別會計(明治二十三年三月十八日)
 第四條 預金局預金ハ日本銀行ヲシテ之レカ運用利殖ヲ取扱ハシメ其利殖金ヲ以テ利子ノ仕拂ニ充テ殘餘アルトキハ利子仕拂元金トシテ之ヲ積立預金ト共ニ運用利殖スヘシ

既
往
年
度

既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項……………一二三頁

明治四十五年……………一二三頁

大正元年度……………一二三頁

特別會計……………一二三頁

 内務省所管……………一二三頁

 朝鮮總督府……………一二三頁

 歲出……………一二三頁

 大藏省所管……………一二四頁

 帝國鐵道……………一二四頁

 資本勘定……………一二四頁

 歲出……………一二四頁

既往年度 目次

既 往 年 度

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳出ノ使用ニ於テ

精算費額更訂ノ事由不明ナルモノニ對シ補助金ヲ支出シタルモノ一件

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件

合計二件

一三三、〇〇〇
一、一六六、三三三
二四、一六六、三三三

ナリ

明治四十五年 度

歳出

精算費額更訂ノ事由不明ナルモノニ對シ補助金ヲ支出シタルモノ一件(五八)

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(五九)

合計二件

一三三、〇〇〇
一、一六六、三三三
二四、一六六、三三三

特別會計

内務省所管

朝鮮總督府

歳出臨時部

第七款 補助費 第七項 土木費補助

【報告】

(五八) 朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

既往明治四十五年 度 朝鮮總督府 (五八)

一三三、〇〇〇
一、一六六、三三三
二四、一六六、三三三

ハ防水堤修築費補助ノ爲メ新義州居留民團ニ對シ交付シタルモノナリ本工事ハ豫定工費五萬參千圓ニ對シ補助スヘキ金額ヲ貳萬參千圓トシ明治四十五年六月先ツ壹萬八百拾圓ヲ支出シ居留民團ハ工事施行ノ結果大正元年八月工費四萬七千參百餘圓ノ精算書ヲ提出スルト共ニ殘額五千六百餘圓ハ道路橋梁ノ修繕ニ充當セントヲ申請セシニ築堤ニ關聯セサル別種ノ工事ト認メ不認可ノ内意アリシヲ以テ該精算書ヲ撤回シ更ニ同年十月ニ至リ精算書中ノ用地買收費ヲ更訂シテ參千圓ヲ増加シ總額ヲ五萬參百餘圓トシ殘額貳千六百餘圓ハ防水堤附帶ノ雜工事費ニ充當スルノ申請ヲ爲シタルモノニシテ總督府ハ之ヲ認可シ同年十二月補助金殘額壹萬貳千九拾圓ヲ支出シタルモノナリ大正四年五月之カ實地ヲ検査スルニ補助團體ニ屬スル證憑書ハ散逸シ大正元年十、十一月及同二年四月分此金額壹萬九千六百餘圓ハ全ク存在セス又用地買收費八千四百圓餘ノ内證憑書ノ存セサルモノ七千八百八拾餘圓ニ及ヒ其事實ノ當否ヲ判別シ難キモノナリ右ハ補助金支出ニ際シ精算費額更訂ノ事出不明ナルモノアルニ拘ラス漫然支出ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ本件工事ニ關聯シテ前新義州居留民團長市川信清外數名ハ公文書偽造文書毀棄、詐偽、業務上横領等ノ罪名ノ下ニ處刑セラレタリ

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

大藏省所管

帝國鐵道

資本勘定

歳出

第一款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】 (五九) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一、一六六、三二三

ハ德島建設事務所ニ於テ川田池田間軌條敷設並ニ橋桁架設、電話線架設等ニ要シタル人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ

右ハ大正二年度帝國鐵道資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費ニ詳悉セシ如ク同事務所在勤鐵道院技師川村某外二名カ實際使役セサル人夫ヲ使役シタルモノ、如ク裝ヒ請負人ヲシテ虚偽ノ人夫賃請求書ヲ提出セシメ仕拂ヲ爲シタル總額八千四百六拾貳圓四拾七錢參厘ノ内ニシテ七千貳百九拾六圓拾五錢ハ大正二年度ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス(一〇八頁(四四)參看)

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正二年度資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費第二號ニ同シ

【貴決】 異議ナシ 【衆決】 不當

貴族院決議

貴族院ハ大正二年度ニ於テ政府カ日本興業銀行ヲ救済スル爲國庫金ノ運用ト稱シ豫算ニ依ラスシテ同行ニ對シ金五百八拾五萬四千八百參拾參圓餘ヲ貸付シタルハ不當ノ處置ナリト議決ス

衆議院決議

政府ハ明治二十三年法律第二十一號ニ依リ預金局預金ヲ以テ更ニ充當スルヲ辭柄トナシ明治二十七年法律第十六號ヲ適用シ國庫金ヲ以テ興業銀行ニ貸付セシハ明ニ不當ノ甚シキモノナリト認ム

大正二年度 貴族院決議 衆議院決議

衆議院附帶條件

政府ハ興業銀行ニ貸付セル金五百八拾五萬四千八百參拾參圓貳拾五錢四厘ヲ同行ヲシテ返還セシムヘシ若シ事情不可能トスレハ政府ハ豫算ヲ以テ帝國議會ノ協贊ヲ經ルト同時ニ利子ノ歩合ヲ相當ニ改正スルハ勿論可成速ニ同行ヲシテ整理ノ實ヲ學ケシメ返還年限ヲ短縮スヘシ

衆議院希望決議

決算報告ハ前前年度ノ決算ニ係ルモ之ヲ短縮シテ前年度ノ決算ニ改ムルヲ適當ト認ム仍テ政府ハ次年度ヨリ之ヲ實行セムコトヲ望ム

大正三年度歳入歳出決算検査報告

大正三年度歲入歲出決算檢查報告

大正三年度歲入歲出決算檢查報告

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	一二七
一般會計	一二九
歲入	一二九
歲出	一三九
大藏省所管	一三九
陸軍省所管	一四二
海軍省所管	一四三
文部省所管	一四四
農商務省所管	一四七
逓信省所管	一四九
特別會計	一五一
內務省所管	一五一
朝鮮總督府	一五二
歲出	一五二
臺灣總督府	一五六
歲出	一五六

大正三年度歳入歳出決算検査報告

豫算及法律勅令違背ノ事項

大正三年度歳入歳出總決算及同特別會計歳入歳出決算ノ内歳入ノ賦課徴收歳出ノ使用官有物ノ管理處分ニ於テ豫算又ハ法律勅令ニ違背シタル事項ハ

一般會計

歳入ニ於テ

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ六件

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十四件

契約ノ締結及履行ニ關シ適當ノ措置ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ一件

其他不當ナルモノ五件

合計二十六件

歳出ニ於テ

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ五件

適法ニ税額ヲ徴收シタルニ拘ラス測定外誤納トシテ拂戻ヲ爲シタルモノ一件

委任經理ニ屬スヘキ經費ヲ一般會計ノ支出ト爲シタルモノ一件

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ五件

隨意契約ニ依リ高價ノ物件ヲ購入シタルモノ一件

經費ノ所屬年度ヲ混同シ且ツ高價ノ物件ヲ購入シタルモノ一件

大正三年度

一〇、九二四、八〇〇
五八、九二九、三〇〇
一、二二五、九二〇
六、五一六、九二〇
七七、五九六、九四〇
六、二三二、〇〇〇
一、二八六、七〇〇
一〇〇、一四〇
一、七五一、一三五
一四、六九〇、三九五
一〇、五九〇、〇〇〇
一一七

大正三年度

物件購入數量ノ當否ヲ確認スルコト能ハサルモノ四件
事業上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ二件
工事施行上ノ注意ヲ缺キ且ツ設計變更ニ屬スル工費高價ニ失スルモノ一件
其他不當ナルモノ二件

合計二十三件

特別會計

歳入ニ於テ

所要外ニ多量ノ輸送ヲ爲サシメ且ツ運賃追徴ノ計算宜シキヲ得サルモノ一件
開墾ノ目的ヲ達セサル土地ノ拂下ヲ爲シタルモノ一件

合計二件

歳出ニ於テ

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ三件
虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ五件
工事ノ施設宜シキヲ得ス豫定ノ目的ヲ達セサリシモノ二件
繼續年度終了後ニ於テ經費ヲ支出シタルモノ一件
讀負料ノ仕拂ニ代ヘ官ニ納付セシムヘキ物件ヲ交付シタルモノ一件
豫算ノ剩餘アルニ乘シ年度内不用ノ物件ヲ多量ニ購入シタルモノ二件
豫算ノ目的ニ違背シ且ツ高價ヲ以テ物件ヲ購入シタルモノ一件
移轉改築ノ名義ヲ以テ新營ヲ爲シ在來建物ヲ讀負人ニ交付シ其計算明カナラサルモノ五件

二二八

九、六四四、七〇五

五、二〇八、四六〇

二、八八九、七〇〇

六、二二八、一五〇

八四、六一八、六八五

四、二九四、六二〇

一、五〇〇、二九〇

五、七九四、九一〇

二〇四、八四一、四九六

四、七一八、〇一〇

一、三三五、二七九、四二〇

二、六、五九七、八二一

三、〇、九五六、一六〇

三、三、二七六、一七〇

一、八六、二〇〇、〇〇〇

九六、〇九一、二七〇

一四、四五九、三一九

五七、二五六、七五〇

五、一四〇、四三九

一六、八一九、二八〇

五、四六六、八二〇

三、六七〇、七四〇

一九、一九〇、六四〇

一、四五五、二七五、〇八五

官有物ニ於テ

名ヲ官有地整理ニ藉リ官舎及宿舍ヲ建築セシメ官有地ト交換シタルモノ一件
價格不同ノ土地ヲ交換シ停車場ノ移轉工事ヲ遂行シタルモノ一件
數年ニ涉リ維持資金ニ屬スル公債證書ヲ亡失セルモノアルニ拘ラス之カ事實ヲ覺知セサリシモノ一件
總計八十二件
ナリ

一般會計

歳入

租税ノ徴收過ニ屬スルモノ六件(一)(七)(八)
租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ十四件(一)(二)(三)(四)(五)(六)(七)(八)
契約ノ締結及履行ニ關シ適當ノ措置ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ一件(一〇)
其他不當ナルモノ五件(三)(九)

大正三年度

一〇、九二四、八〇〇

五八、九二九、三〇〇

一、二二五、九二〇

六、五一六、九二〇

一一九

大正三年度 歳入 (1)(11)
合計二十六件

1110
七七、五九六、九四〇

歳入經常部

第一款 租 稅 第二項 所得稅

【報告】

(一) 神田橋稅務署ニ於テ徵收ニ至ラザリシモノ
アリ右ハ東洋汽船株式會社鬼怒川水力電氣株式會社債利子本年度中支拂額四拾參萬七千八百八拾六圓九錢及鬼怒川水力電氣株式會社債利子大正二年度中支拂額貳拾六萬七百六拾六圓九拾七錢ニ對スル所得稅ニシテ本年度中金庫ニ拂込ヲ爲サ、ルモノナリ即チ金庫ニ實際拂込ヲ爲シタルハ支拂後六箇月以上經過ノモノ四千五百四拾貳圓餘一箇年以上ノモノ八千六百五拾圓餘一箇年半以上ノモノ六百八拾壹圓餘ナリ元來社債利子ニ對スル所得稅ハ利子支拂者ニ於テ徵收ノ都度金庫ニ拂込ムヘキモノニシテ徵收稅金ヲ納付セザルトキハ國稅徵收法ニ依リ支拂者ヨリ徵收スヘキモノナルニ此ノ如ク拂込ノ遲延セルハ畢竟監督上不注意ニ基因シタルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

一三、八七三、九二〇

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【衆決】 不當

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○所得稅法(明治三十二年二月十三日法律第十七號)

第四十二條第二項及第四項 第二種ノ所得ニ付テハ其ノ金額支拂ノ際支拂者其ノ所得稅ヲ徵收シ其ノ都度之ヲ政府ニ納ムヘシ

第二項ノ規定ニ依リ徵收スヘキ所得稅ヲ徵收セザルトキ又ハ其ノ徵收シタル稅金ヲ納付セザルトキハ國稅徵收法ニ依リ之ヲ支拂者ヨリ徵收ス

【報告】

(二) 廣島稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

四、三七五、〇〇〇

アリ右ハ廣島瓦斯株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ同會社カ吳瓦斯株式會社ヲ合併シ其新株拂込金額ヲ被合併會社株式拂込金額ヨリ切下ケタルカ爲メ生シタル差額七萬圓ヲ所得額ニ加算シタルニ因ルモノナリ

三、二二二、一一二〇

下京稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ京都電燈株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ刺賦賞與金五萬四千五百九拾四圓ヲ所得額ニ加算セス又退職者死亡

者遺族ニ對シ給與シタル參千貳百圓ヲ損金ニ計算セサルニ因ルモノナリ

一、二二三、三九六、六〇〇

矢板稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ西澤金山探鐵株式會社ノ所得額ヲ參萬七千四百參拾四圓六拾貳錢ト決定シタルモ既往年度所屬利益金ノ積立ニ係ル別口假受金ヲ以テ補填シタル起業費償却金八萬八千五百圓ハ之ヲ損金ニ計算スヘキモノナルヲ以テ同會社ニ對シ所得稅ヲ課スヘキモノニアラス

一、九八八、六三〇

南稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ阪堺電氣軌道株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ同會社カ阪南電氣軌道株式會社合併ノ條件トシテ被合併會社ノ株式拂込金額四拾五萬圓繰越金參百八拾八圓八拾貳錢及當該事業年度合併マテノ利益金千四百貳拾九圓貳拾七錢計四拾五萬千八百拾八圓九錢ニ對シ新株式拂込金額四拾貳萬圓ヲ交付シ依テ得タル差額參萬千八百拾八圓九錢ヲ所得額ニ加算シタルニ因ルモノナリ

一、〇一四、〇〇〇

永代橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ東京火災保險株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ使用人ニ給與シタル刺賦賞與金壹萬六千貳百貳拾四圓ヲ所得額ニ加算セサルニ因ルモノナリ

七、七六、七九〇

下關稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ下關市西村某ニ對スル所得額ノ誤謬訂正ヲ爲スニ當リ合名會社西宗商店ヨリ受クル報酬及船舶賃貸料ノ所得壹萬五百七拾九圓貳拾錢ヲ計算セザリシニ因ルモノナリ

三、三五、九七〇

仙臺稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

アリ右ハ仙臺市細谷某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ不動産抵當貸金參萬七千圓ハ大正二年中抵當權ノ實行ニ依リ抵當物件ノ所有權ヲ取得シ既ニ消滅シタルモノナルニ右物件ヨリ生スル所得ノ外該貸金所得參千四百四拾五圓ヲ加算シタルニ因ルモノ

一、三三、一

大正三年度 歳入 (11)

ナリ
 德山稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 三二一三 七六〇
 アリ右ハ山口縣都濃郡富田町道源某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ銀行業所得六千七百參拾八圓ト計算スヘキヲ誤テ營業用建
 物償却金ヲ經費ト認メ所得額ヨリ控除シ之ヲ四千貳百七圓ト計算シタルニ因ルモノナリ
 名古屋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 一五九 四六〇
 アリ右ハ名古屋市後藤某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ南滿洲鐵道株式會社配當金貳千參百五圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ
 右ハ孰モ取扱上ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ第三種所得稅中徵收不足ノ分ニシテ本人ノ追加申告ナキカ爲徵收シ能ハサルモノヲ除クノ外大正四年度及同五年度ニ於テ訂正處分濟
 【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

【報告】 (三) 本項ニ於テ神田橋稅務署ノ徵收ニ係ル

ハ大東鑛業株式會社ニ對スル所得稅ニシテ年度内徵收ヲ了シタルモノナルニ滯納額整理簿其他關係簿書ニ收入未濟翌年度
 繰越トシテ虚偽ノ整理ヲ爲シ 三、〇六六 七三〇
 第六項鑛業稅ニ於テ同稅務署ノ徵收ニ係ル 一、三六九 五〇〇

ハ長崎天草兩稅務署ヨリ大東鑛業株式會社ニ係ル探掘鑛區稅及試掘鑛區稅滯納處分ノ引繼ヲ受ケ年度内徵收ヲ了シタルモ
 ノナルニ其手續ヲ爲サス 一、九一四 五一〇

第二款印紙收入第一項印紙收入ニ於テ同稅務署ノ徵收ニ係ル
 ハ株式會社三越吳服店外九名ヨリ商品切手、株券等ニ稅印押捺ノ請求ニ依リ印紙稅ノ徵收ヲ了シタルモノナルニ其手續ヲ
 爲サス

第四款雜收入第一項免許及手数料ニ於テ同稅務署ノ徵收ニ係ル 〇四〇〇

【辨明】

ハ鑛業稅ニ伴フ督促手数料ニシテ同稅ト共ニ徵收ヲ了シタルモノナルニ其手續ヲ爲サス孰モ之ヲ歳入ニ編入セザリシモノ
 ナリ本件各項ノ事實ハ鑛業稅ニ關シ長崎天草兩稅務署ノ徵收額計算證明中滯納處分ノ爲メ神田橋稅務署ニ徵收ノ引繼アル
 ニ對シ神田橋稅務署ヨリ之ニ該當スヘキ引受ノ證明ナキヲ以テ其事由ヲ當該官吏ニ推問シ尙ホ同稅務署ノ會計實地検査ヲ
 執行シタルニ其結果ニ依レハ同署在勤庶務課長稅務署屬小杉某ニ於テ三四兩年度ヲ通シ歳入金貳萬八千百拾壹圓六拾九錢
 フ横領シ目下司法裁判所ニ繫屬セルモノナリ右ハ監督宜シキヲ得サルニ因ルモノニシテ不當ナリトス
 會計検査院検査報告ノ通

但シ印紙收入ヲ除クノ外大正三年度分ハ大正五年三四兩月中横領者ニ於テ辨償補填濟
 【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

【報告】

(四) 西稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 一、五六二 五〇〇

アリ右ハ株式會社大阪鐵工所ノ所得額ヲ決定スルニ當リ會社使用人ニ支給セル精勤賞與金貳萬五千圓ヲ損金ニ計算セルニ
 因ルモノニシテ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ該賞與金ハ會社ノ内規ニ依リ事業年度末ニ於テ損益ニ拘
 ラス使用人ニ對シ其依給總額ノ十分ノ二ヲ勤務時間ニ割當テ支給スルモノニシテ獎勵金ノ性質ヲ有スルモノナルヲ以テ之
 ヲ損金ト認メタリト謂フニアリ然レトモ該賞與金ハ會社ノ内規ヲ以テ其總額及支給標準ヲ定メタルニ止マリ依給々料ノ如
 ク損益ニ拘ラス會社ノ義務トシテ支給スルモノト性質ヲ異ニスルノミナラス決算期末ニ於テ支給セルノ事實ニ徵シ利益ノ
 割賦ニ屬スルコト明カナルヲ以テ之ヲ損金ニ計算スヘキモノニアラス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 西稅務署ニ於テ株式會社大阪鐵工所ノ店費中ニ計算セル精勤賞與金貳萬五千圓ヲ損金ト認メ所得ヲ決定シタルハ不當ナリト檢定セリト雖
 右會社賞與金内規ニ依レハ其ノ支給スル賞與ニ二種アリ一ハ會社利益ノ如何ニ依リ支給スルモノ他ハ其ノ利益如何ニ拘ラス所員依給一箇
 年間總高ノ十分ノ二ヲ勤務時間ニ應シ支給スルモノニシテ本件精勤賞與金ハ其ノ後者ニ屬シ前者ノ如ク利益ヲ割賦スルモノニアラス從テ
 之カ支給ヲ受ケタル個人ニ對シ第三種所得ノ決定ヲ爲シタルモノニシテ會社ノ所得計算上之ヲ損金ニ計算シタルハ毫モ不當ニアラス
 【貴決】 異議ナシ 【衆決】 承認

【報告】

(五) 室蘭稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、三二一、六六〇

アリ右ハ株式會社日本製鋼所ノ所得額ヲ決定スルニ當リ役員及使用者勤勉手當貳萬千四百拾六圓五拾錢ヲ損金ニ計算セルニ因ルモノニシテ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ該手當ハ會社創立以來每期損失ヲ來シタルモ役員及使用者人ニ對シテ勤勉手當ヲ支給スルニアラサレハ會社事業ノ發達ヲ期スルコト能ハサル状態ニアルヲ以テ之ヲ支給セルモノニシテ其支給方法ハ利益金ヲ標準トセス各員勤怠日數、執務時間ノ長短竝ニ業務ノ成績等ニ基キ期末ニ近ツキ常務取締役ニ於テ其額ヲ決定セル事實ニ徵シ右ハ利益ノ有無ニ關セズ支給セルモノニシテ會社ノ義務ニ屬シ報酬又ハ給料ト同一性質ナルヲ以テ當然會社ノ經費ニ屬スヘキモノナリト謂フニアリ然レトモ該手當ハ其支給ノ趣旨及方法ニ照シ普通商事會社ノ支給スル賞與金ノ性質ヲ有シ會社ニ於テハ給與規程ヲ設ケス全ク任意支給シタルモノニシテ俸給々料ノ如ク義務トシテ支出スルモノニアラサルノミナラス損益ノ計算ヲ爲シ得ヘキ決算期末ニ於テ支給セルノ事實ニ徵シ利益ノ割賦ニ屬スルコト明カナルヲ以テ之ヲ損金ニ計算スヘキモノニアラス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

室蘭稅務署ニ於テ株式會社日本製鋼所カ其ノ役員及使用者人ニ支給セル勤勉手當貳萬千四百拾六圓五拾錢ヲ損金ニ計算シテ其ノ所得ヲ決定シタルハ不當ナリト檢定セリト雖右勤勉手當ニ關シテハ別ニ定款其ノ他ニ支給ノ方式ヲ定メタルモノナキモ會社創業以來每期利益ナキニ拘ハラズ永ク數期間間支給シ來レル所ニシテ其ノ性質全ク會社經營上ノ必要經費ト見ルヘク當期ニ於テ幾分ノ利益ヲ見ルニ至レリト雖其支給額ハ前數期間ニ比シテ著シク増加セリト認ムヘキ事實ナク隨テ其ノ性質從前ト同シク利益ノ有無ニ拘ラス支給スヘキモノト認ム依テ之カ支給ヲ受ケタル個人ニ對シ第三種所得ノ決定ヲ爲シタルモノニシテ會社ノ所得計算上之ヲ損金ニ計算シタルハ敢テ不當ニアラス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 承認

【報告】

(六) 丸龜稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一八三、五三〇

アリ右ハ四國水力電氣株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ使用者以下ニ對シ支給セル賞與金貳千九百參拾五圓五拾錢ヲ損金ニ計算シタルニ因ルモノニシテ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ該會社ニ於ケル賞與金ハ純益金ノ内ヨリ支給セサルヲ原則トシ毎決算期ニ之ヲ支出スルニアラスシテ利益ノ如何ニ拘ラス事業年度當初ノ月ニ於テ數回ニ支給ス

【辨明】

會計檢査院檢査報告ノ通

但シ大正五年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三項 營業稅

【報告】

(七) 南稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、九四九、六八〇

アリ右ハ南海鐵道株式會社ノ運送業資本金額ハ六拾六萬四千九百四拾七圓八拾四錢ト決定スヘキモノナルニ兼業ニ屬スル鐵道電氣供給及本稅賦課ノ範圍外ニ係ル土地家屋經營ニ要スル資本金額ヲ總資本金月割平均額ヨリ控除スルニ當リ各事業ノ資産見積價格ニ依リ按分スルコト相當ナルニ其收入金按分額ニ依リ之ヲ控除シ竝ニ會社カ大阪市ニ貸付シタル軌道敷設資金ハ社債ヲ以テ充當シ資本金計算上關係ヲ有セサルモノナルニ之ニ對シ市ヨリ受クル收入金ニ基キ按分シタル額ヲ控除シ其他遊園地經營資本ノ控除額ニ關シ其算定ヲ誤リ參拾四萬圓ト決定セルニ因ルモノナリ

一、三二二、〇五〇

神戶稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

六錢ヲ控除セサリシニ因ルモノナリ

一、二五七、一〇〇

神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ東京瓦斯株式會社ノ製造業資本金額ハ參千萬四千六百九拾四圓四錢ト計算スヘキモノナルニ總資本月割平均額ヨリ控除スヘキ物品販賣業及本稅賦課ノ範圍外ニ係ル炭山資本金額ノ算定ヲ誤リ參拾七萬七千參百九圓五錢ヲ過當ニ見

一三五

大正三年度 歳入 (七)

積リタルト免稅期間中ニ屬スル川崎瓦斯株式會社ヨリ繼續セル營業ノ資本金額參萬七千五百五拾貳圓八拾壹錢ヲ控除セザリシトノ爲メ貳千九百六拾六萬四千九百參拾七圓參拾錢ト計算セルニ因ルモノナリ

一六六二五〇

佐賀稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ佐賀縣佐賀郡兵庫村江口某ノ金錢貸付業課稅標準タル運轉資本金額ヲ決定スルニ當リ貸付金及貸付準備金ノ平均額ハ五萬貳千七百貳拾六圓五拾八錢ト計算スヘキモノナルニ之ヲ貳萬七千五百五拾圓ト計算セルニ因ルモノナリ

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ大正五年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第四項 相續稅

【報告】

(八) 三條稅務署ニ於テ徵收ニ係ル

二八、二五七 八六〇

ハ新潟縣南蒲原郡加茂町市川某ノ家督相續ニ付賦課シタル課稅價格百參拾五萬四千七百四拾五圓此稅額拾四萬千貳百八拾九圓參拾錢ノ内本年度年賦納付額ニシテ拾壹萬參千參拾壹圓四拾四錢ハ後年度ニ屬スルモノナリ右ハ課稅價格ヲ決定スルニ當リ東京株式取引所、新潟銀行及寶田石油株式會社ノ株券時價ノ算定ヲ誤リタル爲メ參萬九千八百八圓四拾七錢ニ對スル稅額五千四百七拾五圓貳拾參錢ノ不足ヲ生スルニ至リシモノナリ

四、八八〇 六七〇

直方稅務署ニ於テ徵收ニ係ル
ハ福岡縣鞍手郡直方町貝島某外一名ノ遺產相續ニ付課稅價格四拾四萬八千八百六拾參圓此稅額貳萬八千貳百八拾六圓參拾五錢ニ對シ免稅額參千八百八拾參圓ヲ控除シ賦課シタル稅額貳萬四千四百參圓參拾五錢ノ内本年度年賦納付額ニシテ壹萬九千五百貳拾貳圓六拾八錢ハ後年度ニ屬スルモノナリ右ハ其課稅價格ニ被相續人カ相續開始前一年内ニ從弟貝島某ニ贈與シタル戸畑鑄物株式會社株券四百株此價格壹萬四千圓ヲ計算セザリシ爲メ稅額ニ於テ千貳百五拾四圓參拾貳錢ノ不足ヲ生

スルニ至リシモノナリ

平稅務署ニ於テ徵收ニ係ル

五三三 四九〇

ハ福岡縣石城郡平町淺井某外四名ニ對シ相續稅法第二十三條ニ依リ賦課シタル課稅價格七萬五千六百八拾七圓五拾錢此稅額貳千六百六拾七圓參拾七錢ノ内本年度年賦納付額ニシテ貳千百參拾參圓八拾八錢ハ後年度ニ屬スルモノナリ右ハ淺井某外四名カ母ヨリ贈與ヲ受ケタル合名會社出資持分ノ價格合計六萬九千五百圓ニ對シ各受贈額ニ應シ課稅スヘキモノナルニ右會社設立ノ際ニ於ケル貸金及利子七萬五千六百八拾七圓五拾錢ヲ包括受贈シタルモノト誤認シ稅額ニ於テ千六百六拾參圓貳拾七錢ノ超過ヲ來シタルモノナリ

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ大正四年度及同五年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

(參照) ○相續稅法(明治三十八年二月一日)

第二十三條 左ニ掲タル場合ニ於テ本法施行地ニ在ル不動産及船舶以外ノ財產ニ付爲シタル贈與ノ價額カ五百圓以上ナルトキ

ハ遺產相續開始シタルモノト看做シ其ノ財產ノ價額ヲ課稅價格トシテ本法ニ依リ相續稅ヲ課ス

一 被相續人カ推定家督相續人又ハ推定遺產相續人ニ贈與ヲ爲シタルトキ

二 分家ヲ爲スニ際シ若ハ分家ヲ爲シタル後本家ノ戸主又ハ家族カ分家ノ戸主又ハ家族ニ贈與ヲ爲シタルトキ

前項ノ遺產相續ニ關シテハ第十條ノ規定ヲ適用セス

【報告】

(九) 福知山稅務署ニ於テ徵收ニ至ラザリシモノ

一六五 七八〇

アリ右ハ松原某外九名ノ相續ニ對シ各課稅價格最低限ニ達セサルモノト決定シタルモノナルモ其實納稅資格ヲ有シ其課稅價格合計ハ壹萬五千五拾六圓五拾五錢ニシテ之ニ對スル納稅額ハ前記金額ノ如クナルニ同署在勤稅務署屬岡野某カ課稅最

低限ニ達セサルモノ、如ク裝ヒ一面ニ於テ課稅價格決定通知書ヲ偽造シテ納稅義務者ニ交付シ又ハ口頭ヲ以テ稅額ヲ告知シ之カ金員ヲ騙取シタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正四年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳入臨時部

第一款 官有物拂下代 第五項 物品拂下代

【報告】

(一〇) 横須賀海軍經理部ノ徵收ニ係ル

一、二二五、九二〇

ハ横須賀軍港在泊艦船艇ニ於ケル殘飯及獸骨空罐等ノ拂下代價ニシテ競争入札ニ依リ横須賀市稻垣某ニ賣却シタルモノナリ右ハ各品一年度間ノ數量ヲ概定シテ入札ニ付シ總價額ニ依リ落札ヲ定ムト雖モ之カ拂下代價ハ契約上現實交付セシ數量ニ對シ落札單價ヲ基準トシテ算定スルモノナルヲ以テ其性質單價契約ニ屬スルモノナリ然ルニ本件落札單價ハ生獸骨一貫ニ付拾五錢獸骨煮殼同七拾錢トアリテ豫定價格生獸骨七拾五錢獸骨煮殼拾八錢ニ比シ反對ノ結果ヲ呈セルノミナラス之カ契約履行ノ跡ヲ觀ルニ拂受人カ低廉ナル單價ヲ付シタル生獸骨ハ概量五百二十六貫ニ對シ實量五千九貫餘(年度末一ヶセ)高價ナル煮殼ハ概量二千七百貫ニ對シ實量二百九貫餘(同上)ニシテ斯ク著シキ増減ヲ生セシ事由明カナラス契約ノ方法宜シキヲ得サルモノト認メ海軍大臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ豫定價格ハ從來ノ拂下數量竝ニ價格ヲ斟酌シ算定シタルモノナルモ拂受人ニ於テハ落札ノ關係上總見積價格ニノミ重キヲ置キ多少穩ナラサル單價ヲ付シ入札セルニ由リ再三注意ヲ加ヘ之カ訂正ヲ命ジタルモ該單價ノ相當ナルヲ主張シ訂正ヲ承諾セサリシヲ以テ其儘契約ヲ締結セリ又生獸骨及煮殼ノ如キハ糧食調理方法ニ依リ増減ヲ生スヘキノミナラス拂受人ハ現品受授ノ際口實ヲ設ケ高價ナル現品ノ受領ヲ回避シ其幾分ヲ艦船ニ殘留シ去リタルヲ以テ各艦主務者ハ拂受人受領ノ實數ヲ以テ引渡數量トシ殘留セル分ハ適宜處置スルノ已ム

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ爾後之カ改善ノ必要ヲ認メ部内一般ニ對シ拂下品ハ實量ニ依ラス豫定數量ト總見積價格トニヨリ拂受人ヲ定メ代價ヲ納メシムヘキ旨通達セリ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 不當

歳出

大藏省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ四件(一一)

適法ニ稅額ヲ徵收シタルニ拘ラス測定外課納トシテ拂戻ヲ爲シタルモノ一件(一二)

三、〇八〇、〇〇〇
一、二八六、七〇〇

歳出經常部

第十四款 國資運用費 第一項 國庫金取扱及金融事項調査監督費

【報告】

(一一) 本項ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

七二三〇〇〇

ハ大藏書記官司稅官各一名大藏屬六名ニ對シ金融事項調査ニ關シ盡力セリトシテ給與シタル慰勞金ニシテ本項豫算中給與ノ目囑託手當ヨリ支出シタルモノナリ

歳出臨時部第二款營繕費第二項神戸稅關海陸運輸聯絡設備費ニ於テ大藏大臣官房臨時建築課神戸出張所ノ支出ニ係ル

一〇〇〇〇〇

ハ元大藏次官ニ對シ本課事務ニ關シ盡力セリトシテ給與シタル慰勞金ニシテ本項豫算中事務費ノ目雜給及雜費ヨリ支出シタルモノナリ

第三款關稅定率調査費第一項關稅定率調査費ニ於テ大藏省ノ支出ニ係ル

七五五〇〇〇

ハ大藏技師一名大藏屬五名ニ對シ關稅定率調査ニ關シ盡力セリトシテ給與シタル慰勞金ニシテ本項豫算中給與ノ目ヨリ支出シタルモノナリ

六〇二〇〇〇

第七款臨時秩祿處分費第一項調査費ニ於テ同省ノ支出ニ係ル

【詳明】

國資運用費ヨリ支出シタルモノハ國資運用上ノ參考トシテ外國金融事項參考書編纂ニ關シ特ニ勤勞アリタル者ニ支給シタル慰勞金ニシテ

ハ大藏省參事官一名大藏屬五名ニ對シ臨時秩祿處分事務ニ關シ盡力セリトシテ給與シタル慰勞金ニシテ本項豫算中給與ノ目ヨリ支出シタルモノナリ然レトモ右豫算中ニハ雇員給、傭人料囑託手當又ハ雇員以下ノ慰勞金ノ類ヲ積算シタルモノニシテ本件ノ如キ經費ヲ包含セス若シ右等ノ官吏ニ對シ賞與ヲ行フノ必要アリトセハ各俸給ノ屬スル豫算ノ範圍内ニ於テ之カ支給ヲ爲スヲ相當トス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

本項給與ハ内外金融調査ニ要スル諸給與ヲ包含スルモノナルヲ以テ本費ヨリ金融事項調査上特ニ勤勞アル者ニ慰勞金ヲ給與スルハ多年慣行シ來リタル所ナリ

營繕費ヨリ支出シタルハ元臨時神戸港設備委員會委員長タリシノミナラス該設備事務ニ關シ特ニ盡力シタル者ニ對シ慰勞金給與ノ必要ヲ認メ事務費ノ目ヨリ支出シタルモノニシテ事務費ハ一切ノ給與ヲ包含スルモノナリ

關稅定率調査費ヨリ支出シタルモノハ關稅定率調査事務ニ關シ盡力シタル者ニ給與シタル慰勞金ニシテ關稅定率調査事務ニ關シ特ニ勤勞アリタル者ニ對シ慰勞金給與ノ必要アル場合ニ於テハ本費ヨリ支出スルコトヲ得ルモノナリ

臨時秩祿處分費ヨリ支出シタルモノハ秩祿處分事務ニ關シ盡力シタル者ニ給與シタル慰勞金ニシテ秩祿處分事務ニ關シ盡力シタル者ニ對シ慰勞金給與ノ必要アル場合ニ於テハ本費ヨリ支出スルコトヲ得ルモノナリ

依テ本件支出ハ孰レモ會計法第十二條ニ違背シタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【報告】

(一二) 東京稅務監督局ノ支出ニ係ル

一一二八六七〇〇

ハ明治四十年乃至四十三年度東京市八尾某ニ對スル探掘鑛區稅及督促手数料ノ誤納下戻金ナリ抑、本件ハ當初花卷稅務署ヨリ神田橋稅務署ニ對シ四十二年以降三回ニ涉リ同人ニ係ル滯納處分ヲ引繼キタルニ神田橋稅務署ニ於テ當時八尾某ハ他ニ差押フヘキ財産ナカリシモ偶々東京區裁判所ニ於テ同人所有不動産ノ競賣開始セラレ居ルヲ以テ其引繼ヲ受クルニ從ヒ配當要求ヲ爲シ未タ引受ノ手續ヲ爲サス一面花卷稅務署ヨリ引繼キタルモノ、内重複ニ屬スルモノアリシヲ以テ其部分ニ對スル引繼ノ拒絶ヲ爲スニ當リ全部拒絶ト認メタルヘキ回答ヲ發セリ而シテ四十四年十二月東京區裁判所ヨリ配當要求額全部ノ交付ヲ受クルニ及ヒ始メテ花卷稅務署ニ對シ滯納處分引受ノ手續ヲ爲セシモ同署ハ曩ノ回答ニ依リ既ニ缺損處分ヲ了シタル後ナルヲ以テ神田橋稅務署ニ於テハ調定外誤納ノ整理ヲ爲シ大正三年八月之カ拂戻ヲ爲シタルモノナリ之ニ對スル當該官吏答辯ノ要旨ハ縦ヒ缺損處分ハ錯誤ニ基キタルモノナリト雖モ一旦決定ノ上ハ容易ニ取消スヘキモノニアラス

況ンヤ四十四年七月續業法第四十一條後段ニ依リ鑛業權ヲ取消シ而モ其權利ハ他人ニ特許セラレタル後ナルヲ以テ之カ回復ノ途ナキニ由リ測定外誤納ノ整理ヲ爲シ其拂戻ヲ爲シタルモノナリト謂フニアリ然レトモ缺損處分ハ滯納處分ノ引續及拒絕ノ手續ニ於テ相互稅務署間錯誤ニ基ク決定ナルコト明瞭ナルノミナラス鑛業權ノ消滅ト確定稅額ノ處分トハ自ツカラ別箇ノ問題ニ屬シ鑛業權ノ取消ハ既生ノ納稅義務ヲ消滅セシムヘキモノニアラス隨テ該稅缺損處分ハ之ヲ取消シ配當要求ニ依リ交付ヲ受ケタル金額ヲ以テ該稅額ニ充當スルヲ正當トス要スルニ本件ハ稅額ヲ適法ニ徵收シ得タルニ拘ラス測定外誤納トシテ之カ拂戻ヲ爲スニ至リシモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件花卷稅務署ニ於テ爲シタル缺損處分ハ明ニ錯誤ニ基クモノニシテ取消シ得ヘキカ如キモノナリト雖既ニ花卷稅務署ニ於テ缺損處分ヲ爲シタル結果相當ノ手續ヲ經テ滯納者八尾某所有ノ鑛業權ハ取消處分ヲ受ケテ消滅シ該鑛業權ハ第三者之ヲ取得シタルヲ以テ該缺損處分ノ取消ヲ爲ストキハ滯納者ハ一旦消滅シタル納稅義務ヲ回復負擔スルノミニテ既ニ消滅シタル自己所有ノ鑛業權ハ到底之ヲ回復スルコトヲ得サルノ状態ニ在リタリ而シテ鑛業權ヲ復活セシメ能ハサルニ拘ラス獨リ納稅義務ノミヲ復活セシムルハ決シテ穩當ナル行政處分ニアラス故ニ花卷稅務署ニ於テ其ノ缺損處分ヲ取消スコトナク神田橋稅務署ニ於テ滯納者ノ財產ニ付キ東京區裁判所ヨリ受ケタル配當要求額ヲ以テ測定外誤納トシテ滯納者ニ拂戻ヲ爲シタルハ已ムヲ得サルニ出テタルモノニシテ不當ニアラス

陸軍省所管

委任經理ニ屬スヘキ經費ヲ一般會計ノ支出ト爲シタルモノ一件(一三)

一〇〇,一四〇

第二款 軍事費 第八項 糧秣費

【報告】 (一三) 關東都督府陸軍經理部ノ支出ニ係ル

一〇〇,一四〇

ハ獨立守備第三大隊出納官吏陸軍一等主計木内某カ營内居住下士以下副食物代金仕拂ノ爲メ發行セル引出切符此金額貳百圓六拾四錢ヲ同隊附陸軍二等計手島某ノ爲メ橫領セラレタルモノニ係リ回收金百圓五拾錢ヲ控除シテ經費仕拂ニ立テタルモノナリ然ルニ軍隊ノ糧食ハ定額ヲ交付シ之カ經理ヲ其隊ニ委任セルモノニシテ本件引出切符ハ該隊ニ於テ負擔セル義務

ヲ履行スルカ爲メ發行セルモノナルヲ以テ右金額ハ委任經理ノ計算ニ屬シ一般會計ニ於ケル仕拂命令濟額ト爲スヘキモノニアラス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ責任者ニ對シテハ相當處分ヲ了シ本金額ハ大正五年度ニ於テ委任經理ヨリ歳入ニ納付濟ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

海軍省所管

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(一四)

三、一五二、〇〇〇

虛構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(一五)

三、四四一、〇〇〇

合計二件

三、四九六、〇〇〇

歳出臨時部

第六款 軍備補充費 第二項 水陸設備費

【報告】 (一四) 佐世保海軍經理部ノ支出ニ係ル

三、一五二、〇〇〇

ハ佐世保海軍工廠造兵部第一計器工場新營費四千九百九拾圓ノ内ニシテ千八百參拾八圓ハ大正四年度ニ屬スルモノナリ右計器工場ノ事業ハ素ト海軍測器庫ニ屬セシテ大正二年勅令第三十五號ニ依リ海軍測器庫條例ヲ廢止シ計器ハ之ヲ兵器トシテ取扱フコト、爲リシ結果造兵部ノ所掌ニ移リタルモノニシテ計器工場新營ノ如キハ本費豫算成立當時ニアリテハ豫期セシ所ニアラス隨テ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニアラスト認メ之カ事由ヲ海軍大臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ軍備補充費ハ一般軍備ノ必要ニ依リ水陸ノ設備ヲ目的トシ豫算編成當時豫定セル事項モ年月ノ經過ニ由リ造船造兵事業ノ改良進步其他狀況ノ變化ニ伴ヒ多少ノ變更ヲ爲スハ實際避ケ難キ事情アリ斯ル場合ニ於テハ當初ノ目的ヲ逸セサル限り既定豫算ノ範圍内ニ於テ繰合セ施行スルヲ得策ト思考セリト謂フニアリ然レトモ海軍測器庫條例ヲ廢止シ計器ニ關スル事業ヲ造兵部ニ移セシハ行政組織變更ノ結果ニ出テタルモノニシテ兵器ノ改良進步其他時運ノ變化ニ伴フ施設ノ變更ト認メ得ヘキモノニ

アラサルヲ以テ之カ豫算ハ當然別途ニ要求スヘキモノニ屬シ本費ノ支辨ト爲スヘキモノニアラス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

兵器ノ種類ハ時勢ノ進運ニ伴ヒ常ニ變動アリ測器ヲ兵器ニ編入セルモ其ノ一例ニシテ偶々行政組織ノ變更ヲ伴ヒタルニ過キス隨テ之カ造修工場ハ造兵工場トシ既定豫算ヲ以テ支辨シタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計法第十二條違背

○海軍測器庫條例廢止ノ件(大正二年三月二十九日勅令第三十五號)

海軍測器庫條例ハ大正二年三月三十一日限り之ヲ廢止ス

○會計法第十二條第一項(一四)頁參看

【報告】 (一五) 横須賀海軍經理部ノ支出ニ係ル

三二四四一〇〇

横須賀軍港水道新設工事ニ使用セシ人夫賃及物品購入代價トシテ證明シタルモノナルモ其實海軍技手隅田某カ半原水道事務所勤務中人夫ノ使用又ハ工事用物品ノ購入ニ當リ大正二年十一月ヨリ四年三月ニ至ル間ニ於テ實際雇入レサル人夫賃又ハ購入セサル物品代價ヲ附加請求セシメ擅ニ施行シタル工事ニ要セシ材料代又ハ旅費等ニ充當シタル總額四百參拾四圓九拾五錢ノ内ニシテ九拾圓八拾五錢ハ二年度ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ當事者ニ對シテハ相當處分ヲ了セリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

文部省所管

隨意契約ニ依リ高價ノ物件ヲ購入シタルモノ一件(一七)

經費ノ所屬年度ヲ混同シ且ツ高價ノ物件ヲ購入シタルモノ一件(一八)

物件購入數量ノ當否ヲ確認スルコト能ハサルモノ四件(一九)(二〇)

一四、六九〇、三九五
一〇、五九〇、〇〇〇
九、六四四、七〇五

其他不當ナルモノ二件(一六)

合計八件

六、二一八、一五〇
四、一四三、二五〇

第五款 傳染病研究所(元内務省所管) 第二項 事務費

【報告】 (一六) 本項ニ於テ傳染病研究所ノ支出ニ係ル

第三項事業費ニ於テ同所ノ支出ニ係ル

八四〇〇〇
六、一三四、一五〇

ハ大正三年四月ヨリ四年一月ニ至ル間ニ於テ購入シタル石炭七十二萬九千斤「コークス」四萬斤、松薪九萬七千五百本及同二百束ノ代價ナリ然ルニ四年二月之カ實地ヲ検査スルニ明治四十五年大正元年度以來三年十一月マテ其價格石炭ハ一萬斤五拾八圓ヲ以テ塚田某外三名ニ「コークス」ハ百斤八拾貳錢ヲ以テ塚田某ニ松薪ハ百本壹圓六拾五錢乃至壹圓七拾五錢ヲ以テ塚田某外一名ニ之カ納入ヲ命シ十二月以後ハ石炭ノ價格ヲ一萬斤五拾五圓ト爲シ池田某外二名ヲ加ヘタリト雖モ「コークス」松薪ハ從來ノ通り同一商人ヨリ同一價格ヲ以テ納入セシメアリ購入ノ方法當ヲ得サルモノト認メ之カ事山ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ價格ノ調査ヲ爲サ、リシハ市價ニ變動ナキモノト認メタルニ因ルト謂フニアリ然レトモ本件物品ノ如キハ時々市價ノ變動アルヘキモノナルヲ以テ之カ調査ヲ爲スヘキハ當然ナルニ明治四十五年大正元年度以來一回モ其調査ヲ爲サズ指定納入以外ヨリ曾テ見積書ヲ徵セス且ツ石炭等ニ對シ種類及品質ニ就テハ何等之ヲ指定シタルコトナキカ如キハ購入方法其當ヲ得タルモノニアラス殊ニ物品ノ納入ニ關シ前記塚田某ハ元雇金森某ト共謀シテ二年十二月ヨリ三年五月ニ至ル間ニ於テ村田某ノ納入セル石炭「コークス」松薪ヲ自己ノ名義ト爲シ九百參拾壹圓七錢ノ仕拂ヲ受ケタルモ内四百六拾四圓六拾七錢五厘ハ實際納入セサルニ拘ラス納入シタルカ如ク裝ヒ之ヲ騙取シタルノ事實アリ要スルニ本件ハ物件購入ノ方法宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

大正三年度 文部省 (一六)

第三項 事業費

【報告】 (一七) 傳染病研究所ノ支出ニ係ル

ハ血清豫防液類及痘苗ノ包装用壘入木筒並ニ配送材料等ノ代價ニシテ東京市齋藤某外六名ヨリ大正三年四月ヨリ四年二月ニ至ル間ニ於テ隨意契約ヲ以テ購入シタルモノナリ右ハ大正二年度検査報告ニ詳悉セシ如ク孰モ其所要數量ヲ豫定シ得ヘキモノナルヲ以テ競争入札ニ付スヘキモノナルノミナラス本件購入單價ハ爾後競争入札ニ依リ購入シタル同種ノ單價ニ比シ著シク高價ニ當レリ依テ本件ハ隨意契約ニ依リ高價ノ物件ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス〔大正二年度(一〇八三四參書)〕

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【報告】 (一八) 傳染病研究所ノ支出ニ係ル

ハ事業上ニ要スル馬匹九十四頭ノ代價ニシテ大正三年四月ヨリ四年二月ニ至ル間ニ於テ八頭乃至十頭宛十一回ニ購入シタルモノトシテ證明シタルモノナルモ大正二年度検査報告ニ詳悉セシ如ク實際飼養者ノ所持セル記録等ニ徴スルトキハ七頭乃至十五頭宛八回ニ七十七頭ヲ受入レ前年度中購入ニ係ル十七頭代價貳千四拾圓ヲ本年度ニ於テ購入セルモノ、如ク裝ヒタルモノニシテ其證明ハ事實ニ反スルノミナラス之カ購入ニ關シテハ數年來盛岡市八幡某ヨリ隨意契約ヲ以テ供給セシメ其代價ハ著シク高價ニ當レリ要スルニ本件ハ經費ノ所屬年度ヲ混同シ且ツ高價ノ物件ヲ購入シタルモノニシテ不當ナリトス〔大正二年度(一一〇八四參書)〕

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【報告】 (一九) 本項ニ於テ傳染病研究所ノ支出ニ係ル

歳出臨時部第二十一款發疹室扶私研究費第一項發疹室扶私研究費ニ於テ同所ノ支出ニ係ル

【衆決】 不當

六、四一九 四四五
一、二〇四 一〇

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【報告】 (二〇) 本項ニ於テ傳染病研究所ノ支出ニ係ル

歳出臨時部第二十一款發疹室扶私研究費第一項發疹室扶私研究費ニ於テ同所ノ支出ニ係ル
ハ検査検査等ノ爲メ要スル兔「モルモット」鼠等總計八千八百九匹ノ代價ニシテ大正三年四月ヨリ十月ニ至ル間ニ於テ東京市藤本某外四名ヨリ購入シタルモノトシテ證明シタルモノナルモ大正二年度検査報告ニ詳悉セシ如ク其購入ニ關スル傳票ニ對シ當初ノ請求數ニ數倍スル改竄ヲ加ヘ或ハ物件消費後ニ之カ書類ヲ作成シタルモノアル等其購入ノ正否ヲ確認スルコト能ハス現ニ本件ニ關シテハ元履金森某ニ於テ藤本某外三名ト共謀シ虚偽ノ書類ヲ作成シ代金ヲ騙取シタルノ事實アリ要スルニ本件ハ購入數量ノ當否ヲ確認スルコト能ハサルモノニシテ不當ナリトス〔大正二年度(一四八五參書)〕

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【衆決】 不當

農商務省所管

事業上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ來シタルモノ二件(一一)
虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(一二)(一三)
合計四件

大正三年度 文部省 (一〇)

五、二〇八 四六〇
一、三二八 二八五
六、五三六 七四五

歳出經常部

第三款 森林費 第六項 事業費

【報告】 (111) 本項ニ於テ青森大林區署ノ支出ニ係ル

歳出臨時部第四款國有林野經營費第二項事業費ニ於テ同署ノ支出ニ係ル

ハ佃臺及白石兩小林區署部内ニ於テ本年度内ニ施行シタル國有林新植並ニ手入事業ニ要セシ苗木代及人夫賃等ノ經費ニシテ外ニ官苗若干ヲ使用セリ右ハ大正二年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク事業擔當員タル森林主事猪苗代某外十一名カ實行ニ當リ使役人夫ノ監督ヲ怠リタル爲メ其植附粗雜ニ失シ又苗木ノ選定運搬假植等ニ關シ事業上相當ノ注意ヲ缺キ遂ニ少カラサル枯損ヲ來セルノミナラス不必要ナル手入事業ヲ遂行シタル等ノ爲メ前掲金額ノ内經常部ニ於テ貳千貳百七拾五圓參拾六錢餘臨時部ニ於テ四百九拾圓八拾貳錢餘ノ損失ヲ來シ是等枯損ニ對シテハ更ニ植栽ヲ行ハサルヘカラサルニ至レルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス〔大正二年度(三〇)九七頁參看〕

【辨明】 會計檢査院檢査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】 (111) 青森大林區署ノ支出ニ係ル

ハ宮城縣宮城郡根白石村杭城外八國有林ニ於テ使役シタル造林人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實同署管内仙臺小林區署在勤森林主事猪苗代某カ仙臺小林區署長現金前渡官吏福田某外一名ヨリ便宜上傭役人夫賃仕拂ノ爲メ豫メ現金ヲ受取リ置キ之カ實行ニ際シ表面直營ニテ人夫ヲ使役セルカ如ク裝ヒ豫定額以内ヲ以テ地元部落民總代ニ請負ハシメ且ツ施行スヘキ手入刈拂事業ヲ爲サス其正當債權額ハ九百八拾四圓九拾壹錢ナルニ豫テ各人夫ニ捺印セシメ置キタル人夫賃請求書及領收書用紙ヲ使用シ又ハ虛無ノ人名ヲ用ヒ大正二年七月ヨリ三年七月ニ至ル間ニ於テ千七百六拾五圓五錢ニ相當スル證書ヲ偽造行使シ差額七百八拾圓拾四錢ヲ橫領シタルモノニシテ七百八圓拾錢ハ二年度ニ屬スルモノナリ依テ本件ハ不當ナ

【辨明】 會計檢査院檢査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出臨時部

第四款 國有林野經營費 第二項 事業費

【報告】 (111) 大阪大林區署ノ支出ニ係ル

ハ三重縣員辨郡十社村字西裏山外三十一國有林ニ於テ大正三年七、八兩月中使役シタル手入事業人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實同署管内龜山小林區署在勤森林主事織田某カ二、三兩年度中單獨又ハ雇伊藤某ト共謀シ龜山小林區署長現金前渡官吏藤村某及上田某ヨリ便宜上傭役人夫賃仕拂ノ爲メ豫メ現金ヲ受取リ置キ之カ實行ニ際シ百九拾九圓六拾錢壹厘ハ防火線ノ修繕人夫監督ノ報酬等擅ニ豫定外ノ費用ニ充當シ五百拾參圓ハ人夫傭役簿其他關係書類ヲ偽造シ之ヲ橫領シタルモノニシテ内四百四拾壹圓貳拾六錢六厘ハ二年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計檢査院檢査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

遞信省所管

虛構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(二四)
工事施行上ノ注意ヲ缺キ且ツ設計變更ニ屬スル工費高價ニ失スルモノ一件(二五)
合計三件

歳出經常部

第二款 遞信費 第五項 遞信事業費

大正三年度 農商務省 (111)

七八^四七五〇
二八、八九七〇〇〇
二八、九七五七五〇

一〇五六^四九五〇

二七^四一三三五

【報告】

(二四) 本項ニ於テ北海道逓信局ノ支出ニ係ル

四二〇〇

歳出臨時部第二款電信電話營業費第一項電信電話營業費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

七四五五〇

ハ根室電信電話建築技術官駐在所ニ於ケル人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實通信工夫渡邊某カ電信電話線路保守及琵琶瀨國境間電信線路改築工事ニ從事中大正三年八月ヨリ十二月ニ至ル間ニ於テ實際使役セサル人夫延人員七十五人ヲ使役シタルモノ、如ク裝ヒ前記賃金ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ當事者ハ刑法上ノ處分ヲ受ケ監督ノ任ニ在リタル者ニ對シテハ篤ト被告ヲ加ヘ又過誤拂金ハ全部還納セシメタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出臨時部

第五款 電話交換擴張費 第一項 電話交換擴張費

【報告】

(二五) 逓信省ノ支出ニ係ル

二八、八九七、〇〇〇

ハ大阪中央電話局北分局新築工事費六萬九千九百九拾四圓參拾六錢ノ内ニシテ四萬七百九拾七圓參拾六錢ハ大正四年度ニ屬スルモノナリ右工事ハ三年九月中指名入札ノ結果工費六萬六千七百圓ヲ以テ合名會社安藤組ノ請負ニ付シタルモノニシテ本館基礎工事中根伐ニ關スル當初設計ニ依レハ上幅十尺底幅六尺深九尺ナリシニ本局ニ設備セラルヘキ「マンホール」ノ地形ハ之ニ比シ著シク深キニ由リ局舎地形モ之ニ準シ増加スルノ必要ヲ生シ著手後設計ヲ變更シ上幅十四尺底幅七尺深十二尺トシ之カ爲メ當初請負金額中之ニ該當スル部分貳千五百貳拾參圓餘ヲ五千五百參拾圓餘トシ差引參千六圓八拾四錢ヲ増加セリ然ルニ右増加費用中重要ナル部分ニ屬スル土工人夫ノ如キハ當初設計ニ依レハ五百七十人此金額四百五拾六圓ナリシヲ千九百人此金額千五百貳拾圓トシ假設物費用ノ如キ百參拾八圓ナリシヲ六百參圓トシタルモノニシテ之カ計算ノ基礎タル調査ニ依ルトキハ根伐土工人夫ノ如キハ當初坪當リ三人二分掛リ貳圓五拾六錢ナリシヲ七人四分掛リ五圓九拾貳錢ニ變更シ又假設物中土留杭及堰板等損料ノ如キ一間ニ付參拾錢ナリシヲ參圓五拾壹錢ニ變更セリ而シテ根伐ノ變更ハ湧水面下深三尺ノ増加ニ過キササルニ全土量ニ對シ坪當リ歩掛リ二倍以上ヲ要スルモノト爲シタルカ如キハ著シク高價ニ失スルモノト認メサルヲ得ス又「マンホール」ノ深ハ局舎建築著手前ニ於テ知了シ得ラルヘキヲ以テ當初ヨリ之ニ適應スヘキ基礎工事ノ設計ニ依リ請負ニ付スヘキニ著手後ニ至リ之カ變更ヲ爲スニ至リタルカ如キハ工事施行ノ順序ヲ誤リタルモノト謂ハサルヘカラス要スルニ本件ハ工事施行上相當ノ注意ヲ缺キ且ツ設計變更ニ屬スル工費著シク高價ニ失スルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

大阪中央電話局北分局新築工事中本館基礎工事ノ根伐ニ關スル設計變更ニ伴ヒ其ノ増費ノ多額ニ上リシ所以ハ該根伐ハ當初ノ設計ニ於テハ其ノ上幅十尺底幅六尺深九尺ニシテ湧水面下僅カニ二尺ニ過キサリシニ變更ノ設計ニ於テハ上幅十四尺底幅七尺深十二尺ニシテ湧水面下五尺トナリシカ爲メ其ノ水中ニ於ケル土砂ノ探掘及之カ搬出トモ多ク勞力ヲ増加スルニ至リシノミナラス之カ作業上ニ要スル假設物中堰板ノ如キモ當初ノ設計ニ於テハ湧水面ヲ出ツルコト一尺總長サ三尺ノ六分板ニテ事足リシニ變更ノ設計ニ於テハ總長サ十二尺厚サ八分ノ板割ヲ要スルニ至リシ等到底前設計ノ比ヲ以テ律スヘカラサルニ由ルモノニシテ實際已ムヲ得サル次第ナリトス

又右根伐ニ關スル設計ノ變更ヲ要スルニ至リシ所以ハ元來「マンホール」工事ハ電話加入者數市外線數等詳査確定ノ後其ノ計畫決定スルモノナルカ本件ノ場合ニ於テ本局舎新築工事ヲ請負ニ付セムトセシ際ハ未タ其ノ調査決定セサリシモ一面之ヲ收容スヘキ局舎工事ハ當該年度ノ事業上急施ヲ要スルヲ以テ之カ設計當時ニ於テ判明セル電話擴張計畫ヲ標準トシ大體ノ「マンホール」工事ヲ豫定シ之ニ基キ直ニ局舎工事ノ設計ヲ立テ之ヲ請負ニ付スルコト、セシニ爾後「マンホール」工事ノ調査決定ノ結果其ノ深サノ點ニ於テ局舎基礎工事ノ設計ニテハ完全ナラサルニ至リタルヲ以テ已ムナク局舎基礎工事ノ方ノ設計ニ變更ヲ加フルニ至リシモノニシテ工事施行上注意ヲ缺キタルモノニアラス

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

特別會計

內務省所管

歳出

豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ二件(二六) 一一一、四五〇〇〇
 虚構ノ事實ニ對シテ支出ヲ爲シタルモノ一件(二七) 三五六四〇〇
 工事ノ施設宜シキヲ得ス豫定ノ目的ヲ達セザリシモノ二件(二八) 一三五、二七九、四二〇
 繼續年度終了後ニ於テ經費ヲ支出シタルモノ一件(二九) 二六、五九七、八二一
 合計六件 二八四、六八三、六四一

歳出經常部

第二款 總督府 第三項 雜給及雜費

【報告】(二六) 本項ニ於テ朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

第五款地方廳第三項雜給及雜費ニ於テ黃海道外十道ノ支出ニ係ル

ハ朝鮮總督府及地方廳判任官以上八十四名ニ對シテ退官休職死亡等ノ際給與セル慰勞金ナリ然ルニ本項豫算中ニハ判任官以上ノ慰勞金ハ見積ナキヲ以テ若シ右等ノ官吏ニ對シテ賞與ヲ行フノ必要アリトセハ各俸給ノ屬スル豫算ノ範圍内ニ於テ之カ支給ヲ爲スヲ相當トス依テ本件ハ本項豫算ノ目的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辯明】 本件ハ退官休職死亡者ニ對スル在職中ノ勲慰勞金トシテ給與シタルモノニシテ俸給豫算ニ於テモ之等ニ對スル慰勞金ハ見積ナキヲ以テ雜給及雜費ノ項ヨリ支出スルモ會計法第十二條違背ニアラスト認メ施行シタルモノナリ

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

(參照) ○會計法第十二條第一項(一四一頁參看)

第十一款 遞信費 第三項 海軍費

【報告】(二七) 朝鮮總督府遞信局ノ支出ニ係ル

三五六、四〇〇

【辯明】

ハ神戸市大松某ヨリ購入シタル保護亞鉛板九十枚ノ代價トシテ證明シタルモノナルモ其實朝鮮總督府所屬汽船光濟丸事務長同府遞信書記北村某カ前記物品ヲ購入セシモノ、如ク裝ヒ大松某ヲシテ虚偽ノ請求書ヲ提出セシメ之カ代金ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シテ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

會計検査院検査報告ノ通

但シ本件責任者ニ對シテハ發覺ノ當時直ニ告發ヲ爲シ目下函館地方裁判所ニ於テ審理中ニ屬スルモ同人ハ他ノ刑事裁判確定ノ結果大正五年六月二十三日失官シ之カ直接監督者タル光濟丸船長ニ對シテハ微戒處分ヲ了セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出臨時部

第八款 土木費 第二項 海關工事費

【報告】

(二八) 本項ニ於テ朝鮮總督府ノ支出ニ係ル

第四項鎮南浦港陸上設備及濬筋埋築費ニ於テ同府ノ支出ニ係ル 一一一〇、三〇五、三五〇

一一四、九七四、〇七〇

ハ同港海關工事陸上設備及濬筋埋築ニ關スル本年度決算額ナリ抑、本工事ハ元韓國政府ニ於テ光武十年度(明治三十九年度)以降八箇年度繼續費豫算百拾四萬餘圓ヲ以テ施行スルノ計畫ナリシヲ明治四十三年韓國併合ノ結果之ヲ承繼スルト共ニ新タニ揚陸場ノ設備ヲ加ヘ四十四年度以降四箇年度繼續費豫算八拾參萬五千圓トシ之ニ對シ本年度マテニ八拾壹萬貳千四百五拾七圓參拾貳錢ヲ支出シ本年度ニ於テ別ニ鎮南浦港陸上設備及濬筋埋築費豫算拾貳萬圓ヲ要求シ前記金額ヲ支出シタルモノニシテ韓國政府及四十三年度支出額四拾七萬八千七百拾壹圓五拾五錢七厘ヲ併算スルトキハ百四拾萬六千四百四拾貳圓九拾四錢七厘ヲ要シタルノ計算ナリ而シテ當初ノ計畫ハ本港ニ於ケル潮位干満ノ差著シキニ鑑ミ單欄門式船渠トシ渠内水深二十八尺ヲ維持スルノ豫定ニシテ爾來其計畫ヲ踏襲シ工事ヲ進捗シタリシカ四十五年六月ニ至リ開船渠ノ計畫ヲ開船渠ニ變更セリ其理由トスル所ハ開船渠ハ更ニ第二期工事トシテ渠内ヲ擴張シ陸上設備ヲ増加スル等之カ完成ヲ期センニハ費額四百四拾餘萬圓ヲ要スヘク且ツ既定計畫ニ依ルトキハ航洋船舶一隻ヲ岸壁ニ繫留シ得ルニ過キス加之單欄門式ナル

大正三年度 朝鮮總督府 (二八)

ヲ以テ潮位ノ干満ヲ問ハス隨時船舶ヲ出入セシムルコト能ハス尙ホ開門設置ノ位置及其附近ハ地質調査ノ結果地盤ニ斷層アルヲ發見シ之カ爲メ工費五拾餘萬圓ヲ増額セサルヘカラス是ヲ以テ同港ノ現狀ト財政ノ關係トニ顧ミ此際開船渠トシ三千噸以下ノ航洋船舶ニ隻ヲ繫留セシムルニ適スル計畫ニ改ムルヲ現狀ニ照ラシ寧ロ有利ナリト爲スニアリ乃チ右計畫ノ變更ニ由リ岸壁延長百四十間ヲ築造シ渠内及河心ニ通スル部分ヲ干潮面下十八尺ニ浚渫シ護岸石垣埋築工事ヲ爲シ又漲瀉島東方ニ揚陸場等ノ工事ヲ施行シ道路工事ノ一部ヲ大正四年度ニ繰越シタルノ外本年度ニ於テ竣功ヲ告ケタルモノナリ然ルニ五年五月之カ實地ヲ検査スルニ大同江ノ游泥ハ常ニ渠内ニ流入堆積シ一定ノ水深ヲ維持スルコト能ハス船舶ノ入渠不可能ナルヲ以テ常備浚渫船ノ外釜山海關工事費ヲ以テ購入シタル「フリーリンド」式浚渫船江華丸ヲ廻航シテ之カ水深維持ノ方法ヲ採リ四年度中土量三萬四千餘坪ヲ浚渫シ工費參萬參千餘圓ヲ支出シタルモ游泥ハ絶エス流入シ更ニ五年度ニ於テ四萬九千餘圓ノ豫算ヲ以テ浚渫續行ノ計畫ヲ爲セル等毎年多額ノ維持費ヲ要スルノミナラス船舶入渠ノ數ヲ觀ルニ四年度ニ於ケル入港汽船三百四隻噸數三十三萬千餘噸ニ對シ僅ニ十一隻又五千九百餘噸ニ過キササルノ實況ナリ之ヲ要スルニ本工事ハ百數拾萬圓ヲ投シタルニ拘ラス所定ノ水深ヲ維持スルコト能ハス常時浚渫作業ノ爲メ多額ノ經費ヲ要シ船舶ノ入渠亦極メテ少ナク築港トシテ施設ノ目的ヲ達セサルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本築港工事ハ元韓國政府ニ於テ光武十年度(明治三十九年度)以降八箇年總經費百四拾餘萬圓ヲ以テ起工シ明治四十三年併合ノ結果之ヲ繼承シ新ニ揚陸場ノ設備ヲ加ヘ大正三年度ヲ以テ竣功ヲ告ケタルモノナリ當初ノ計劃ハ潮位干満ノ差甚シキニ鑑ミ(最大ノ差十八尺)開門式船渠ヲ計畫シ其ノ端緒トシテ單門式船渠ヲ築造シ後日財政ノ許ス範圍ニ於テ漸次完備セル船渠ヲ得ルノ豫定ナリシモ併合後諸般ノ調査ヲ進ムルニ從ヒ開門豫定地ノ附近ニ於ケル地盤ノ關係上其ノ工費ノ増額ヲ要スルモノアリ又渠内ノ擴張、陸上設備ノ増加ヲ要スル等ノ關係ヨリ更ニ五百餘萬圓ノ豫算ヲ追加スルニアラサレハ開門式船渠トシテ其ノ設備ヲ完全スル能ハサルヲ發見セリ然ルニ本港貿易ノ狀況ハ汽船ノ出入隻數二百餘隻貿易價格四百五十拾餘萬圓ニ過キス將來ニ於ケル相當ノ發達ヲ豫想スルモ尙前記ノ如キ多額ノ經費ヲ投シテ完全ナル設備ヲ爲スコトハ時機尙早ナルヲ認メタルノミナラス一方財政上ノ關係ニ於テモ俄ニ巨額ノ追加豫算ヲ容ササルノ事情アリ既定豫算ヲ以テ一段落ヲ告グルノ計畫ニ變更スルノ必要上開船渠ヲ築造シタルモノナリ今本工事竣功後ニ於ケル貿易狀況ヲ觀ルニ大正四年度ニ於ケル汽船ノ出入隻數貳百餘隻貿易總額七百五十拾參萬餘圓大正五年度ニ於テ貿易額著シク増加セリト雖尙漸ク壹千萬圓ヲ超ユルニ過キササルノ現況ニシ

テ之ヲ仁川釜山等ノ貿易ニ對比スルモ本港ニ對スル施設トシテハ現在程度ノ設備ヲ以テ寧ロ相當ナリトスヘク其ノ貿易カ將來多大ノ發展ヲ來スノ時機ニ至リテ更ニ相當ノ經費ヲ投シテ之カ擴張改善ヲ計ルヲ以テ至當ノ順序ナリト謂ハサルヘカラス而シテ本築港工事竣功ノ當時ニ於テ一面ニ於テハ水深維持ノ爲ニスル浚渫作業ノ充分ナラサリシト他ノ一面ニ於テハ海員ノ熟練ヲ缺キシ等ノ關係ヨリ充分ノ利用ヲ見ル能ハサリシハ甚ダ遺憾トスル所ナルモ浚渫船江華丸ヲ常置スルニ至リ豫定ノ水深ハ完全ニ維持スルヲ得且海員モ漸次船渠ノ出入ニ習熟シ大正四年度中ノ入渠汽船十一隻ニ過キサリシモノ大正五年度ニ於テハ六月ヨリ十一月ニ至ル半歲ノ間二十四隻ノ入渠ヲ見十二月尙數隻ノ入渠ヲ見ルヘク本港貿易品中ノ主要ナル米大豆等ハ主トシテ渠内ニ於テ積卸セラルルノ現況ニシテ築港トシテ十分ニ利用セラレツアルモノトス且其ノ結果荷役ノ費用ト時間ニ著シキ節約ヲ見一般貿易業者ノ蒙ル利便鮮少ニアラス之ヲ要スルニ本築港ノ利用ハ當初ニ於テハ多少ノ遺憾アリシト雖年所ヲ經ルニ從ヒ漸次其ノ利用ヲ増進シ所期ノ目的ヲ達スルニ大ナル遠算ナキヲ信ス又本築港ノ維持費ハ年額四五萬圓ヲ要シ比較的多額ニ上ルモ元是大同江流水ノ包有スル泥土ノ沈澱ニ依リ船渠内ノ埋没甚大ナルニ原因スルモノナルヲ以テ前掲ノ理由ニ依リ開船渠ノ計畫ニ變更シタル結果當然生スヘキ負擔ニシテ本築港カ相當ノ利用ヲ見當初ノ目的ニ支吾セサル以上決シテ過大ノ經費ニアラスト認ム

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第九款 鐵道建設及改良費 第二項 改良費

【報告】

(二一九) 朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル

二二六、五九七、八一

ハ會計法第二十二條ニ依リ大正四十五年度ヨリ大正二年度へ豫算ノ繰越ヲ爲シタル貳拾六萬九千八百六圓五拾七錢八厘ノ内同年度支出殘額ハ更ニ本年度ニ繰越使用シタル額ニ相當スルモノナリ然ルニ本費豫算ハ漢江橋梁改築及順安漁波間新安州嶺美間馬山線ノ一部施工基面上昇其他之ニ伴フ橋梁増築等ヲ目的トシ其繼續年限ハ大正四十五年度マテニシテ工事モ亦大正二年度ニ於テ完成シタルモノナルヲ以テ更ニ之ヲ本年度ニ繰越シ他ノ費途ニ充當スヘキモノニアラスト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本件繼續費ハ鐵道建設及改良費タル款ニ於テ議會ノ協贊ヲ經タルモノニシテ之ヲ款項ニ區分セルハ普通ノ場合ト同シク流用ヲ禁スルノ趣旨ニ外ナラス故ニ款ノ繼續年限中ハ縱ヒ其一部分終了シタルモノアリトスルモ之カ爲メ繼續費タル性質ヲ失フコトナク全部竣功マテハ當然繰越シ得ヘク隨テ同一項目ノ豫算流用ハ差支

大正三年度 朝鮮總督府 (二一九)

ナシト認メタルト尙ホ豫算目的内ニ於ケル用地買収代ニシテ紛議ノ爲メ仕拂未済ノモノアリタルトニ由ルト謂フニアリ然レトモ豫算ヲ款項ニ區分シテ議會ノ協賛ヲ經タル以上ハ其繼續年限モ亦各項毎ニ定メタルモノト謂ハサルヘカラス隨テ本件改良費ハ明治四十五年年度限ノ繼續費トシテ成立セルモノナルヲ以テ爾後ノ繰越ニ關シテハ會計法第二十一條ニ依リ避クヘカラス事故アル場合ニ於テ之ヲ翌年度限繰越シ得ヘキモ同法第二十二條ニ依リ二箇年度間ニ涉リ繰越ヲ爲スヘキモノニアラス殊ニ本費豫算ニ對スル各工事ハ既ニ前年度マテニ竣成セシモノナルヲ以テ其豫算殘額ハ當然不用額ト爲スヘキモノナルニ拘ラス之ヲ繰越シ本年度新タニ成立シタル他ノ改良工事費豫算ニ併算使用スルカ如キハ豫算ノ目的ヲ無視シタルモノト謂ハサルヘカラス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

本件改良費ハ鐵道建設及改良費タル繼續費トシテ議會ノ協賛ヲ經タルモノニシテ縱令追加改訂アル場合ト雖一團ノ繼續費タル性質ヲ失フモノニアラサルヲ以テ會計法第二十二條ニ依リ繼續費最終年限迄ハ遞次繰越使用シ得ルモノナルニ依リ不當ニアラス

【貴決】 措置穩當ヲ關ク

【衆決】 不當

(參照) ○會計法(明治二十二年二月十一日法律第四號)

第二十一條 豫算ニ於テ特ニ明許シタルモノ及一年度内ニ終ルヘキ工事又ハ製造ニシテ避クヘカラス事故ノ爲ニ事業ヲ遲延シ年度内ニ其ノ經費ノ支出ヲ終ラサリシモノハ之ヲ翌年度ニ繰越シ使用スルコトヲ得

第二十二條 數年ヲ期シテ竣功スヘキ工事製造及其ノ他ノ事業ニシテ繼續費トシテ總額ヲ定メタルモノハ毎年度ノ仕拂殘額ヲ竣功年度マテ遞次繰越使用スルコトヲ得

臺灣總督府

歳出

請負料ノ仕拂ニ代ヘ官ニ納付セシムヘキ物件ヲ交付シタルモノ一件(三〇〇)

三〇〇、九五六一六〇

豫算ノ剩餘アルニ乘シ年度内不用ノ物件ヲ多量ニ購入シタルモノ二件(三二一)

三三二、二七六一七〇

合計三件

六四二、三三三三三〇

歳出經常部

第十八款 專賣局 第七項 專賣品補償及購買費

【報告】

(三〇〇) 臺灣總督府專賣局ノ支出ニ係ル

三〇〇、九五六一六〇

ハ神戸市合名會社鈴木商店ニ請負ハシメタル樟腦油再製ニ由リ大正二年度中生シタル樟腦五萬五千三百七十九斤ヲ本年度ニ於テ買上ケタル代價ナリ而シテ本件請負契約ニ依レハ再製上生シタル樟腦ノ内原料百斤ニ對シ四十七斤ノ義務納付ヲ命シ其數量以外ニ生シタル部分ハ別ニ大藏省ノ定メタル價格ニ依リ之ヲ買上ケルコト、シ副産物タル白油赤油等ハ請負人ニ交付スルト同時ニ再製請負料ノ仕拂ヲ爲サ、ルコト、爲シタルモノナリ右ハ明治四十五年年度檢査報告ニ詳悉セシ如ク再製上生シタル産物ハ總テ之ヲ官ニ納付セシムヘキハ當然ニシテ請負料ノ仕拂ニ代ヘ其産物ノ幾分ヲ請負人ニ交付シ別ニ樟腦ノ買上ヲ爲スカ如キハ歲入歳出ヲ混同スルモノト謂ハサルヲ得ス今本年度ニ於ケル再製請負ノ實績ヲ以テ官營工場ノ實績ニ比較スルニ官營ニ於テハ原料百斤當リ樟腦四十八斤餘之ヲ請負人ノ製品々質ニ換算スレハ五十三斤餘ト爲リ其他赤油二十五斤餘白油十八斤餘ヲ得タルニ拘ラス請負人ノ生産ハ樟腦四十九斤餘赤油十九斤餘白油十六斤餘ニ止マリ又請負人ニ交付シタル樟腦及赤白油等ノ價格拾貳萬貳千餘圓ニ上レルヲ以テ樟腦油再製料ハ原料百斤當リ五圓九拾八錢餘ト爲リ官營工場ノ生産費貳圓八拾參錢ニ比シ參圓拾五錢餘ノ差違ヲ示シ本年度原料交付高二百五萬千餘斤ニ對シ其差額六萬四千七百餘圓ノ多キニ上リ且ツ官營ニ依リ得ラルヘキ利益ハ腦油百斤當リ參拾壹圓七拾參錢餘ニシテ請負ニ付シタルモノハ同百斤當リ貳拾參圓參錢餘ナルヲ以テ八圓六拾九錢餘ノ差違ヲ生シ本年度腦油交付高ニ對シ拾七萬八千餘圓ノ差違ヲ示スノ計算ナリ要スルニ本件ハ請負料ノ仕拂ニ代ヘ官ニ納付セシムヘキ物件ヲ交付シタルモノニシテ不當ナリトス(明治四十五年年度(五二五二頁參看))

【辨明】

本件歳入歳出ヲ混同スト云フハ單ニ解釋ノ如何ニ依ルモノニシテ明治四十五年年度及大正二年度決算ニ於テ詳細辨明セル如ク敢テ不當ト認メサルモ連年議會ノ問題トナヌハ本意ニアラサルヲ以テ既ニ大正五年度ヨリ其ノ方法ヲ改メタリ(大正二年度(三九)一〇四頁參看)

【貴決】 措置穩當ヲ關ク

【衆決】 不當

第二十款 電氣作業費

第六項 事業費

大正三年度 臺灣總督府 (三〇〇)

【報告】 (三二) 本項ニ於テ臺灣總督府土木局ノ支出ニ係ル

一五八

一二五、二五六、一七〇

ハ木綿二度打銅線六種二十一萬五千九百尺硬引裸銅線二種五千三百貫及護謄線被鉛線碍子ノ代價ニシテ大正四年三月藤倉電線株式會社代理三井物産株式會社臺北支店及古河合名會社代理臺北賀田某ヨリ購入シ

第七項補充費ニ於テ同局ノ支出ニ係ル

八、〇二〇、〇〇〇

ハ木綿二度打銅線五種六十五萬尺ノ代價ニシテ大正四年三月古河合名會社代理臺北賀田某ヨリ購入シタルモノナリ然ルニ之カ實地ヲ検査スルニ所要工事ノ遂行ニ十分ナル貯藏品ヲ有スルヲ以テ特ニ年度末ニ於テ急速購入ノ要ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ電氣事業ハ年々一割乃至二割ノ率ヲ以テ順調ニ發達シ事業ノ範圍年ト共ニ擴大シ多種多様ノ需要ニ應セントスルニハ之ニ相當スル準備ナカル可ラス又一定ノ豫算ヲ以テ材料ノ全部ヲ内地ニ仰クハキ當地ニアリテハ調節宜シキヲ得ルコト困難ナルカ故ニ需要關係ヲ先ニ維持關係ヲ後ニスルノ方法ヲ採リ其調節ニ注意ヲ懈ラサリシモ實行之ニ伴ハス遂ニ繰越スニ至リシモノニシテ全ク豫期ニ反スルモノナリト謂フニアリ然レトモ事業費及補充費所屬ヲ併セ本件購入物品受拂ノ狀況ヲ觀ルニ裸銅線B³、⁴ハ本件購入前二千五百十貫ヲ購入シタルヲ以テ年度内使用高五百二十五貫餘ヲ差引クモ尙ホ千九百八十四貫餘ヲ剩スノ計算ナルニ更ニ四千四百貫ノ購入ヲ爲シタルカ爲メ其他ノ受入ヲ併セ結局六千六百七十八貫餘ヲ翌年度ヘ持越シ又木綿二度打銅線B³、⁴ハ本件購入前九十五萬二千五百尺ヲ購入シ年度内使用高九十一萬八百餘尺ヲ差引クモ尙ホ四萬千六百餘尺ヲ剩スノ計算ナルニ二十萬尺ヲ購入シタルカ爲メ其他ノ受入ヲ併セ結局七十五萬四千餘尺ヲ翌年度ニ持越スニ至リシモノニシテ其他各種ノ殘品モ總テ同様ノ狀態ニアリ而シテ本件物品ノ受入ハ孰モ三月下旬ナルニ徴シ年度内所要ノ工事ニ充當スルヲ目的トシタルモノト認ムルヲ得ス要スルニ本件ハ豫算ノ剩餘アルニ乘シ年度内不用ノ物品ヲ多量ニ購入シタルモノニシテ不當ナリトス

【貴決】 措置適當ヲ認ク 【衆決】 承認

樺太廳

歳出

豫算ノ目的ニ違背シ且ツ高價ヲ以テ物件ヲ購入シタルモノ一件(三二)

一八六、二〇〇、〇〇〇

歳出臨時部

第一款 事業費 第三項 拓殖費

【報告】 (三三) 樺太廳ノ支出ニ係ル

一八六、二〇〇、〇〇〇

ハ東京市白井某ヨリ同人カ樺太ニ於テ製造セル酒精(純酒精容量八〇パーセント)千四百石ヲ同地ニ於テ買上ケタル代價ナリ右ハ大正二年度検査報告ニ詳悉セシ如ク酒精買上ニ關スル經費ハ本項豫算ニ包含セサルノミナラス其買上價格ハ内地市場價格ヲ參酌シタリト謂フト雖モ無稅地タル樺太ニ於テ買上ヲ爲スニ際シテハ少クトモ造石稅ニ相當スル金額即チ一石當リ約八拾圓ヲ控除シタルモノナラサルヘカラス要スルニ本件ハ豫算ノ目的ニ違背シ且ツ著シキ高價ヲ以テ物件ノ買上ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス(大正二年度(四二)一〇六頁參看)

【貴決】 不當(一八七頁參看)

【衆決】 不當

大藏省所管

帝國鐵道

歳入

所要外ニ多量ノ輸送ヲ爲サシメ且ツ運賃追徴ノ計算宜シキヲ得サルモノ一件(四〇)

四、二九四、六一〇

歳出

大正三年度 樺太廳 (三二)

一五九

大正三年度 帝國鐵道 (三三三)

移轉改築ノ名義ヲ以テ新營ヲ爲シ在來建物ヲ請負人ニ交付シ其計算明カナラサルモノ五件(三三三)設計上ノ注意ヲ缺キ工費ノ一部ヲ損失ニ歸セシメタルモノ一件(三四)豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件(三五)虛構ノ事實ニ對シテ支出ヲ爲シタルモノ四件(三六)(三九)(四二)(四三)物件製作代ノ部分拂ヲ爲スニ當リ超過ノ仕拂ヲ爲シタルモノ一件(三七)納品ノ檢收宜シキヲ得ス多數ノ不合格品アルニ對シテ代價ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノ一件(三八)數年ニ涉リ事實ノ調査ヲ爲サス貨物ノ引渡ヲ爲シ賠償ノ已ムヲ得サルニ至リシモノ一件(四一)合計十四件

資本勘定

歳出

第一款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】 (三三三) 本項ニ於テ鐵道院ノ支出ニ係ル

第二項改良費ニ於テ同院ノ支出ニ係ル 一七、四三八^四二三〇
ハ岩越線若松停車場本屋移轉改築其他工事費貳萬九千八百九拾貳圓五拾九錢ノ内ニシテ壹萬貳千九拾圓參拾六錢ハ大正四年度ニ屬シ外ニ價格千參百六拾圓貳拾壹錢ノ材料ヲ官給シ三年十一月出澤某ニ請負ハシメ四年六月竣功ヲ告ケタルモノナリ 二六四、〇〇〇

同項ニ於テ同院ノ支出ニ係ル 一九、五九五〇〇〇

ハ品川停車場本屋移轉改築其他工事費四萬五千貳百參拾圓八拾四錢ノ内ニシテ貳萬五千六百參拾五圓八拾四錢ハ大正四年度ニ屬シ外ニ價格壹萬參千百參拾九圓貳拾參錢六厘ノ材料ヲ官給シ三年十月鈴木某ニ請負ハシメ四年九月竣功ヲ告ケタルモノナリ 一六、〇六六^四〇九〇

同項ニ於テ同院ノ支出ニ係ル 四二、七二七^四九五〇

ハ品川停車場構内貨物積卸場移轉改築其他工事費參萬貳千貳百參圓八拾九錢ノ内ニシテ壹萬六千六百參拾七圓八拾錢ハ大正四年度ニ屬シ外ニ價格四千參百五拾參圓六拾八錢四厘ノ材料ヲ官給シ三年十月鈴木某ニ請負ハシメ四年十月竣功ヲ告ケタルモノナリ

同項ニ於テ同院ノ支出ニ係ル

右ハ孰モ在來建物ヲ利用シ移轉改築ヲ爲スノ名義ヲ以テ請負ハシメタルモノナリト雖モ前記各工事ニ就キ五年七月之カ實地ヲ檢査スルニ品川停車場ニ於ケル附屬物置、人力車小屋ノ一部ニ古瓦、同乘降場上家根ノ一部ニ古亞鉛引波形鐵板ヲ使用シタルノ外全部新築ニ係リ舊建物ハ一モ利用シタルノ跡ナク其儘之ヲ請負人ニ交付シタルモノナリト本件ト同様ノ事實ニ就キ大正二年度檢査報告ニ對シ當局者ノ辯明スル處ニ依レハ在來建物ノ用材中使用シ得ルモノハ相當加工ノ上使用セシムルヲ目的トシタルモ請負人ノ都合ニ由リ古材ヲ利用スルコト少ナク新材ヲ使用シテ竣功シタルモノニ係リ官ニ於テモ不利ナラサルヲ以テ之ヲ認容シタリト謂フト雖モ停車場建物ノ如キハ營業上一日モ缺クヘカラサルモノナルヲ以テ舊建物ノ材料ヲ利用シテ移轉改築ヲ爲サントセハ假設物ヲ設クル等適當ノ手段ヲ講スルニアラサレハ之ヲ行フコトヲ得ヌ而シテ前記兩停車場ハ孰モ其位置ヲ變更シ新規建設シタルモノニシテ其施工中依然在來ノ建物ニ於テ營業ヲ繼續シ竣功ト共ニ之ヲ其儘請負人ニ交付シ適宜處分セシメタルモノニシテ當初ヨリ移轉改築ノ目的ニアラサルコト明カナリ即チ本件ハ新築ニ際シ在來建物ノ拂下處分ヲ爲サス工費ノ一部ニ充當センカ爲メ之ヲ請負人ニ交付シタルモノニシテ決算上收支ヲ混同スルノミナラス交付シタル建物ノ評價ニ關シテハ何等之ヲ確認スヘキ書類ナキヲ以テ計算ノ當否ヲ知ルニ由ナキモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス(大正二年度(四八)一一二頁參看)

【審明】 本件工事ハ

岩越線若松停車場本屋移轉改築其他工事ハ本屋一棟、乗降場上家二棟、機關庫一棟、詰所、物置、便所等ノ附屬家十二棟及雜工事若干
 品川停車場本屋移轉改築其他工事ハ本家一棟、同附屬上家一棟、旅客跨線橋一連、計重家扱所、便所、物置等七棟及雜工事若干
 品川停車場構内乗降場上家移轉改築其他工事ハ乗降場上家三棟、乗降場内驛長派出所、同待合所等三箇所、便所三箇所及雜工事若干
 品川停車場構内貨物積卸場移轉改築其他工事ハ上家二棟、貨物取扱所一棟、貨物保管所一棟、便所、番小屋等三棟及雜工事若干
 ノ改築工事ニシテ在來建物ノ材料ハ必スシモ改造セラルヘキ同一建物ニ利用スルヲ目的トセス、數建物中工事ノ前後、建物ノ性質ニ從ヒ
 ハ「本工事現場著手ハ掛員ノ指揮ニ從ヒ停車場本屋ハ最初本屋指定ノ一部ヲ取毀テ適當ノ材料ニテ假圍ヲ爲シ新規本屋竣工ノ上前記ノ殘
 部ヲ取毀テ指定ノ附屬物ヘ夫々使用スヘシ」移轉改築ス可キ在來建物ハ屋根材ヨリ順次取下シ木部ニ毀損ヲ生セサル様叮嚀ニ取解キ釘、
 鐵物類ヲ拔取り檢査ヲ受ケ使用ニ堪ヘサルモノト認ムルモノハ一旦指揮ノ箇所ヘ積置キ再用ニ耐フル木材類ハ示方書並ニ圖面記入ノ寸法
 ニ倣ヒ見エ掛リノ分木造リ直シ古材其ノ儘使用ノ物ハ灰汁洗ノ上適宜ノ箇所ヘ再用スヘシ但シ前記建物不用ニ歸シタル物ハ總テ請負人ニ
 於テ適宜處分スヘシ但シ在來建物ニシテ其儘移轉シ得ヘキモノハ適當ノ方法ヲ以テ移轉シ圖面ノ如ク増築模樣替ヲ爲スヘシ」ト定メ右ノ
 方針ヲ明示セリ即チ政府ハ本件工事ニ付初メヨリ移轉改築ノ方針ヲ以テ請負ニ付シタルモ請負人ノ都合ニ依リ新規ノ材料ヲ使用シタルモ
 ノナリ而シテ舊材使用見積價格ハ若松停車場本屋移轉改築其他工事ニ在リテハ千六百九圓參錢貳厘、品川停車場本屋移轉改築其他工事ハ
 千六百八圓貳拾九錢、品川停車場構内乗降場上家移轉改築其他工事ハ四百拾四圓參拾參錢壹厘、品川停車場構内貨物積卸場移轉改築其他
 工事ハ四百參拾貳圓九拾錢ニシテ新築見積價格ヨリ之ヲ控除シテ改築見積價格トナシタルモノナリ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 不當

【報告】 (三四) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一四、四五九^円三一九

ハ應取工場貯水池改築並ニ之カ補設工事ニ要シタル費額壹萬八千五百九拾參圓四拾錢九厘ノ内ニシテ參千五百圓九拾九錢ハ
 大正二年度ニ千百貳拾八圓拾錢ハ四年度ニ屬シ外ニ價格參千四百六圓七拾貳錢ノ官給材料ヲ使用セリ抑、本工事ハ二年五
 月應取工場一部擴張其二土工其他工事ノ名稱ヲ用ヒ新見某ニ請負ハシメタル工事ノ一部ニ屬シ貯水池請負額ハ五千五百壹
 圓八錢ニ當レルモノナリ然ルニ工事著手後同年十月全部ノ施工ヲ中止セシメ爾後殆ント設計ノ全部ヲ變更シ三年二月契約

ヲ解除シ更ニ五月宮崎某ニ請負ハシメ貯水池ニ對スル竣功額ハ壹萬參千五百參拾圓參拾壹錢九厘ニ及ヒ外ニ前設計ニ於ケ
 ル解約マテノ竣功額參千五百圓九拾九錢ヲ併セ十二月ニ於テ一旦竣功ヲ告ケケタリ然ルニ其後僅ニ三箇月ヲ經テ該貯水池ノ一
 部ニ漏水ヲ來タシ之カ爲メ更ニ補設工事費貳千五百拾七圓拾錢ヲ支出シ結局總工費貳萬千六百四拾圓拾貳錢九厘ニ及ヒ當初
 豫定額ニ數倍セル工費ヲ以テ稍ク貯水池トシテ完成ヲ觀ルニ至リシモ設計變更又ハ漏水ノ爲メ既成工事費中損失ニ歸シタ
 ルモノ官給材料價格ヲ併セ貳千九百貳拾七圓五拾壹錢參厘ニ及ヘリ之ニ對スル當該官吏答辯ノ要旨ハ

當初請負ニ付シタル後設計全部ノ變更ヲ要スルニ至リシハ原設計ノ貯水池ハ主トシテ當時該工場ニ於テ擔當スヘキ修繕
 機關車輛數ヨリ打算シテ組立及旋盤工場ノ大サヲ定メ之ニ支障ヲ來サ、ル位置ニ築造スルコト、爲シタルモ大正二年五
 月制度ノ變更ニ伴ヒ同工場ノ修繕受持輛數ニ増加ヲ來シ尙ホ將來運輸ノ發展ニ伴ヒ該工場ノ擴張ヲ豫想シ相當ノ餘地ヲ
 存シ置ク必要アルト構内客車修繕工場ヲ貫通式ト爲シ車輛出入ニ便ナラシムルト同時ニ前段ト同シク將來擴張ノ餘地ヲ
 存スル爲メ鍛冶工場ノ位置ヲ移轉スルコトニ定メタル結果空地利用ノ關係上原設計ヲ變更スルヲ最善ノ處置ト認メタル
 ニ因ル又漏水ニ關シテハ本工事ハ地方灌漑用水トノ關係上梅雨期マテニ貯水ノ充實ヲ期シ其完成ヲ急キタルト竣功後幾
 ナラスシテ大正四年一月試驗貯水ノ際稀有ノ嚴寒ノ爲メ堤内「コンクリート」工ニ龜裂損傷ヲ蒙リ同年二月初メ頃ヨリ堤
 塘一部ニ漏水ヲ見ルニ至リシモノニシテ當時ノ事情已ムヲ得サリシモノナリ

ト謂フニアリ然レトモ本件工事ヲ請負ニ付シタルハ二年五月ニシテ工場受持輛數ヲ増加スヘキ制度ノ變更モ亦同時期ナル
 ヲ以テ縱ヒ本工事ノ設計ハ其以前決定セルモノナリト爲スモ此際須ラク其影響ヲ考慮シ工事著手前適宜設計ノ變更ヲ爲ス
 ヘキ筈ナルノミナラス舊設計ニ依リ貯水池位置ノ一部ニハ明治三十三年六月中元山陽鐵道株式會社カ武井某トノ間ニ將來
 同工場擴張ノ場合ニハ會社ニ於テ鐵道用地内ニ道路及兩側排水溝ヲ新設スヘキ契約アリ鐵道國有ノ際其契約ヲ承繼シ居タ
 ルニ心附カス其儘工事ニ著手シタルカ爲メ遂ニ前記武井某ヨリ契約履行ノ請求ヲ受ケ已ムナク其施工ヲ中止シ貯水池ノ形
 狀位置ヲ變更スルノ必要ヲ生シタルノ事實アルニ徴シ形狀位置ノ變更ハ必スシモ制度ノ變更ノミニ起因スルモノト認ムル

ヲ得ス更ニ漏水ノ事實ニ關シ五年二月ノカ實地ヲ検査スルニ「コンクリート」ノ龜裂損傷ハ堤内全部ニ互レルニ拘ラス漏水ノ箇所ハ堤塘中央ニ土金板粘土工ヲ施ササリシ部分ニ限ラレタルニ由リテ之ヲ觀ルニ當初其部分ニ對シ他ノ部分ト同シク土金板粘土工ヲ施スニ於テハ漏水ノ虞ナカリシモノト認メサルヲ得ス要スルニ本件ハ當局者カ設計上ノ注意ヲ缺キ多額ノ工費ヲ損失ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件鷹取工場貯水池改築並補設工事ハ大正元年十二月ノ設計ニ係リ二年五月新見某ニ請負ハシメタリ而シテ同年十月ニ至リ書類焼失ノ爲國有ノ際引繼ナカリシモ元山陽鐵道株式會社カ明治三十三年六月同所用地買收ニ際シ武井某トノ間ニ鐵道用地内ニ道路及排水溝ヲ新設スヘキ契約アリシコトヲ發見シタルト當初ノ設計ニ於テハ池底ニ「コンクリート」工ヲ施ササリシヲ以テ試驗ノ際貯水カ鄰地ニ滲出シタルトニ因リ相當設計變更ノ必要ヲ認メ直ニ工事中止ヲ命シタリ然ルニ同年五月制度變更ノ結果ハ該工場受持修繕車輛數ニ増加ヲ來シ客車修繕工場ヲ貫通式ト爲シ鍛冶工場ヲ移轉スルヲ便宜ト認メタルヲ以テ寧ろ此ノ機ニ於テ該貯水池ノ形狀位置ヲ變更スルヲ得策トシ三年二月一旦契約ヲ解除シ同年五月新設計ニ依リ宮崎某ト契約ヲ締結シタルモノナリ而シテ竣工後幾何モナクシテ貯水池ノ一部ニ漏水ヲ來シ之カ爲補設工事ヲ爲スニ至リタルハ在來溜池ノ堤塘及池底ヨリ得ル粘土不十分ナリシ爲強ヒテ堤塘ノ全部ニ土金板粘土ヲ施サントセハ附近ノ高價ナル土地ヲ買收シテ粘土ヲ採收セサルヘカラサリシヲ以テ南側堤塘ノ東半部ニハ土金板粘土工ヲ省略シテ粘土ニ富メル在來ノ堤塘ヲ移築シ尙裏面ニ「コンクリート」張ヲ施スコトトシ比較的低廉ナル工法ニ依リタリ然ルニ竣工後幾何ナラスシテ異常ノ寒氣ニ遭遇シタル爲メ「コンクリート」工ニ龜裂ヲ生シ遂ニ漏水ヲ見ルニ至リタルハ止ムヲ得サリシモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第二項 改良費

【報告】

(三五) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一八二、三九二、四九六

ハ東海道本線大津京都間線路變更工費ノ一部トシテ本年度中ニ仕拂ヒタルモノナリ抑々本件工事費ハ大正四年度繼續費追加豫算ニ積算要求シタルモノナルニ拘ラス本年度ニ於テ用地ノ一部ヲ買收スルト共ニ其工事ニ著手シ百四萬八千圓ヲ以テ其第一工區タル新逢坂山隧道其他工事ヲ請負ニ付シ前掲金額ヲ支出セルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ

本工費ハ東海道本線々路變更及増設トシテ曩ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タルモノ、一部ニ屬シ大正三年度改良費豫定額内課ニ明記セルカ如ク同年度ニ年割額ヲ有スルモノナリ而シテ四年度豫算ニ於テハ鐵道建設改良工事ノ七年計畫ヲ立ツルニ當リ工事名稱ニ大變更ヲ加ヘ本件工費豫算モ從來ノ包括的名稱ヲ避ケ之ヲ明記シタルニ過キス其同年度豫算要求ニ關シ帝國議會ヘ提出ノ參考書中本件費額四百六拾貳萬圓ト掲上セルハ三年度以前既ニ協贊濟ノモノヲ除キ四年度以降ノ分ヲ追加要求セシニ外ナラス

ト謂フニアリ然レトモ既定繼續費豫算ノ沿革ヲ尋ヌルニ明治四十年年度ニ於テ鐵道資本勘定豫定計算書ノ説明ニ依レハ改良費ハ一般會計ニ於テ整理シ來リタル東海道ノ複線、市街高架線、橫濱海陸連絡工事等ノ豫算ヲ特別會計ニ編入シタルノ外大阪熱田海陸連絡及橫濱、中央停車場ノ改良擴張其他鐵道國有法ニ依リ買收シタル各鐵道ノ改良工事ヲ遂行スル爲メ其工事ヲ限定シ次テ四十一年度豫定計算書中ニハ改良費豫算追加ニ關シ東海道線市街線元山陽日本、北海道岩瀨及北海道各會社線ノ線路擴張云々トアリ其内容ニ關シ當時帝國議會ニ提出セル參考書並ニ本院ニ送付セル内譯書ニ依レハ東海道線ノ擴張ニ屬スルモノハ新橋橫濱間二線増設百貳拾九萬餘圓橫濱程ヶ谷間一線増設貳拾四萬餘圓大船橫須賀間一線増設五拾七萬餘圓及神戸附近線路附替拾五萬圓ノ四廉ニ止マリ其用途既ニ明ナリ而シテ四十二年度ニ於テ要求セル改良費豫算豫定計算書ニ依レハ既定改良工事ニ對スル豫算ノ不足ニ充ツル爲メ云々トアリ本院ニ送付セル内譯書ニ徵スルニ東海道線ニ對シテハ既定改良工事ニ屬スルモノノ複線及市街線ノ爲メ百萬圓新橋程ヶ谷間二線大船橫須賀間一線増設ノ爲メ五百八拾五萬餘圓新橋ニ著手スヘキモノ品川埋立及新橋改良工費貳百五拾萬圓ヲ積算セルニ過キス又四十四年度ニ於テモ既定工事ニ對スル豫算不足ニ充ツルト東北線路改良、青森及下關ニ於ケル海陸連絡設備及車輛、船舶、器械場、電氣等ノ増備擴張ニ充ツヘキ諸費ヲ積算セルニ過キス而シテ明治四十五年元年度豫定計算書ニ於テ五十年度ニ於ケル既定年割額ノ内工場及停車場改良擴張ニ關スル經費百八拾五萬圓ヲ明治四十五年元年度ニ繰上ケ國府津沼津間線路變更準備及用地費大阪北方直通線及木津奈良間複線新設、龜戶越中島間線路新設用地費線路改良ニ關スル經費ノ追加並ニ四十四年度水害復舊ニ伴フ改良工事費參百八拾六萬餘圓ヲ

要求シ茲ニ始メテ改良費中東海道本線々路變更ニ要スル經費百參拾萬圓ヲ觀ルニ至リシト雖モ該費ハ豫定計算書ニ明記セ
ルカ如ク國府津沼津間ノ線路變更準備及用地費ニシテ其用途既ニ限定シ爾後大正三年度マテ追加豫算ヲ要求シタルモノナ
シ隨テ答辯ニ所謂大正三年度改良費豫算額内譯中東海道本線々路變更及ヒ増設トアルハ國府津沼津間線路變更準備及用地
費其他新橋橫濱間二線増設等ノ工事ヲ指稱セルモノニシテ當該年度ニ於テ概括的名稱ヲ以テ豫算ノ備考ニ内譯セシニ過キ
スシテ之カ爲メ大津京都間線路變更工費ハ既ニ帝國議會ノ協贊ヲ經タリト爲スコト能ハサルハ論ヲ俟タス然ルニ其豫算成
立前本年度ニ於テ東海道複線工事費ノ豫算殘額ヲ充當スルノ外早ク既ニ翌年度ノ豫算成立ヲ豫期シ用地ノ買收ト共ニ百四
萬八千圓ノ工事ヲ請負ニ付シ之ニ著手セシメタルカ如キハ豫算ヲ無視スルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ本項豫算ノ目
的外ニ屬シ會計法第十二條ニ違背シタルモノトス

【辯明】

東海道本線中京都大津間ノ勾配變更ハ多年ノ懸案ニ屬セリ第二十六議會ニ於テ協贊ヲ經タル明治四十三年度以降繼續費改良費中線路改良
參百五拾七萬貳千圓ハ幹線路ノ勾配變更軌道改良軌條交換等ノ費用トシテ要求セルモノニシテ本件京都大津間勾配變更ノ經費ヲ包含セル
モノナリ爾來財政上ノ都合ニ依リ事業繰延ノ已ムヲ得サルモノアリシト設計調査ニ時日ヲ要シタルトニ依リ直ニ工事ニ著手スルニ至ラサ
リシモ大正三年度ニ於テ其ノ必要ニ迫リ現在ノ設計ニ依リ之ヲ施工スルコトナシタリ然ルニ設計ノ結果ハ隧道ノ移築及新設、線路ノ變
更ヲ要シ線路改良ノ名稱ニ於テ整理スルヨリモ線路變更ノ名稱ノ下ニ整理スルヲ適當ト認メタルニ依リ大正三年度豫定經費要求書ニ於テ
ハ東海道本線線路變更及増設ノ經費中ニ積算掲上セリ依テ本件ハ豫算目的外ノ支出ニアラス

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 會計法第十二條違背

(參照) ○會計法第十二條第一項(一四一頁參看)

【報告】

(三六) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一五二七^円一〇

ハ栃木驛模樣替工事ニ使用シタル人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實東京鐵道管理局上野保線事務所小山保線區勤務
技手野川某カ雇水谷某外一名ト共謀シ大正三年度、五兩月ニ於テ實際使役セサル人夫ヲ使役シタルモノ、如ク裝ヒ關係書
類ヲ偽造シ附加請求セシメタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】

會計検査院検査報告ノ通

但シ犯人野川某外二名ハ大正四年九月六日宇都宮地方裁判所ニ於テ有罪ノ判決ヲ受ケタレトモ之ニ服セス目下上告中ニ屬セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第二款 鐵道用品及工作費 第一項 用品及工作費

【報告】

(三七) 鐵道院ノ支出ニ係ル

五七二五^円六七五〇〇

ハ大正三年度、五及十二月中株式會社川崎造船所及汽車製造株式會社ニ對シ四回ニ請負ハシメタル機關車九十輛炭水車六
十二輛ノ代價貳百八拾六萬貳千八百參拾七圓五拾錢ノ内製作材料ノ調達ニ由リ部分拂ヲ爲シタルモノニシテ車輛請負代價
ノ十分ノ二ニ相當スル金額ナリ抑々本件ハ契約書中請負料金ノ仕拂ニ關シ請負者ニ於テ製作材料ノ内焰管、過熱管、汽罐銅
板、水槽銅板、車輪、車軸等ノ主要材料ヲ調達シタルトキハ検査ノ上其所有權ヲ鐵道院ニ移轉セシムルモノトシ之ニ對シ鐵道
院ノ認定セル當該材料價格ヲ仕拂ヒ又同上製作材料一輛分ヲ取纏メ請求スルトキハ車輛請負料金ノ十分ノ二機關車、汽罐
水壓試驗濟ノ分ハ十分ノ三炭水車工事落成検査濟ノ分ハ十分ノ五、車輛製作完了ノ上ハ請負料金ノ殘額ヲ仕拂フヘキ旨ノ
約款ヲ設ケ之ニ基キ請負代價ノ部分拂ヲ爲シタルモノナリト雖モ之ヲ關係書類ト對查スルニ其請負ニ係ル四一四一〇型機
關車一輛分ノ前掲製作材料價格ハ貳千參百七拾五圓八錢ナルニ當該車輛請負代價貳萬五千參百四拾參圓七拾五錢ノ十分ノ
二ニ相當スル五千六拾八圓七拾五錢ヲ認定價格トシ又二一八一〇型機關車ハ一輛分材料價格參千八拾四圓參拾錢壹厘ナル
ニ當該車輛請負代價參萬參千五百五拾六圓貳拾五錢ノ十分ノ二ニ相當スル六千六百參拾壹圓貳拾五錢ヲ認定價格トシテ部分
拂ヲ爲シ其他ノ各車輛孰モ同様ノ取扱ニ係リ過大ノ認定價格ヲ附シテ仕拂ヲ爲セリ依テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ
其答辯ノ要旨ハ

機關車及炭水車材料調達ニ關シ部分拂ノ方法ハ明治四十四年度以降大正元年度マテハ外國ニ於テ調達シタル材料ニ限り
代價ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノニ至リ主要材料ヲ契約書ニ列記シ其材料一輛分ノ調達ヲ了スルトキハ外國品タルト否
大正三年度 帝國鐵道 (三七)

トニ拘ラス車輛請負代金ノ十分ノ二ヲ仕拂フコトニ改メタリ然レトモ縱ヒ一輛分ノ調達ヲ了セサルモ若干輛分ノ一部ノ主要材料ヲ調達シタルトキ部分拂ヲ爲スニアラサレハ請負業者資金ノ運轉ヲ澁滞セシムルノ事情アルヲ以テ三年度ニ於テ更ニ箇々ノ材料調達ノ場合ハ認定價格ヲ附シ仕拂ヲ爲スノ便法ヲ設ケタルモノナリ而シテ二年度ニ於テ一輛分ノ材料調達ヲ了シタルトキ其請負代價ノ十分ノ二ヲ仕拂フコト、定メタルハ大正元年度ノ契約ニ係ル當該材料實價カ平均機關車及炭水車合計代價ノ十分ノ二以上ナリシニ基クモノニシテ三年度ニ於テ箇々ノ材料調達ニ認定價格ヲ附シ部分拂ヲ爲スニ及ヒ同一契約ニ對シ標準ヲ異ニシタル仕拂ヲ爲スハ車輛落成ノ都度計算繁雜ナルヲ以テ主要材料全部調達ノ場合ハ請負代價ノ十分ノ二ニ合致セシムル様豫メ其金額ヲ箇箇ノ主要材料ニ割當テ之ヲ認定價格トシ仕拂フコト、爲シタルモ爲メニ材料實價ヲ超過スルコトナキヲ信シタリ然ルニ三年度ニ於テ鐵材市場亂調子ト爲リ車輛請負價格ト其材料仕入價格トノ關係亦從前ノ如クナラサリシニ地方事務所ニ對シ適當ノ訓令ヲ發セサリシヲ以テ取扱者ハ依然前例ニ依リ之ヲ割當テ遂ニ實價ニ超過スルノ仕拂ヲ爲スニ至リシモノナリ

ト謂フニアリ元來會計規則ニ於テ代價ノ部分拂ヲ爲シ得ヘキ場合ハ工事ニ就テハ其既濟部分ニ對スル代價ノ十分ノ九物品ニ就テハ其既納部分ニ對スル代價ヲ超ユヘカラスト規定セルニ拘ラス本件主要材料ノ調達ニ基ク部分拂トシテ仕拂ヒタル五拾七萬貳千五百餘圓ノ内材料全部調達ノ爲メ實價ノ調査ヲ缺クモノ四萬九百餘圓ヲ除キ五拾參萬五千五百餘圓ニ對シテハ其實價參拾貳萬八千九百餘圓ニ過キスシテ貳拾萬貳千六百餘圓ハ超過仕拂ニ屬シ取扱上注意ノ周到ヲ缺キタルモノト謂ハサルヲ得ス依テ本件ハ會計規則第六十八條ニ違背シタルモノトス

本件機關車及炭水車製作代價ノ部分拂ヲ爲スニ至リタルハ多額ノ材料代價ヲ仕入後落成迄永ク固定スルハ製造家ノ苦痛トスル處ニシテ製品價格ヲ昂騰セシムルヲ以テ請負人ニ於テ主要材料ヲ調達シタルトキハ其ノ所有權ヲ取得シ之ニ對シテ代價ヲ仕拂ヒ以テ製品價格ノ昂騰ヲ抑制セントスルニ出テタルモノナリ而シテ該材料ハ當初幾ノト外國品ヲ使用シタルヲ以テ之カ仕入書ヲ徴シ其ノ仕入價格ヲ仕拂ヒ來リタルカ爾後内地産業ノ發達ニ依リ内外材料ヲ相交錯シテ使用スルニ至リタルヲ以テ從來ノ輸入材料價格ハ請負代價ノ十分ノ二以上ニ當リタル事實ニ基キ大正元年度ヨリ主要材料ヲ列記シ其ノ一輛分ヲ調達スル毎ニ一輛ノ請負價格ノ十分ノ二ヲ仕拂フコトニ改メ次キテ主要材料

【辨明】

中ノ一部ニ付キ若干輛分ヲ調達シタルトキモ其ノ仕入價格ト他ノ主要材料ノ仕入價格トノ比例ニ基キ請負金額ノ十分ノ二ヲ按分シテ其ノ價格ヲ認定仕拂ヲ爲サシムルコトトセリ是レ各物品ノ時價ヲ精査シテ其ノ單價ノ的確ヲ期スルハ煩雜ノ手續ヲ要スレハナリ然ルニ會計檢査院報告ノ如ク仕入價格ニ超過仕拂フ結果ヲ來セルハ從來機關車用車輪車軸ハ川崎造船所及汽車會社共ニ完成品ヲ輸入シ來リタルニ川崎造船所ハ車軸及外輪ノミヲ輸入若クハ内地ニテ購入シ内輪及其ノ組立ヲ自給スルニ至リ著シク購入材料仕入價格ヲ低減シタルト材料價格ハ時々變動アリ本件外契約ノ分ニ於テハ其ノ仕入價格ハ總代價ノ十分ノ二以上ナルニ拘ラス本件契約ノ分ハ仕入價格ノ十分ノ二ニ充タサリシニ因ルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 會計規則第六十八條違背

(參照) ○會計規則(明治二十五年五月一日勅令第六十號)

第六十八條 前條第二項ノ仕拂ヲ爲サントスルトキハ工事ニ付テハ其既濟部分ニ對スル代價ノ十分ノ九物品ニ付テハ其既納部分ニ對スル代價ヲ超ユヘカラスト但箇々ニ分立シ得ヘキ性質ノ工事ニ於ケル各箇ノ完濟部分ニ對シテハ其代價ノ全額マテ仕拂フコトヲ得

【報告】

(三八) 鐵道院ノ支出ニ係ル

五、一四〇、四三九

ハ神戸倉庫米子分庫ニ於テ大正三年四、五兩月中山本某外三名ヨリ購入シタル並枕木ノ内六千二百九十三挺ノ代價ニ相當スルモノナリ同五月之方實地ヲ檢査スルニ該品ハ請負人カ輸送上筏流ノ爲メ兩端ニ四面ヨリ袖削ヲ爲シ且ツ徑約一寸乃至三寸ノ穿孔ノ爲セルノミナラス幅厚及彎曲ノ程度ニ於テ所定ノ仕様ニ適合セサル劣等品ト認ムルモノ多數混入セルヲ以テ一等品中一山積分ヲ仕様書ニ對照シタルニ規格ニ適セサルモノ八割餘ノ多キニ及ヘリ之ニ對スル當該官吏説明ノ要旨ハ兩端穿孔ノ箇所ハ定尺内外ヲ論セス檢査シ來リタル慣例アリ仕様書ニモ明記ナク請負人モ穿孔ノ爲メ定尺ヨリ幾分長キモノヲ製材納付セルヲ以テ彼此斟酌檢査シタルモノニシテ又幅厚等ニ至リテハ大體目分量ヲ以テ檢査セルニ付仕様書ニ對シ多少ノ違寸ハ免レスト謂フニアリ然レトモ仕様書ニ明記ナキハ即チ所定寸法以外ニ特別ノ檢査方法ヲ認メサルモノニシテ又穿孔ノ爲メ定尺ヨリ幾分長尺ノモノ多シト謂フト雖モ其部分ヲ除去スルトキハ所定ノ寸法ニ達セサルモノアリ又幅厚等ニ就キ目分量ヲ以テ細密ニ檢査ヲ施スコトヲ得サルハ檢査上免レ難キ事情アリトスルモ其大部分ニ涉リ不合格品ナルカ如

キハ購入物件ニ對スル檢收當ヲ得タルモノニアラス要スルニ本件ハ納品ノ檢收宜シキヲ得ス多數ノ不合格品アルニ對シ代價ノ全部ヲ仕拂ヒタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】 鐵道院毎年度所要ノ栗枕木ハ二百七十萬挺内外ニ上リ之カ供給ハ東北地方ニ多クシテ關西及九州方面ニ少シ然レトモ經濟上可成需要地ニ近キ地方ニ於テ購入スルノ方針ヲ採ルカ故ニ仕様書ノ規格ハ全國畫一ニ定メタリト雖供給少キ地方ニ在リテハ其ノ檢收ニ多少ノ斟酌ヲ加フルハ已ムヲ得サル所トス本件枕木ハ兩端ニ筏穴アリト雖使用上支障ナキノミナラス定尺ヨリ幾分長キカ故ニ却テ耐壓力ヲ増スノ利アリ又厚幅等ニ於テ精密ニ仕様ニ適合セサルモノアルハ目分量ニ依リ檢收セル結果ニシテ使用上ニハ支障ナシ要スルニ本件ハ實際上已ムヲ得サルモノナリ

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

【報告】

(三九) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一三、四二、三三〇

ハ札幌工場手宮支工場ニ於ケル職工給料トシテ證明シタルモノナルモ其實同支工場雇鈴木某カ明治四十五年五月ヨリ大正三年七月ニ至ル間ニ於テ引續キ工作認簿等ヲ改竄シ實際使役セサル人工ヲ加算シ其賃金ヲ橫領シタル總額四千拾壹圓參拾貳錢ノ内ニシテ貳千六百六拾八圓九拾七錢ハ既往二箇年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】

會計檢査院檢査報告ノ通

但シ犯人鈴木某ハ大正三年十一月豫審中死亡シ橫領金四千拾壹圓參拾貳錢ノ内金七百七拾六圓貳拾參錢ハ大正四年一月七日迄ニ身元保證人ヨリ辨納シ殘額金參千貳百參拾五圓九錢ハ貸付金トシテ北海道廳ニ引繼キタリ而シテ監督責任者ニ對シテハ懲戒處分ヲ了シタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

收益勘定

歳入

第一款 鐵道作業收入 第一項 運輸收入

【報告】

(四〇) 鐵道院ノ徵收ニ係ル

四、二九、四六二〇

ハ函館停車場構内地先第一區埋築其他工事請負人鈴木某ノ爲メ同工事用材料トシテ置戶外三驛ヨリ輸送シタル木材千九百

八十七噸ニ對スル五割引運賃トシテ同人ヨリ徵收シタルモノナリ抑、鐵道院ハ工事請負契約ノ締結ニ關シ請負人カ其所要材料ヲ託送スル場合ニハ契約擔當官吏ノ證明スルモノニ限リ運賃ヲ五割減ト爲スヲ通例トシ本件請負人ニ對シテモ亦右運賃ノ割引ヲ許容シタルニ請負人ハ前記木材ノ輸送ヲ受ケタルモノ、内七百八十六噸ヲ到著驛ニ於テ任意他ニ賣却シタルモノナリ本件ニ關スル函館運輸事務所長ノ調査書類ニ依レハ到著木材ハ多クハ製材ノ上工事監督者ノ檢査ヲ經テ使用スルノ順序ナルニ到著後直チニ一車ノ全部ヲ原木ノ儘轉賣シタルモノ少カラス而シテ當局者ハ本件ニ關シ輸送總噸數千九百八十七噸中黒岩國縫兩驛發ノ四十三噸ハ少量ノモノトシテ除外シ千九百四十四噸ニ對シテハ通常ノ場合工事ニ使用シ得サル刎材約二割ニ相當スルモノアルヲ以テ本件ニ就テモ三百八十八噸八分ノ刎材アリト算定シ之ヲ請負人ノ任意賣却シタル木材七百八十六噸ヨリ控除シテ發驛託送數量ニ按分シ三百九十六噸ニ對シ一般運賃トノ差額八百六拾七圓八拾四錢ヲ大正四年五月請負人ヨリ追徵セリ然レトモ木材著驛ノ際各一車ノ全部ヲ擧ケテ之ヲ賣却スルカ如キハ當初ヨリ運賃割引ヲ利用シテ轉賣ヲ目的トスルモノト認ムヘク隨テ轉賣數量七百八十六噸ニ對シ運賃ヲ追徵スルヲ相當トス要スルニ本件ハ當局者ノ注意周到ヲ缺キ所要外ニ多量ノ輸送ヲ爲サシメタルノミナラス運賃追徵ノ計算宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

會計檢査院檢査報告ノ通

但シ請負人鈴木某ハ他ニ轉賣シタル七百八十六噸ノ中百九十九噸ハ實際ノ刎材ナルヲ以テ運賃ヲ追徵スヘキモノハ五百八十七噸賃金千貳百八拾參圓拾參錢ニシテ金八百六拾七圓八拾四錢ヲ追徵シタルヲ以テ徵收不足ハ金四百拾五圓貳拾九錢ナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出

第一款 鐵道作業費 第一項 事業費

【報告】

(四一) 鐵道院ノ支出ニ係ル

一六、八一、九二八〇

ハ能登川驛ニ於テ貨物引換證ヲ回收セス引渡請求人ニ現品ヲ交付シタルカ爲メ遂ニ貨物引換證所持者タル渡某外八名ヨリ請求ヲ受ケ其賠償トシテ仕拂ヲ爲シタルモノナリ右ハ津外數驛ニ於テ貨物引換證ヲ交付シ能登川驛ニ輸送シタル貨物ニ就キ其荷受人タル合資會社能登川製油場合名會社塚本運送店外一名ハ資金融通上常ニ該引換證ヲ擔保トシテ他ニ提供シ能登

川驛ニ對シテハ引換證延著ノ名義ヲ以テ相互保證人ト爲リ貨物ノ引渡ヲ請求シタルニ當該驛長ハ引渡請求人及保證人ノ資力信用竝ニ之カ内實ニ關シ何等ノ調査ヲ爲サス多年之ヲ許容慣行シ大正三年六月事實發覺ノ際引換證未回收ノ儘貨物ノ引渡ヲ了セルモノ四十六件此價格參萬四千餘圓ノ多額ニ及ヒ爾後之カ回收ニ努メタルモ荷受人竝ニ保證人ハ共ニ無資産ニシテ遂ニ前掲金額ノ内七百貳拾四圓ヲ辨償セシメタルノ外八年度マテ年賦償還ヲ許容シ一面貨物引換證所持者ニ對シ賠償スルノ已ムヲ得サルニ至リシモノナリ抑、貨物引換證ノ紛失又ハ延著等ニ由リ之ト引換ニ貨物ノ引渡ヲ請求スルコト能ハサルトキハ引渡請求人ニ於テ其權利ヲ證明シ現金有價證券ヲ擔保トシ又ハ資力信用アル保證人ヲ供シタルトキニ限り現品ノ引渡ヲ爲スコト規程上妨ケナシト雖モ本件荷受人ニ對スル貨物引換證ニ就テハ每回延著ノ名義ヲ以テシ其回收月餘ニ涉ルモ何等事實ノ調査ヲ爲サス多年便宜ノ取扱ヲ許容シ其保證人ノ如キモ實力信用ノ調査ヲ爲サス漫然貨物ノ引渡ヲ爲シタル結果遂ニ賠償ヲ爲スノ已ムヲ得サルニ至リシモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ責任者能登川驛長小川某ニ對シテハ大正三年十月相當ノ處分ヲ爲シタリ而シテ賠償金壹萬六千八百拾九圓貳拾八錢ノ内金五千參百拾九圓貳拾八錢ハ大正四年十二月迄ニ辨納シ殘額金壹萬千五百圓ハ大正八年迄ニ年賦償還セシムルコトトナセリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】 (四二) 鐵道院ノ支出ニ係ル

二、四八六、二五〇

ハ東京鐵道管理局兩國保線事務所銚子保線區管内ニ於ケル線路及停車場構内砂利撒布竝ニ取卸ニ使用シタル臨時人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實同區主任技手喜多島某カ大正二年六月ヨリ四年三月ニ至ル間ニ於テ線路工夫ヲ使用シタルニ拘ラス臨時人夫ヲ傭入レタルモノ、如ク裝ヒ人夫使役報告表ヲ偽造シ一面人夫供給請負者廣次某ヲシテ人夫賃請求書ヲ作成セシメ十數回ニ涉リ其賃金ヲ橫領シタル總額參千參百八拾六圓貳拾五錢ノ内ニシテ九百圓ハ二年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ犯人喜多島某ハ大正四年九月裁判所ノ確定判決ニ依リ處罰セラレタリ而シテ橫領金參千四百六拾五圓四拾五錢請求ノ附帶私訴ヲ提

起シタルニ第一審裁判所ニ於テ此ノ請求額ノ内參千參百八拾六圓貳拾五錢ヲ正當ト認メ七拾九圓貳拾錢ノ請求ハ之ヲ棄却セラレタルヲ以テ右判決ヲ不當トシ控訴シタルニ被告人ヨリ右橫領金全部參千四百六拾五圓四拾五錢ヲ辨償スヘキ旨申出タルニ依リ控訴ヲ取下ケ内千七百參拾貳圓九拾四錢ハ大正四年十二月迄ニ犯人ヨリ辨納シ殘額千七百參拾貳圓五拾壹錢ハ大正六年ヨリ十二箇年間ニ年賦償還セシムルコトトセリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】 (四三) 鐵道院ノ支出ニ係ル

三、八〇三、〇〇〇

ハ出張旅費トシテ證明シタルモノナルモ其實神戸鐵道管理局運輸課車輛掛勤務書記豐島某カ同掛員總代トシテ俸給及旅費ノ請求ヲ爲スヲ奇貨トシ大正三年九月ヨリ四年十二月ニ至ル間ニ於テ技手村山某外十餘名竝ニ自己ノ旅費請求ヲ爲スニ當リ出張區間宿泊日數等ヲ延長變更シ又ハ全ク出張ノ事實ナキニ出張シタルモノ、如ク裝ヒ旅費請求書ヲ偽造シ前後百數十回ニ涉リ橫領シタル總額千八百五圓八拾六錢ノ内ニシテ千四百貳拾五圓五拾六錢ハ四年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ犯人豐島某ハ大正五年二月裁判所ノ確定判決ニ依リ處罰セラレタリ而シテ橫領金千八百五圓八拾六錢ノ内金七拾八圓七拾七錢ハ大正五年五月八日迄ニ犯人ヨリ辨納シ殘額金千七百貳拾七圓九錢ハ貸付金トシテ兵庫縣廳ニ引繼キタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

海軍省所管

海軍工廠資金

歳出

競争入札ニ付スヘキ物件ノ購入ヲ隨時契約ニ依リタルモノ一件(四四)

五、四六六、八二〇

第一款 材料物品費 第一項 材料物品費

【報告】 (四四) 横須賀海軍工廠ノ支出ニ係ル

五、四六六、八二〇

大正三年度 帝國鐵道 (四三) 海軍工廠資金 (四四)

ハ釜石鉄鐵一號八萬二百九十疋ノ代價ニシテ會計法第二十四條第四號ニ依リ隨意契約ヲ以テ大正三年九月及十二月ノ二回ニ田中某代理荒木某ヨリ購入セルモノナリ右ハ試驗規格ヲ示シ競争入札ニ付スルモ所定ノ目的ヲ達シ得ヘシト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本品ハ強力ヲ主トスル特種ノ鑄鐵製品原料ニシテ本規格ニ合格スルモノハ釜石産一號鉄鐵以外ニ求ムヘカラスト謂フニアリ然レトモ吳海軍工廠ニ於テハ現ニ本邦産鉄鐵ノ購入ニ際シ試驗規格ニ依リ競争入札ニ付シ居レルノミナラス其規格ハ之ヲ五號ニ分チ一號ハ略ホ釜石一號鉄鐵ニ該當シ殊ニ主要條件タル硫黄分ノ如キハ〇・〇六以下ニシテ本件購入ニ於ケル規格ト同一ナリ尙ホ其使用ノ目的ハ固ヨリ多様ニ涉レリト雖モ彼此同一ナルモノ亦少シトセス是ニ由テ之ヲ觀レハ右購入ハ競争ニ付シ能ハサルモノト認ムルヲ得ス依テ本件ハ會計法第二十四條ニ違背シタルモノトス

【辨明】 本件横須賀海軍工廠ニ於テ購買セル釜石鉄鐵ハ特種ノ鑄鐵原料ニシテ吳海軍工廠ニ於テ試驗規格ニヨリ購買セル本邦産鉄鐵ハ主トシテ製鋼原料ナレハ兩者各其ノ用途ヲ異ニス元來鉄鐵ハ成分同一ナルモノニテモ産地及製法ノ如何ニヨリ各其ノ特長ヲ有シ甚シク之カ性狀ヲ異ニスルモノニシテ其ノ性狀如何ハ試驗規格ニヨリテノミ決定スルヲ得ス故ニ鑄物原料タル釜石鉄鐵ハ隨意契約ニ依リ之ヲ購入スルノ外ナシ

【貴決】 異議ナシ 會計法第二十四條違背

(參照) 〇會計法(明治二十二年二月十一日法律第四號)

第二十四條 法律勅令ヲ以テ定メタル場合ノ外政府ノ工事又ハ物件ノ賣買貸借ハ總テ公告シテ競争ニ付スヘシ但シ左ノ場合ニ於テハ競争ニ付セス隨意ノ約定ニ依ルコトヲ得ヘシ

第四 特種ノ物質又ハ特別使用ノ目的アルニ由リ生産製造ノ場所又ハ生産者製造者ヨリ直接ニ物品ノ買入ヲ要スルトキ

文部省所管

東京帝國大學

歳出

物件ノ購入ニ關シ事實ニ反スル證明ヲ爲シ年度所屬ヲ混同シタルモノ一件(四五)

三、六七〇・七四〇

歳出經常部

第一款 東京帝國大學 第二項 物件費

【報告】 (四五) 東京帝國大學ノ支出ニ係ル

三、六七〇・七四〇

ハ醫科大學教室實驗用各種購入物品ノ代價トシテ證明シタルモノナルモ大正二年度検査報告ニ詳悉セシ如ク多種類ノ購入物品ニ對シ一々其品名數量ヲ列記シ證書書類ヲ作成スルハ煩ニ堪ヘストシ其主タルモノニ數量ヲ増加シ代價ヲ割當ツル等虚偽ノ記載ヲ爲シ加之時期ヲ異ニシ購入シタル物品ヲ取纏メ代價請求ノ日ニ於テ一括購入シタルモノ、如ク裝ヒ前年度ノ購入ニ係ル代價六百參拾九圓九錢ヲ本年度ノ負擔ト爲シ前掲ノ金額ヲ支出スルニ至リシモノナリ依テ本件ハ物件ノ購入ニ關シ事實ニ反スル證明ヲ爲シ年度所屬ヲ混同シタルモノニシテ不當ナリトス(大正二年度(五五)一八頁參看)

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 衆決 不當

學校及圖書館

歳出

事實ニ反スル證明ヲ爲シタルモノ二件(四六)

一九、一九〇・六四〇

歳出經常部

第一款 學校及圖書館 第二項 校館費

【報告】 (四六) 東京美術學校ノ支出ニ係ル

一六、八四七・五二〇

ハ木南某外八名ヨリ委託ヲ受ケタル製作品ノ材料購入代價及職工人夫賃等トシテ證明シ同校ノ支出ニ係ル

一、三三三・二二〇

大正三年度 東京帝國大學 (四五) 學校及圖書館 (四六)

一七五

ハ「モデル」備入料及乗車賃、帽子掛外三十八種ノ代價ニシテ東京市佐藤某外五名ニ對シ仕拂ヒタリトシテ證明シタルモノナリ然ルニ大正五年六月ノカ實地ヲ検査スルニ前記委託製品ハ之ヲ山崎某外九名ノ請負ニ付シタルモノナルニ拘ラス學校ニ於テ直營製作シタルモノ、如ク裝ヒ虚偽ノ人名ヲ用ヒ全ク購入セサル材料物品ヲ購入シタルモノトシ證明シタルモノ參千五百貳拾壹圓六拾壹錢厘入ヲ爲サ、ル職工人夫ヲ雇入レタルモノトシ證明シタルモノ八千八百四圓七拾壹錢其他事實ニ反スル證明ヲ爲シタルモノ四千五百貳拾壹圓貳拾錢ニ上リ尙ホ四年度ニ於テモ引續キ同様ノ取扱ヲ爲シ虚偽ノ事實ニ對シ支出シタルモノ參萬八千八百六圓四拾四錢ニ達セリ又「モデル」備入料及乗車賃ハ現金ニテ受領シタル授業料又ハ擅ニ仕拂請求書ヲ現金ニ引換ヘタルモノ等ヨリ立替拂ヲ爲シ其事實ヲ隱蔽センカ爲メ故ラニ他ノ債主名ヲ用ヒ帽子掛外三十八種ノ購入代價仕拂ニ際シテモ本校職員カ自カラ供給シ又ハ之ニ關係シタル等ノ事實ヲ蔽ハンカ爲メ孰モ用達商人又ハ小使等ノ名義ヲ使用シ虚偽ノ證明ヲ爲シタルモノニシテ四年度ニ於テモ引續キ同様ノ取扱ヲ爲シ貳千六百六拾七圓參拾八錢ヲ支出セリ而シテ本件ハ獨リ證明ノ事實ニ反スルニ止マラス現金ノ取扱ニ關シ法規ニ背戾シタルモノ甚タ多シ即チ現金ヲ以テ收入シタル入學料授業料及受託製品代ノ如キ成規ニ基キ金庫ニ拂込ヲ爲サス又仕拂義務未タ確定セサルニ種々ノ名義ヲ附シ又ハ虚偽ノ人名ヲ用ヒ仕拂請求書ヲ發行シ之ヲ現金ニ引換ヘ本校ニ於テ組織セル校友會、厚誼會、贊助會、記念會、植樹會ノ現金ト混同シ其一部ヲ下谷銀行十五銀行等ハ當座預金ト爲シ利殖ヲ圖ルト共ニ隨時現金仕拂ノ資金ニ充テ或ハ之ヲ學校職員其他ヘ貸付シ而モ之カ受拂ニ就テハ日々一片ノ紙面ニ其金額人名及事由ヲ簡單ニ記載シタルニ止マリ數年間會テ精算ヲ爲シタルコトナク隨テ現金收支ノ真相判明ヲ缺キ關係書類ニ就キ計算スルニ使途不明ニ屬スルモノ少カラス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 不當(一八七頁參看)

【衆決】 不當

農商務省所管

森林資金

歳入

開墾ノ目的ヲ達セサル土地ノ拂下ヲ爲シタルモノ一件(四七)

一、五〇〇二九〇

第一款 林野拂下代 第一項 林野拂下代

【報告】

(四七) 東京大林區署ノ徵收ニ係ル

一、五〇〇二九〇

ハ群馬縣吾妻郡長野原町大字應桑村字新田原國有原野面積三十七町五段二十二步ヲ國有林野法第九條ニ依リ豫約開墾成功地トシテ大正三年六月萩原某外七十二名ニ拂下ケタル代價ナリ右ハ明治四十三年十一月面積四十町六畝六步ニ對シ大正元年十二月マテニ桑園ニ開墾スルヲ條件トシ賣拂ノ豫約ヲ爲シタルモノナリ然ルニ東京大林區署ハ四十四年九月主務大臣ノ認可ヲ經ス擅ニ事業方法變更ノ許可ヲ與ヘ開墾地ヲ八町七段六畝六步防風林ヲ三十町步宅地ヲ一町三段步ト爲セルノミナラス事業方法ノ變更ニ關シ何等計畫書ヲ徵セス又國有林野法施行規則第十六條ニ定メタル成績報告書ヲ徵セシ形蹟ナシ加之本件成功期限ノ前月大林區署員ノ現場視察報告ニ依レハ成功部分ハ僅ニ四町步ニ止マリ期限内成功ノ不可能ナルヲ認メタルモノナリ而シテ開墾者ハ之ニ對シ更ニ一箇年間ノ延期ヲ出願セルニ大林區署ハ不許可ノ處分ヲ爲シタル儘等閑ニ付シ爾後開墾者ヨリ二年五月二十一日附ヲ以テ元年十二月申中全部成功ニ付賣拂アリタキ旨出願シ來ルニ及ヒ成功検査ヲ爲スヘキ決議ヲ爲シタル儘時日ヲ經過シ稍ク二年十二月ニ至リ検査ヲ執行シ防風林ニ對シテハ落葉松五萬本檜二萬本赤松千九百六十本ヲ植附ケタルモノトシ又桑園及宅地ニ對シテハ二町五段五畝十四步ノ未成功部分ヲ除ク外全部成功ヲ遂ケタルモノト認定シ三年一月主務大臣ニ對シ前記事業方法變更ノ追認ヲ稟申セシニ其變更當ヲ得ス追認シ難キモ之カ賣拂ハ契約上已ムヲ得サルヘシトノ指令ヲ得遂ニ拂下ヲ爲スニ至リシモノナリ要スルニ本件ハ當局者ノ處置當ヲ失シ開墾ノ目的ヲ達セサル土地ノ拂下ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

(參照) 〇國有林野法施行規則(明治三十二年八月三日)

農商務省令第二十五號

大正三年度 森林資金 (四七)

第十六條 開墾者ハ前年度ニ於ケル開墾ノ成績ヲ次年度ノ初日ヨリ一箇月以内ニ林野整理支局長ニ報告スヘシ

○國有林野法(明治三十二年三月二十三日) 法律第八十五號

第九條 國有林野ハ開墾ノ成功ヲ條件トシ豫メ其ノ價格及成功期限ヲ定メ隨意契約ヲ以テ賣拂ノ豫約ヲ爲スコトヲ得

官 有 物

名ヲ官有地ノ整理ニ藉リ官舎及宿舍ヲ建築セシメ官有地ト交換シタルモノ一件(四八)

價格不同ノ土地ヲ交換シ停車場ノ移轉工事ヲ遂行シタルモノ一件(四九)

數年ニ涉リ維持資金ニ屬スル公債證書ヲ亡失セルモノアルニ拘ラス之カ事實ヲ覺知セサリシモノ一件(五〇)

【報告】

(四八) 臺灣總督府ニ於テ大正三年度中臺北城內撫臺前街所在建物敷地千五坪餘此價額貳萬百拾五圓五拾錢四厘大稻埕北門口街所在雜種地二百九十九坪餘此價額五千參百九拾七圓參拾八錢六厘同稻新街所在建物敷地二百二十五坪餘此價額參千參百七拾九圓九拾六錢八厘並撫臺前街所在建物五棟百六十二坪餘此價額千五百參拾四圓五拾六錢合計參萬四百貳拾七圓四拾壹錢八厘ト財團法人基隆公益社々長木村某所有臺北城外龍匣口庄所在官舎及宿舍向建物並ニ附屬家十六棟四百七十三坪餘此價額參萬四百四拾七圓五錢ト交換シタルモノアリ本件交換ニ關シ其事由トスル所ハ交付地ノ重ナル撫臺前街所在地ハ元軍隊營舎敷地ナリシヲ商業地域ト爲スノ目的ヲ以テ陸軍省ヨリ引渡ヲ受ケ逐次交換ノ方法ニ依リ民有ニ移シタル殘存不用地ニシテ永ク官有地トシテ存置スルヲ許サス然ルニ偶、當時備人宿舍不足ノ爲メ公益社ニ於テ建築シタル宿舍ノ恰好ナルモノアリシニ由リ之ト交換ヲ爲シタルモノニシテ臺灣官有財産管理規則第十五條第二項ニ依リ官有地整理ノ爲メ必要ナルモノナリト謂フニアリ然レトモ本件宿舍ハ龍匣口庄所在警察官及司獄官練習所々在官有地及仁濟院ノ所屬地ニ建設シタルモノニシテ立會官吏ノ説明ニ徵スルモ官舎宿舍ヲ得有スルノ目的ヲ以テ公益社ヲシテ家屋ヲ建築セシメ其代價トシテ官有地ヲ交付シタルモノト認メサルヲ得ス右ハ名ヲ官有地整理ニ藉リ官舎及宿舍ヲ建築セシメ官有地ト交換シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件撫臺前街所在ノ土地ハ當初ヨリ商業地域トナサンカ爲陸軍ヨリ引渡ヲ受ケ市區計劃道路ヲ新設シ官有地整理ノ目的ヲ以テ逐次交換ノ方

法ニ依リ民有ニ移シタル殘存不用地ニ屬シ北門口街及稻新街ノ土地モ亦狭小斷片ノ不用官有地ニシテ官廳ニ於テ何等用途ナキ土地ナルノミナラス市區改正道路線ニ沿ヒ商家用地トシテ適當ノ箇所ナルニ依リ官有地整理ノ必要ト交換ヲナシタルモノナリ

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

(參照) ○臺灣官有財産管理規則(明治三十五年二月二十五日) 勅令第三十九號

第十五條 官有財産ハ他人ノ物件ト交換スルコトヲ得ス但シ土地建物ハ左ニ掲クル場合ニ限り其ノ評定價格同一以上ノ土地建物ト交換スルコトヲ得

二 官有地整理ノ爲必要トスルトキ

【報告】

(四九) 鐵道院ニ於テ岐阜停車場ノ擴張改築ニ際シ岐阜市及加納町ヨリ新停車場及線路敷地實測面積二萬四千七百六十九坪餘此評價格拾壹萬七千參拾七圓拾壹錢並土工橋梁(橋桁ヲ除ク)溝渠下水伏樋乘降場積卸場等ノ全部此工費見積額四萬九千六百四拾貳圓八拾錢廢道路及廢溝渠敷地千二百五十九坪餘ノ寄附ヲ受ケ之ニ對シ舊停車場及線路敷地一萬六千三百三十九坪餘此評價格拾壹萬六千九百六拾四圓八拾錢六厘ヲ無償讓與セルモノアリ抑、本件ハ明治四十三年ノ交岐阜停車場擴張計畫ノ際岐阜市及加納町ヨリ停車場移轉ヲ出願セルニ對シ鐵道院ハ(一)停車場ノ移轉及變更線路ノ敷地(地上物件ノ移轉補償)ハ指定通寄附スルコト(二)土工其他ノ工事ヲ院ノ指揮監督ノ下ニ施行シ竣成ノ上寄附スルコト(三)移轉ノ爲メ不用ト爲ルヘキ現在ノ停車場及線路敷地(一)ノ寄附地ト坪數及價格略ホ相均シキ限度ニ於テ無償ヲ以テ出願者ニ交付スルコトノ條件ヲ以テ之ヲ承認シタルニ基因シ明治四十三年三月乃至大正三年四月ニ至ル間ニ於テ物件ノ受授其他ノ手續ヲ爲シタルモノナリ右ハ營造物ヲ包含セル價格不同ノ土地ヲ交換シタルモノト認メ之カ事由ヲ鐵道院總裁ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ 本件承認書ニハ無償交付ノ文字ヲ用ヒタレトモ實質上交換ヲ約シ之ヲ實行シタルモノニ係リ右移轉ニ要スル土地ハ工事施行ニ際シ之ヲ當院ノ所有トスル必要アリ之ニ反シ當方ヨリ交付スヘキ土地ハ工事完了後ニ至ラサレハ地域坪數ヲ確定スルヲ得ス隨テ交換スヘキ土地ノ受授ニ前後アリタルモノニ外ナラス而シテ請願者ヨリ寄附ヲ受ケタル土地ハ當院ヨリ交付シタル土地ト價格略ホ相均シキヲ以テ其儘交換シ營造物ハ之ニ關係ナク寄附ヲ受ケタルモノナリ

ト謂フニアリ然レトモ五年六月實地ニ就キ之ヲ調査スルニ本件土地ハ當初神戸鐵道管理局ノ要求ニ依リ岐阜縣ニ於テ讓與地ハ價格拾九萬千貳百九拾四圓八拾五錢四厘讓受地ハ價格九萬七千五百參拾圓九拾貳錢ト見積リ二年十一月申評價書ヲ作成送付セシモノナリ然ルニ鐵道院ハ三年三月ニ至リ兩地價格ノ間九萬參千餘圓ノ差アルカ爲メ讓與地ヲ市町ヘ無償交付スルニ差支アルヲ以テ成ルヘク相均シキ限度ニ更訂セラレ度旨交渉シ岐阜縣ハ之ニ對シ讓與地ハ前一坪平均貳拾五圓ト見積リタル岐阜市長住町一丁目五千九百二十坪餘ヲ拾圓乃至貳拾圓ノ四等ニ區分シ當初ノ評價價格拾四萬八千五百圓七拾五錢ヲ八萬貳千參百參拾六圓四錢ニ低減シタル外各筆ヲ通シ二割ヲ引下ケ總額ニ於テ七萬四千參百參拾圓四錢八厘ヲ減少シ又讓受地ハ每筆二割ヲ引上ケ總額ニ於テ壹萬九千五百六圓拾九錢ヲ増加シ以テ兩地ノ價額ヲ略ホ均シカラシメ同年三月更ニ評價書ヲ作成送付シ前ノ評價書ト引換ヘタルモノニシテ當初ノ評價書ニ就キ之ヲ觀ルニ讓受地ニアリテハ每筆最近ノ賣買交換價格ヲ其儘採用シ讓與地ニアリテハ附近土地ノ賣買交換價格ニ比準シタリトアルモ共ニ其事實ヲ認ムヘキ形跡ナキノミナラス之ニ對スル評價ハ概シテ讓受地ニ高ク讓與地ニ低シ殊ニ長住町一丁目ノ如キハ舊停車場敷地ノ中央ニ位シ新停車場ニ通スル沿道樞要ノ地區ニ屬シ之ヲ大正元年中附近土地一坪當リ四拾四圓餘ニ賣買セラレタルノ實例アルト岐阜稅務署調査ニ係ル附近土地ノ時價標準價格上位貳拾六圓乃至參拾參圓中位拾六圓乃至貳拾四圓ナルトニ徵スレハ平均一坪貳拾五圓ノ當初見積ハ當時ニ於テ寧ロ低廉ニ失スルモノト認メサルヲ得ス然ルニ岐阜縣ハ鐵道院ノ交渉ヲ受クルヤ直チニ前議ヲ翻シ當初ノ評價ヲ更訂シ何等引上クヘキ事由ナキ讓受地ニ對シ卻テ二割ヲ引上ケ評價ノ低廉ナル讓與地ニ對シ更ニ格段ナル低減ヲ爲スカ如キハ失當ノ甚シキモノナリ要スルニ本件ハ價格不同ノ土地ヲ交換シ停車場ノ移轉工事を遂行シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件新舊線路及停車場敷地ニ關スル岐阜縣ノ當初ノ評價ハ總テ鄰地ノ賣買價格ヲ標準トシタルモ新停車場ト舊停車場トノ間ニハ二町内外ノ距離アリ舊停車場敷地及其ノ附近ノ土地ハ停車場ノ移轉ト共ニ停車場存在當時ヨリモ著シク其ノ價格ヲ低下スルモノト認メサルヘカラス又舊線路敷地ハ築堤其ノ他ノ工作物存スル爲之ヲ耕作ノ目的ノ爲ニ使用スルニハ少カラサル加工費ヲ投セサルヘカラサルカ故ニ單ニ鄰地ノ賣買價格ヲ以テ標準トスルハ適當ナラスト認メ岐阜縣ニ對シ再考ヲ求メタルニ同縣ニ於テモ其ノ主旨ヲ認メ評價ヲ更正シタリ而シテ

鐵道院ハ大體ニ於テ此ノ更正評價ヲ適當ト認メタルヲ以テ之ニ依リ交換ヲナシタリ

【貴決】 措置穩當ヲ關ク

【衆決】 承認

【報告】

(五〇) 第八高等學校ニ於テ維持資金ノ内第二回帝國四分利付公債證書額面

六、五〇〇、〇〇〇

ヲ亡失セシモノアリ右ハ資金取扱主任官トシテ同校々長之カ管理ノ任ニ當リ現品保管中同校書記山本某カ會計主任トシテ該事務ニ關與セルヲ奇貨トシ名古屋本金庫名義第八高等學校長宛ノ領收證書ヲ偽造シ該金庫ニ預入シアルモノノ如ク裝ヒ之ヲ横領シタルモノニシテ右犯行ハ大正二年度ヨリ四年度ニ繼續シ四年度ニ於テ横領又ハ騙取シタルモノ第一回四分利付公債證書額面貳百五拾圓第二回四分利付公債證書額面壹萬四千五百圓計壹萬四千七百五拾圓ニ及ヘリ要スルニ本件ハ維持資金ニ屬スル公債證書ヲ亡失セルモノアルニ拘ラス前後數年ニ涉リ之カ事實ヲ覺知セサリシモノニシテ畢竟監督ノ怠慢ニ出テタルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

既
往
年
度

既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項……………一八三

大正二年度……………一八三

一般會計……………一八三

 歲入……………一八四

 歲出……………一八五

 內務省所管……………一八五

 農商務省所管……………一八五

特別會計……………一八六

 大藏省所管……………一八六

 帝國鐵道……………一八六

 資本勘定……………一八六

 歲出……………一八六

既 往 年 度

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳入ノ賦課徴収ニ於テ

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ二件

同歳出ニ於テ

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件

設計上ノ注意ヲ缺キ多額ノ工費ヲ損失ニ歸セシメタルモノ一件

其他不當ナルモノ二件

合計五件

ナリ

大 正 二 年 度

歳入

租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ二件(五一)(五二)

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(五四)(五五)

設計上ノ注意ヲ缺キ多額ノ工費ヲ損失ニ歸セシメタルモノ一件(五六)

其他不當ナルモノ二件(五三)

合計五件

一 般 會 計

既往年度

二、三三八六〇

一、一四九三六六

三、〇〇五九九〇

七、六八九九七〇

一一、八四五三二六

二、三三三八六一〇

一、一四九三六六

三、〇〇五九九〇

七、六八九九七〇

一一、八四五三二六

既往大正二年度 歳入 (五一)(五二)

一八四

歳入經常部

第一款 租 稅 第二項 所得稅

【報告】(五一) 新發田稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

五七八^四八九〇

アリ右ハ新潟縣北蒲原郡中浦村市島某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ東京市ニ於ケル貸宅地ニ關シ所轄稅務署所得見積額六千八圓ヲ六千七百四拾四圓ト誤記シ又別ニ所得見積額六百六拾八圓四拾四錢ヲ脱漏シ且ツ總所得額集計ニ於テ違算ノ爲メ貳千七百六拾壹圓四錢ノ減差ヲ來シ結局貳千六百九拾參圓四拾八錢ノ不足ヲ生シタルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】會計検査院検査報告ノ通

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】不當

第三項 營業稅

【報告】(五二) 德島稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、七五九^四七二〇

アリ右ハ運送代理及鐵道貸付ノ三業ヲ營ム阿波國共同汽船株式會社ニ對シ其運送業資本金額ヲ決定スルニ當リ拂込株金積立金及前期繰越金ノ月割平均額五拾壹萬參千貳百四拾九圓九拾八錢ヨリ本稅賦課ノ範圍外ニ屬スル鐵道貸付業見積資本金參拾萬圓ヲ控除シ貳拾壹萬參千貳百四拾九圓ト算定シタルモノナルモ鐵道貸付業ハ他ノ營業ト區別シテ之カ會計ヲ整理スヘキモノニシテ鐵道建設費ハ社債及借入金ニ依リ支辨シ資本金ヲ使用セサルヲ以テ其見積資本金ヲ控除スヘキモノニアラス又運送業資本金額ハ別途課稅ニ屬スル代理業見積資本金六千七百拾四圓ヲ資本金平均額ヨリ控除シタル金額ニ依ルヘキモノナルヲ以テ之ヲ五拾萬六千五百參拾五圓九拾八錢ト決定スヘキモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】會計検査院検査報告ノ通

但シ大正五年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】不當

内務省所管

歳出經常部

第五款 傳染病研究所 第二項 事務費

【報告】(五三) 本項ニ於テ傳染病研究所ノ支出ニ係ル

八一^四二〇〇

第三項事業費ニ於テ同所ノ支出ニ係ル

七、六〇八^四七七〇

ハ大正二年度中購入シタル石炭八十九万斤「コークス」七萬二千斤松薪十一萬四千六百五十本同二百四十束ノ代價ナリ右ハ大正三年度文部省所管歳出經常部第五款傳染病研究所第二項事務費ニ詳悉セシ如ク物件購入ノ方法宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス(一四五頁(一六〇參看))

【辯明】會計検査院検査報告ノ通

【貴決】將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】不當

農商務省所管

歳出經常部

第三款 森林費 第六項 事業費

【報告】(五四) 青森大林區署ノ支出ニ係ル

七〇八^四一〇〇

ハ宮城縣宮城郡根白石村杭城外八國有林ニ於テ使役シタル造林人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實大正三年度農商務省所管歳出經常部第三款森林費第六項事業費ニ詳悉セシ如ク同署管内仙臺小林區署在勤森林主事猪苗代某カ大正二年七月ヨリ三年七月ニ至ル間ニ於テ出役人夫ニ仕拂ヲ爲スニ際シ千七百六拾五圓五錢ニ相當スル證書ヲ偽造行使シ正當債權額トノ差額七百八拾圓拾四錢ヲ横領シタルモノニシテ千五拾六圓九拾五錢ハ三年度ニ屬スルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス(一四八頁(二二參看))

【辯明】會計検査院検査報告ノ通

既往大正二年度 内務省 (五三)

農商務省 (五四)

一八五

既往大正二年度 農商務省 (五五) 帝國鐵道 (五六)

一八六

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出臨時部

第四款 國有林野經營費 第二項 事業費

【報告】 (五五) 大阪大林區署ノ支出ニ係ル

四四一、二六六

ハ三重縣員辨郡十社村字西裏山外二團地國有林ニ於テ大正二年七八兩月中使役シタル手入事業人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ大正三年度農商務省所管歳出臨時部第四款國有林野經營費第二項事業費ニ詳悉セシ如ク同署管内龜山小林區署在勤森林主事織田某外一名カ共謀シテ傭役人夫賃任拂ノ爲メ豫メ受取り置キタル現金ヲ以テ擅ニ豫定外ノ費用ニ充當シ又ハ之ヲ横領シタル七百拾貳圓六拾錢壹厘ノ内ニシテ貳百七拾壹圓參拾參錢五厘ハ三年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス〔二四九頁(五五)參看〕

【辯明】 會計檢査院檢査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

特別會計

大藏省所管

帝國鐵道

資本勘定

歳出

第一款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】 (五六) 鐵道院ノ支出ニ係ル

三、〇〇五、九九〇

ハ鷹取工場貯水池改築並ニ之カ補設工事ニ要シタル費額壹萬八千五百九拾參圓四拾錢九厘ノ内ニシテ壹萬五千五百八拾七

圓四拾壹錢九厘ハ大正三、四兩年度ニ屬シ外ニ價格參千四拾六圓七拾貳錢ノ官給材料ヲ使用セリ右ハ大正三年度帝國鐵道資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費ニ詳悉セシ如ク當局者カ設計上ノ注意ヲ缺キ多額ノ工費ヲ損失ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス〔六二頁(三四)參看〕

【辯明】 大正三年度資本勘定歳出第一款鐵道建設及改良費第一項建設費(二)ノ非難ニ對シ辯明セシ通〔二六四頁(三四)參看〕

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

貴族院決議

貴族院ハ大正三年度各特別會計歳入歳出決算内務省所管樺太廳歳出臨時部第一款事業費第三項拓殖費樺太廳ノ支出ニ係ル東京市白井某ヨリ同人カ樺太ニ於テ製造セル酒精千四百石ヲ同地ニ於テ買上ケタル件ハ不當ノ處置ニシテ政府ノ監督宜シキヲ得スト議決ス

貴族院ハ大正三年度各特別會計歳入歳出決算文部省所管學校及圖書館歳出經常部第一款學校及圖書館第二項校館費東京美術學校ノ支出ニ係ル木南某外八名ヨリ委託ヲ受ケタル製作品ノ材料購入代價職工人夫賃並東京市佐藤某外五名ニ對シ「モデル」備入料乗車賃帽子掛外三十八種ノ代價仕拂及授業料其ノ他現金取扱ニ關スル件ハ不當ノ處置ニシテ政府ノ監督宜シキヲ得スト議決ス

大正四年度歳入歳出決算検査報告

大正四年度歲入歲出決算檢查報告

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項	一八九四
一般會計	一九一
歲入	一九一
歲出	一九八
內務省所管	一九八
大藏省所管	二〇〇
海軍省所管	二〇一
農商務省所管	二〇一
特別會計	二〇二
內務省所管	二〇二
朝鮮總督府	二〇二
歲出	二〇二
臺灣總督府	二〇五
歲出	二〇五
臺灣官設鐵道用品資金	二〇八
歲出	二〇八

大正四年度 目次

二

樺太廳	二一〇
歲出	二一〇
大藏省所管	二一〇
國債整理基金	二一〇
歲出	二一一
帝國鐵道	二一二
資本勘定	二一二
歲出	二二二
收益勘定	二二四
歲入	二二四
歲出	二二五
文部省所管	二二六
學校及圖書館	二二六
歲入	二二六
歲出	二二七
農商務省所管	二二八
製鐵所	二二八
歲出	二二八
官金	二二〇

官有物	二二一
既往年度	二二九
大正二年度	二二九
大正三年度	二三〇
貴族院決議	二三五
衆議院決議	二三六

大正四年度歳入歳出決算検査報告

豫算及法律勅令違背ノ事項

大正四年度歳入歳出總決算及同特別會計歳入歳出決算ノ内歳入ノ賦課徴收歳出ノ使用官金及官有物ノ管理處分ニ於テ豫算又ハ法律ニ違背シタル事項ハ

一般會計

歳入ニ於テ

租税及租税外收入ヲ收入濟額ニ編入セサリシモノ十件	二〇、四二二、四〇〇
租税ノ徴收過ニ屬スルモノ十件	二九、五六八、〇五〇
租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ二十二件	三三、二二七、四八〇
徴收上ノ處置怠慢ニ基因シ缺損處分ヲ爲スニ至リシモノ一件	七、二〇一、九二〇
滞納處分ノ執行宜シキヲ得サルモノ一件	六、五九二、二三〇
合計四十四件	九七、〇一二、〇八〇

歳出ニ於テ

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ四件	四〇八、二二三〇
請負契約ノ調査周到ヲ缺キ高價ノ運賃ヲ支出シタルモノ一件	三、〇三四、五三〇
合計五件	三、四四二、七六〇

特別會計

歳入ニ於テ

大正四年度

大正四年度

契約上ノ違約金ヲ特ニ免除シタルモノ一件
受託製作料ヲ歳入ニ編入セサリシモノ一件
合計二件

歳出ニ於テ

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ三件
土地買收價格ノ算定宜シキヲ得サルモノ一件
工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシ且豫算目的外ノ支出ヲ爲シタルモノ一件
採掘請負契約ノ名ヲ以テ隨意契約ニ依リ鑛業權ノ實質利益ヲ讓渡シ且歳入歳出ヲ混同シタルモノ一件

債券ノ募集ニ當リ必要ナキ引受保證ヲ爲サシメ之カ料金ヲ支出シタルモノ一件
計畫宜シキヲ得ス工費ヲ損失ニ歸セシメタルモノ一件
事實ニ反スル證明ヲ爲シ公私ノ仕拂資金ニ充當シ收支ノ真相判明ナラサルモノ三件
規格ニ反スル物件ニ對シ代價ノ支拂ヲ爲シタルモノ一件
合計十二件
官金ニ於テ
一、〇二九、六一一、二五七

國庫金ノ運用宜シキヲ得ス必要ナキ大藏省證券ヲ發行シ國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件
官有物ニ於テ
船舶ノ保管ニ關シ料金ノ協定宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ來シタルモノ一件

總計六十五件

ナリ

一般會計

歳入

租税及租税外收入ヲ收入濟額ニ編入セサリシモノ十件(一)(二)(三)
租税ノ徵收過ニ屬スルモノ十件(二)(四)
租税ノ徵收不足ニ屬スルモノ二十二件(一)(二)(四)
徵收上ノ處置怠慢ニ基因シ缺損處分ヲ爲スニ至リシモノ一件(五)
滞納處分ノ執行宜シキヲ得サルモノ一件(六)
合計四十四件
二〇、四二二、四〇〇
二九、五六八、〇五〇
三三、三二七、四八〇
七、二〇一、九二〇
六、五九二、二二三〇
九七、〇一一、〇八〇

歳入經常部

第一款 租 税 第一項 地 租

【報告】
(一) 小樽稅務署ニ於テ收入濟額ニ編入セサリシモノ本項ニ於テ
第二項所得稅ニ於テ 一、九五九、八七〇
第三項營業稅ニ於テ 一六九、三四〇
第六項鑛業稅ニ於テ 四一三、九〇〇
第四款雜收入第一項免許及手数料ニ於テ 七一八、四五〇
第三項辨償及違約金ニ於テ 六九〇〇
第五項雜入ニ於テ 二八〇
大正四年度 歳入 (一) 二四〇
一九一

アリ右ハ本年度歳入金ニシテ現金ヲ領收シタルモノナルニ同署在勤稅務署屬吉田某カ租稅徵收事務擔任中大正四年七月ヨリ五年七月ニ至ル間ニ於テ横領シタル金額壹萬六千參百七拾八圓五拾壹錢ノ内ニシテ參百四拾七圓拾五錢ハ本年度歳入金庫拂込未済ニ屬シ壹萬貳千七百六拾貳圓參拾八錢ハ五年度ニ屬スルモノナリ右ハ畢竟監督宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正六年二月十九日判決確定ニ因リ横領金ノ一部分回收補填濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第二項 所得稅

【報告】

(一) 神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一五、二〇七 七六〇

アリ右ハ三菱合資會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ自保險勘定ニ屬スル收入支出ノ差額拾壹萬六千九百八拾貳圓八拾貳錢ヲ所得額ニ加算セサルニ因ルモノナリ

伊丹稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

七、五〇〇 〇〇〇

アリ右ハ旭硝子株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ使用人養老資金トシテ拂出シタル拾貳萬圓ヲ損金ニ計算セサリシニ因ルモノナリ

六、四二〇 一一〇

函館稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

アリ右ハ函館區相馬某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ仙臺稅務署ノ通報ニ係ル貸金拾六萬圓ニ對スル所得見積額參萬貳千六百四拾圓ヲ誤テ參千貳百六拾四圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

三、〇四九 六八〇

福岡稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

三、〇四九 六八〇

五拾四圓九錢ヲ損金ニ計算セサリシニ因ルモノナリ

神田橋稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

二、九六四 六三〇

アリ右ハ東洋汽船株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ大正四年前半年分ニ於テハ船舶大修繕費貳萬八千八百八拾四圓四拾參錢ヲ損金ニ計算セス又後半年分ニ在リテハ該修繕費ハ四萬七千四百參拾四圓七錢ナルニ之ヲ貳萬八千八百八拾四圓四拾參錢ト計算シタルニ因ルモノナリ

一、七九五 三一〇

廣島稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一、七〇六 二五〇

アリ右ハ株式會社廣島商業銀行ノ所得額ヲ決定スルニ當リ株式會社實業銀行合併ニ依リ同會社ヨリ承繼セル資産價額ノ株式發行額ニ對スル超過額中諸積立金及前期繰越金ニ該當スル貳萬八千七百貳拾四圓九拾八錢貳厘ヲ所得額ニ加算シタルニ因ルモノナリ

一、五〇〇 〇〇〇

北稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、一五六 二五〇

アリ右ハ大阪電氣分銅株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ記念品料トシテ株數ニ應シ株主ニ配分シタル貳萬四千圓ハ利益配當ノ性質ヲ有スルモノナルニ之ヲ損金トシテ計算シタルニ因ルモノナリ

山形稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一、〇四四 四五〇

アリ右ハ株式會社兩羽銀行ノ所得額ヲ決定スルニ當リ重役行員功勞者ニ對シ特ニ支給セル創業二十箇年慰勞金壹萬八千五百圓ヲ所得額ニ計算シタルニ因ルモノナリ

一、〇四四 四五〇

高松稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一九三

大正四年度 歳入 (一)

アリ右ハ株式会社高松銀行ノ所得額ヲ決定スルニ當リ同會社カ株式會社讀岐貯蓄銀行合併ノ條件トシテ被合併會社ノ株式拂込金額五萬貳千五百圓積立金壹萬貳千八百圓及繰越金五千四百拾壹圓六拾九錢六厘計七萬七百拾壹圓六拾九錢六厘ニ對シ新株式拂込金額五萬四千圓ヲ交付シ依テ得タル差額壹萬六千七百拾壹圓六拾九錢六厘ヲ所得額ニ加算シタルニ因ルモノナリ

一、〇二二、四〇〇

横濱稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ
アリ右ハ横濱市茂木某ノ所得額ヲ決定スルニ當リ同人カ茂木合名會社ニ貸付セル横濱市所在土地建物ノ見積所得額五千六百八拾圓ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ
右ハ孰モ取扱上ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ第三種所得稅中徵收不足ノ分ニシテ本人ノ申告ナキカ爲徵收シ能ハサルモノヲ除クノ外大正五年度又ハ同六年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

【報告】

(三) 横濱稅務署ニ於テ收入濟額ニ編入セサリシモノ本項ニ於テ

一、四七二、四二〇

第三項營業稅ニ於テ

一、四六七八、五〇〇

第四款雜收入第一項免許及手数料ニ於テ

一、二五〇〇

アリ右ハ明治四十四年度乃至本年度歳入金ニシテ同署在勤稅務署屬永井某カ明治四十四年五月ヨリ大正五年七月ニ至ル間ニ於テ主任收入官吏ノ名ヲ以テ或ハ差押ノ形式ニ依リ現金ヲ領收シ之ヲ横領シタル金額貳萬六拾八圓五拾八錢ノ内ニシテ貳千九百拾五圓拾六錢ハ五年度ニ屬スルモノナリ右ハ畢竟監督宜シキヲ得サリシニ因ルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正五年十二月二十五日横領者ニ於テ辨償補填濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三項 營業稅

【報告】

(四) 丸龜外十一稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三、〇四二、四四〇

アリ右ハ四國水力電氣株式會社外九十六名ノ製造業資本金額ハ參百七拾八萬五千百拾八圓ト決定スヘキモノナルニ營業稅法第十七條ノ解釋ヲ誤リ該規定施行前ノ事實ニ屬スル大正三年分資本金額ノ大正二年分ニ對スル五分ノ一以上ノ増加額ヲ控除シ之ヲ貳百七拾七萬八百四拾貳圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

神田橋稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

一、〇二七、二五〇

アリ右ハ東洋汽船株式會社ノ運送業大正三年度分資本金額ハ八百參拾萬四千五百九拾七圓七拾壹錢ト決定スヘキモノナルニ控除ヲ要スル在外國支店見積資本金額ノ計算ヲ誤リ之ヲ八百六拾四萬貳千四百七拾貳圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

六、九二一、九七〇

同稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ

六、九二一、九七〇

アリ右ハ東洋汽船株式會社ノ運送業大正四年度分資本金額ハ八百四拾七萬四千四百九拾圓拾五錢ト決定スヘキモノナルニ控除ヲ要スル在外國支店見積資本金額ノ計算ヲ誤リ之ヲ九百八拾五萬五千八百八拾四圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

一、七一〇、〇二〇

アリ右ハ德島水力電氣株式會社ノ製造業資本金額ハ九拾五萬六千六百四拾四圓五拾四錢ト決定スヘキモノナルニ營業稅法第十七條ノ解釋ヲ誤リ該規定施行前ノ事實ニ屬スル大正三年分資本金額ノ大正二年分ニ對スル五分ノ一以上ノ増加額ヲ控除シ且免稅期間中ナル瓦斯事業ニ要スル資本金額ヲ控除セス之ヲ參拾八萬六千六百參拾七圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

長崎稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、四七一、〇六〇

大正四年度 歳入 (四)

アリ右ハ三菱合資社長崎造船所ノ製造業資本金額ヲ決定スルニ當リ退隱手當金及救護基金中會社ノ積立ニ係ル四拾九萬參百五拾四圓拾錢ヲ脱漏シタルニ因ルモノナリ

京橋稅務署ニ於テ徵收過ニ屬スルモノ 一、四〇二、二六〇

アリ右ハ東京製鋼株式會社ノ製造業資本金額ハ貳百貳拾五萬九千九百貳拾參圓ト決定スヘキモノナルニ前前年ニ對スル五分ノ一以上ノ増加額ヲ控除セス貳百七拾壹萬九千參百四拾貳圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

函館稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 一、三九七、〇一〇

アリ右ハ函館區相馬某ノ金錢貸付業運轉資本金額ハ百五拾五萬貳千參百六拾貳圓貳拾八錢ト決定スヘキモノナルニ誤テ百參拾壹萬九千五百貳拾八圓ト計算シタルニ因ルモノナリ

沼津稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 九、九九八、〇〇〇

アリ右ハ駿豆電氣鐵道株式會社ノ製造業資本金額ハ固有資本金及借入金ヲ本業ト兼業ニ係ル鐵道業トニ共通使用スルモノナルヲ以テ資本金額百拾貳萬五千四百六圓六拾九錢ヲ各業ノ資産見積價格ニ按分シ之ヲ六拾壹萬參千九百九圓參拾六錢ト決定スヘキモノナルニ鐵道業ニ屬スル資産見積價格ノ月末平均額及物品販賣業ニ要スル見積資本金ヲ控除シ貳拾五萬七千八百九拾圓ト計算シ其他本業ノ附屬事業タル電燈器具ノ販賣ニ對シ物品販賣業トシテ賣上金額貳萬貳千七百五拾參圓ニ課稅シタルニ因ルモノナリ

神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 二、七二二、五三〇

アリ右ハ東京市神田區猪橋某請負業ノ請負金額ヲ決定スルニ當リ鹿沼稅務署通報ニ係ル請負金額六萬八千貳百圓ヲ誤テ六拾八圓貳拾錢ト計算シタルニ因ルモノナリ

佐賀稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ 一、八四三、五〇〇

アリ右ハ佐賀縣佐賀郡兵庫村江口某ノ金錢貸付業運轉資本金額ハ五萬七千七百貳拾六圓貳拾五錢ト決定スヘキモノナルニ

【精明】

之ヲ貳萬七千圓ト計算シタルニ因ルモノナリ
右ハ孰モ取扱上ノ過誤ニ因リ徵收上過不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス
會計検査院検査報告ノ通

但シ追徵スヘキ稅額ノ僅少ナルカ爲訂正處分ヲ爲ササルモノ又ハ會社解散若ハ本人ノ申告ナキカ爲徵收シ能ハサルモノヲ除クノ外大正五年度又ハ同六年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

(參照) ○營業稅法(明治二十九年三月二十八日法律第三十三號)

第十七條 製造業ノ資本金額カ前年ノ資本金額ニ對シ五分ノ一以上増加シタルトキハ其ノ増加額ハ二年間之ヲ課稅標準ヨリ控除ス但シ二年繼續シテ資本金額ヲ増加シタル場合ニ於テ前前年ノ資本金額ニ對シ五分ノ一以上増加シタルトキハ其ノ年ニ限リ前前年ニ對スル増加額ヲ控除ス

第八項 酒 稅

【報告】

(五) 鹿兒島稅務署ニ於テ不納缺損ト爲リタルモノ 七、二〇二、九二〇

アリ右ハ鹿兒島市隈元某ヨリ徵收スヘキ 明治四十五年 年度分稅金ニシテ明治四十四酒造年度査定造石數ニ對スル納稅保證物不足ニ就キ製造酒類ノ讓渡消費等ノ停止處分ヲ爲ササリシニ因ルモノナリ依テ本件ハ徵收上ノ處置怠慢ニ基因シ缺損處分ヲ爲スニ至リシモノニシテ不當ナリトス

【精明】

會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

【報告】

(六) 鹿兒島稅務署ニ於テ不納缺損ト爲リタルモノ 六、五九二、二三〇

アリ右ハ燒酎製造業鹿兒島市和田某ノ 滯納ニ係ル大正元、二兩年度酒造稅七千八百七拾六圓七拾七錢ノ内滯納處分執行ノ上千貳百八拾四圓五拾四錢ヲ徵收シタル殘額ナリ本件滯納處分ヲ執行スルニ當リ納稅保證物中同市鹽屋町三百九十六番宅

大正四年度 歳入 (五)(六)

地三十九坪ノ豫定價格ヲ百貳拾圓單價約ニ三百九十七番宅地八十一坪ノ豫定價格ヲ四百八拾圓九拾錢餘ト見積リ大正二年四月之ヲ公賣ニ付シタルニ前者ハ百參拾圓ヲ以テ落札シタルモ後者ハ入札價格貳百七拾圓ニテ豫定價格ニ達セス爾後數回公賣ニ付シタルモ孰モ落札ニ至ラス更ニ豫定價格ヲ百五拾圓ニ低下シ同年七月百八拾九圓ヲ以テ賣却シタルモノナリ五年五月之カ實況ヲ調査スルニ右二筆ハ一方入口ノ接續地ニシテ三十九坪ノ分ハ表地ニ八十一坪ノ分ハ裏地ニ當ルヲ以テ一括シテ公賣ニ付スルヲ相當トスルニ表地ノ豫定單價ヲ裏地ノ約二分ノ一ニ見積リ且分割シテ公賣シタルカ爲表地ハ直ニ落札シタルモ裏地ハ豫定價格ニ達セス遂ニ當初ノ入札價格ニ比シ格段ナル低價ヲ以テ賣却スルニ至リタルモノナリ又差押物件中甕六十五箇ハ關係書類ニ徵スルニ差押前滯納者ニ於テ他ニ賣却シタルモノナルノ事實ヲ申出テ公正證書ヲ提供シ證明シタルニ依リ之ヲ解除シタリトアルモ其實同署在勤稅務署屬栗田某外三名カ徵收事務擔任中二年六月ヨリ三年三月ニ涉リ或ハ共謀シ或ハ單獨ニ滯納者數十名ヨリ現金收入若ハ滯納處分執行ノ上徵收シタル歳入金及歳入歳出外現金ヲ併セ千七百餘圓ヲ横領シタル事件ニ關聯シ右栗田某ニ於テ擅ニ差押調書中該物件ノ記載ヲ抹消シ制規ノ手續ヲ經ス二年八月中百四拾八圓ヲ以テ之ヲ賣却シ其代金ヲ横領シ收入ノ手續ヲ爲ササリシモノナリ右ハ滯納處分ノ執行宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出

内務省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(七)
請負契約ノ調査周到ヲ缺キ高價ノ運賃ヲ支出シタルモノ一件(八)
合計二件

四七〇〇〇
三、〇三四五三〇
三、〇八一五三〇

歳出經常部

第七款 北海道廳 第二項 廳費

【報告】

(七) 北海道廳釧路支廳ノ支出ニ係ル

四七〇〇〇

ハ郵便切手代トシテ證明シタルモノナルモ其實同支廳雇佐藤某カ大正四年十一月十二兩月中實際納付セサル物品ヲ納付シタルモノノ如ク裝ヒ商人大山某ヲシテ前記金額ヲ請求セシメ之ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出臨時部

第二款 治水事業費 第二項 河川費

【報告】

(八) 内務省東京土木出張所ノ支出ニ係ル

三、〇三四五三〇

ハ利根川改修用トシテ機關車一臺ヲ福岡縣遠賀郡島門村ヨリ掘鑿機一臺ヲ同縣鞍手郡植木町ヨリ千葉縣東葛飾郡野田町ニ運搬シタル賃金ニシテ博多通送株式會社ニ仕拂ヒタルモノナリ然ルニ其請負金額仕譯書ニ依レハ機關車一臺遠賀川驛隅田川驛間汽車賃六百拾八圓四拾八錢掘鑿機一臺筑前植木驛隅田川驛間八百參拾壹圓貳拾五錢計千四百四拾九圓七拾參錢ナルモ本院ノ照會ニ對スル九州鐵道管理局長ノ回答ニ依レハ本件汽車賃ハ機關車貳百八拾貳圓七拾五錢掘鑿機參百八拾七圓八拾四錢計六百七拾圓五拾九錢ニシテ甚シキ差違アルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本契約ヲ締結スルニ當リ豫メ同業者數名ヨリ見積書ヲ徵シ最低者ニ請負ハシメタルモノニシテ汽車賃ノ如キハ其内容ノ一部ニ過キス而シテ貨車積込ハ長尺又ハ濶大ナルモノト通常扱品トヲ取合セ積込ヲ了シ初テ貨切貨車ノ噸數ニ依リ賃金ヲ確定スルヲ以テ往往當初ノ見積ト相違ヲ生スルコトアリ且特ニ急ヲ要シタルト當時時局ノ爲貨物輻輳ノ時期ニシテ鐵道院ヨリ差廻貨車噸

大正四年度 大藏省 (九)

二〇〇

數ノ種類ヲ豫想シ得サリシヲ以テ十分安全率ヲ採リタルニ因ルモノナリト謂フニ在リ然レトモ本件運搬契約中汽車賃金ハ其内容ノ主要部分ニ屬シ又此種ノ物件ニ在リテハ積込上若干ノ安全率ヲ見込ムハ已ムヲ得サル所ナリト雖實際ノ汽車賃ニ比シ倍額以上ニ及ヘルカ如キハ畢竟請負契約ニ際シ調査ノ周到ヲ缺キタルニ因ルモノト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

大藏省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(九)

一五二^円三九〇

歳出經常部

第十五款 諸拂戻及缺損補填金 第一項 諸拂戻金

【報告】 (九) 名古屋稅務監督局ノ支出ニ係ル

一五二^円三九〇

ハ租稅及租稅外收入過誤納拂戻金トシテ證明シタルモノナルモ其實名古屋稅務署在勤稅務署屬河合某カ大正二年二月ヨリ四年九月ニ至ル間ニ於テ高木某外八十七名ノ地租所得稅營業稅及督促手数料ニ係ル過誤納金請求書ヲ偽造シ仕拂命令ヲ發行セシメ歳出金仕拂通知書ヲ騙取シ其結果保管金ヲ横領シタル總額千四百五圓八拾錢五厘ノ内ニシテ千貳百五拾參圓四拾壹錢五厘ハ明治四十五年度乃至大正三年度ニ屬スルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ騙取金ハ大正五年度ニ於テ辨償濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

海軍省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(一〇)

六三^円〇〇〇

歳出經常部

第二款 軍事實 第八項 造船造兵及修理費

【報告】 (一〇) 海軍造兵廠ノ支出ニ係ル

六三〇〇〇

ハ同廠品川臺場間兵器運搬ニ要セシ備船料トシテ證明シタルモノナルモ其實同廠兵器庫掛勤務海軍兵曹長色紙某カ横領シタル物品運搬ノ爲使用シタル備船料七拾四圓ノ内ニシテ拾壹圓ハ大正五年度ニ屬スルモノナリ其事實ハ同廠ニ於テ數年ニ涉リ各海軍工廠ヨリ送付シ來リタル粒藥罐及打殼藥莖其他火藥筒ニ附著セル眞鍮螺釘亞鉛ノ火藥内筒等多數ノ現品ヲ保有セルニ之ヲ物品會計官吏ノ保管ニ付セス帳簿外物品トシテ右色紙某ニ保管セシメ來リタリシカ同人ハ其内見積價格參萬五千貳百八拾五圓六拾貳錢壹厘ニ相當スル物品ヲ横領シ之カ運搬ノ爲使用シタル備船料ノ仕拂ヲ爲スニ當リ官品ヲ運搬シタルカ如ク裝ヒ運搬請負人ヲシテ該料金ヲ海軍造兵廠會計部ニ請求セシメ四年六月ヨリ五年六月迄ノ間ニ於テ數回ニ騙取シタルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ運搬費七拾四圓ハ請負人ヨリ回收ヲ了シ帳簿外物品ハ整理済

監督ノ任ニアリタル者ニ對シテハ相當處分ヲ加ヘ犯人ハ處刑サレ被害物品ノ價格ハ私訴判決ニ依リ賠償手續中

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

農商務省所管

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(一一)

一四五^円八四〇

歳出臨時部

大正四年度 海軍省 (一〇)

一一〇一

第四款 國有林野經營費 第二項 事業費

【報告】 (一一) 東京大林區署ノ支出ニ係ル

一四五^四八四〇

ハ福島縣耶麻郡奥田村大字飯根所在國有林ニ於テ大正四年度四月乃至十一月中使役シタル步道新設、林道修繕及手入事業人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實森林主事小石某カ同署管内喜多方小林區署在勤中實際使役シタル人夫ノ賃金ニ附加シ又ハ使役セサル人夫ヲ使役シタルモノノ如ク裝ヒ前記金額ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

特別會計

內務省所管

朝鮮總督府

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件 (一一)

三〇六^四四〇〇

土地買收價格ノ算定宜シキヲ得サルモノ一件 (一一)

三五五、四一九〇〇〇

合計二件

三五五、七二五、四〇〇

歳出經常部

第十一款 逓信費 第三項 海軍費

【報告】 (一二) 朝鮮總督府逓信局ノ支出ニ係ル

三〇六^四四〇〇

ハ神戸市大松某ヨリ購入シタル保護亞鉛板ノ代價トシテ證明シタルモノナルモ其實朝鮮總督府所屬汽船光濟丸事務長同府

逓信書記北村某カ大正四年度十月中前記物品四十枚ノ購入ヲ爲シタルニ拘ラス八十枚ヲ購入セシモノノ如ク裝ヒ大松某ヲシテ六百拾貳圓八拾錢ノ請求書ヲ提出セシメ其差額ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ本件責任者ハ刑事裁判ニ於テ懲役ニ處セラレレカ直接監督者ニ對シテハ大正三年度決算ニ於テ辨明ノ通意被處分ヲ了セリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

歳出臨時部

第九款 鐵道建設及改良費 第二項 改良費

【報告】 (一三) 朝鮮總督府鐵道局ノ支出ニ係ル

三五五、四一九〇〇〇

ハ朝鮮起業株式會社ヨリ鐵道用地トシテ買收シタル釜山鎮埋築地八萬百六拾九坪ノ代價百貳拾貳萬六千五百八拾五圓七拾錢ノ内ニシテ八拾七萬千六百六拾六圓七拾錢ハ大正五年度ニ屬スルモノナリ抑本埋築地ハ曩ニ韓人某等舊韓國政府ヨリ埋築特許ヲ受ケ爾後數次權利ヲ移轉シ明治四十一年中杉山某ノ名義ト爲ルニ至リ時ノ韓國内部大臣ヨリ政府又ハ統監府鐵道管理局ニ於テ港灣若ハ鐵道建設ノ爲ニ必要ナル場合ハ埋築地全面積ニ要シタル直接工事費工事監督費事務所費及讓渡ニ要シタル直接ノ諸經費ヲ所要面積ニ按分シタル金額ヲ以テ買收スヘキコトヲ條件トシ許可ヲ受ケタルモノナルニ杉山某ハ後其埋築權ヲ早川某ニ讓渡シ更ニ大正元年十月朝鮮起業株式會社ニ於テ之ヲ承繼スルニ及ヒ朝鮮總督府ハ追加命令ヲ發シ鐵道用地トシテ買收スヘキ所要面積ヲ八萬七千坪ト概定スルト共ニ其買收價格ヲ一坪拾五圓參拾錢ト定メ之ニ基キ本件用地ノ買收ヲ爲シタルモノナリ右買收價格計算ノ内容ヲ觀ルニ埋築工事費監督費事務所費等ノ豫定額百參拾八萬圓ノ外本社及創立費拾萬圓資本拂込豫定額百五拾萬圓ニ對スル三箇年間に配當利息貳拾七萬圓借入金六拾五萬圓ノ三箇年分利子拾五萬六千圓埋築權利買收費四拾萬圓ノ二分ノ一貳拾萬圓ノ間接經費ヲ加算シ合計貳百拾萬六千圓ヲ第一期埋築坪數十三萬餘坪ニ割

當テタルモノナルヲ以テ是等間接ノ費途ヲ計算スルハ當初杉山某ニ對スル舊韓國政府ノ命令條項ニ反スルノミナラス假リニ之カ加算ヲ認ムトスルモ本工事ハ三箇年ノ繼續事業トシテ完成セシムル計畫ナルヲ以テ當初ヨリ前掲工費豫定以上ノ拂込資本及借入金全部ニ對スル利息ヲ積算スルノ要ナキモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ當初杉山某ニ交付セル命令書ハ用語精確ヲ缺ク點ナキニアラサルモ要スルニ埋築實費ヲ以テ買收スルノ趣旨ニ外ナラス然ルニ該埋築權利ノ讓受人タル朝鮮起業株式會社ハ本事業ヲ遂行スルヲ目的トシ新設セラレタルモノナルヲ以テ會社創立費本社費拂込資本ニ對スル配當利息及借入金利子ヲ加算スルハ已ムヲ得サル所ニ屬シ結局個人企業タルト會社企業タルトニ依リ必然生シタル差異ニ屬セリ又資本ニ對スル利子ハ本事業ハ元年十月ヨリ四年三月迄ニ於テ竣功スヘキ計畫ナルヲ以テ其期間ニ對スル三箇年分利子ヲ見積リ借入金ニ對シテハ拂込資本カ二年ノ終リニ於テ略支出シ盡スノ計算ナルニ由リ其將サニ盡キントスル三年一月借入ルルモノトシ埋築地ハ工事竣功ト同時ニ直ニ賣却シ得ルモノニアラサルヲ以テ五年十二月迄ノ三箇年間ニ涉ル利子ヲ見積リタルモノナリト謂フニ在リ然レトモ當初ノ認可命令書ニ於テ其費途ヲ限定シテ買收價格計算ノ基礎ヲ定メ直接工費ノ外監督費事務所費等ヲ列記シタルニ由リ之ヲ觀レハ其個人企業タルト會社企業タルトヲ問ハス又其埋築權カ何人ニ移轉スルモ買收價格ニ右ノ如キ間接ノ經費ヲ包含セシムヘカラサルコト明カニシテ假リニ會社創立費及資本利子等ノ加算ヲ許ストスルモ百五拾萬圓ノ資本全部ニ對シ三箇年分ノ配當利息ヲ見積レルカ如キハ其必要ナキノミナラス尙借入金ニ對シ工事竣功以後ニ屬スル一年九箇月分利子ヲ計算シ且所要額ヲ六拾五萬圓ト爲シタルカ如キハ過當ノ計算ト謂ハサルヘカラス今本會社五年十一月末決算ノ現況ヲ觀ルニ本件買收價格ニ算入スヘキ經費ノ總決算額ハ八拾七萬五千餘圓ニ過キスシテ之ヲ竣功面積十三萬餘坪ニ割當ツルトキハ一坪六圓四拾八錢餘ニ當リ尙其實際拂込資本額七拾五萬圓ノ配當金支出額六萬餘圓借入金參拾六萬餘圓乃至五拾萬圓ノ利子支出額六萬貳千餘圓其他創立費權利買收費等ノ間接費ヲ併算スルモ總決算額ハ百參拾九萬餘圓ニ過キサルヲ以テ其一坪當費額拾圓參拾錢餘ト爲ルノ計算ニシテ買收價格ハ實費ニ比シ實ニ四割以上ノ高價ニ當レリ要スルニ本件ハ土地買收價格ノ算定宜シキヲ得サルモノニシテ不當ナリトス

【精明】

本件検査報告ノ要旨ハ當初ノ認可命令書ノ主旨ニ依リ工費等ノ外間接ノ經費ハ之ヲ加算スヘキニアラス假ニ會社創立費及資本利子等ノ加算ヲ許ストスルモ百五拾萬圓ノ資本全部ニ對シ三箇年分ノ配當利息ヲ見積リ尙借入金ニ對シ工事竣功後ニ屬スル一年九箇月ノ利子ヲ計算シ且所要額ヲ六拾五萬圓ト爲シタルハ過當ノ計算ニシテ會社ノ五年十一月末ノ決算ノ現況ニ觀ルモ實費ニ比シ四割以上ノ高價ニ當レリト云フニアリ

然ルニ當初ノ命令書ハ個人企業ノ場合ニ對スルモノニシテ其ノ權利ノ讓受人タル朝鮮起業株式會社ハ本件埋築ヲ目的トシテ新設セラレタル株式會社ナルヲ以テ埋築實費ノ計算中ニ本社費及創立費拂込資本ノ配當利息ヲ加算スルハ已ムヲ得サル所ナリ又資本全部ニ對シ三箇年分ノ配當利息ヲ見積リ借入金六拾五萬圓ニ對シ三箇年ノ利子ヲ計上シタルハ權利買收費本社費及創立費ノ如キ事業ノ初期ニ於テ支出ヲ要スルモノアリ又工事ノ順序上資本ノ拂込ヲ豫定シ且借入金ノ必要ヲ認メタル結果ニシテ埋築ノ實費ヲ以テ買收スルノ趣旨ニ於テ前後相異ナル所ナシ而シテ政府ニ於テ鐵道用地トシテ第一期埋築地ノ大半ヲ買收スルノ權利ヲ留保スル以上ハ豫メ買收ノ際ニ於ケル買上價格ヲ命令スルニアラサレハ會社事業遂行上困難ト認メ會社ノ事業計畫ヲ精査斟酌シテ單價ヲ定メタルモノニシテ敢テ不當ニ算定シタルモノニアラス

【貴決】 措置適當ヲ關ク

【衆決】 不當

臺灣總督府

歳出

工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ一件(一四)

三三八、七三九〇六〇

歳出臨時部

第一款 特別事業費 第一項 水利事業費

【報告】

(一四) 臺灣總督府土木局ノ支出ニ係ル

三三八、七三九〇六〇

ハ二層行溪埤圳工事並土壩灣庄發電工費大正五年度迄ノ決算額參百五拾七萬五千七百貳拾圓八拾壹錢ノ内ニシテ貳百四拾六萬五千參拾圓拾八錢ハ大正三年度以前ニ七拾七萬千八百五拾壹圓五拾七錢ハ五年度ニ屬シ外ニ六年度豫定額參拾壹萬千六百六拾貳圓拾六錢貳厘アリ抑本工事ハ埤圳六百拾七萬餘圓電氣百拾壹萬餘圓合計七百貳拾九萬餘圓ヲ以テ荖濃溪水

大正四年度 臺灣總督府 (一四)

ヲ阿猴廳下土壠灣庄附近ニ受ケ隧道ニ依リ楠梓仙溪ニ流下シ其落差ヲ利用シテ電力ヲ得更ニ隧道其他ノ水路ニ依リ二層行
 溪ニ導キ崇徳東里嘉祥内里地方ニ一大堰堤ヲ築設シテ貯水池ヲ設ケ臺南廳下維新里地方一帶ノ平野ニ灌溉セントスルモノ
 ニシテ即チ電氣工事ハ埤圳工事ニ附帯セシモノナルニ後計畫ヲ變更シテ之ヲ分離シ前記土壠灣庄附近溪流ニ堰堤ヲ築キ其
 水位ヲ高メ毎秒四百五十立方尺ノ水ヲ取入レ之ヲ中庄ニ導キ百一尺ノ落差ニ依リ約四千馬力ノ電力ヲ得ルコトトシ埤圳工
 事ハ老濃溪ノ水流ヲ楠梓仙溪ニ合スルノ計畫ヲ廢シ單ニ楠梓仙溪ノ水流ヲ二層行溪ニ合流スルニ止メ隧道其他ノ水路及貯
 水池ノ築造等ハ前計畫ニ基キ施行スルコトト爲シタルモノナリ今之カ施行ノ蹟ヲ觀ルニ埤圳工事ニ在リテハ本年度迄ニ六
 拾七萬餘圓ヲ支出シテ僅ニ楠梓仙溪二層行溪間ノ山脈ヲ貫通セル導水隧道八百三十餘間水路百餘間水橋三百餘尺等ヲ竣成
 シタルニ止マリ多大ノ費額ヲ要スヘキ貯水池堰堤及取入口其他ノ水路工事ハ爾後全ク之ヲ中止セリ五年四月及六年三月之
 カ實地ヲ検査スルニ右既成ノ工作物ハ空シク山間ニ放棄セラレ水路兩壁ハ所龜裂ヲ生シ水橋水路ノ接續部ハ寸餘ノ沈下
 ヲ來セルモノアリ電氣工事ニ在リテハ豫算ノ目的トスル所埤圳工事ノ施行ニ伴ヒ生スヘキ落差ヲ利用スルノ計畫ナルヲ以
 テ相互其工事ヲ分離シ獨立シテ施行セントスルハ豫算ノ目的ニ副ハサルノミナラス之カ爲工費ヲ倍加スノ不經濟ニ陥ルモ
 ノアルヲ免レスト雖當時當局者ノ説明スル所ハ二層行溪埤圳工事用動力ノ爲約二千馬力ノ電力ヲ必要トスルヲ以テ本發電
 工事ハ直接埤圳工事ノ爲施行スルモノニシテ工事用ニ使用シタル殘餘ノ二千馬力ハ之ヲ南部臺灣ニ供給スルノ利アリト謂
 フニ在リ然ルニ右電氣工事竣功後埤圳工事ハ全ク之ヲ中止シ毫モ其電力ヲ使用セサルノミナラス發電裝置ハ前年度迄ニ費
 額百八拾五萬餘圓ヲ以テ附屬雜工事ノ僅少部分ヲ除キ之ヲ完成シ發電ヲ開始シタルニ四年六月水害ノ爲工費四拾四萬餘圓
 ヲ要シタル堰堤ノ破壞ヲ見ルニ至リ茲ニ全ク其堰堤ヲ放棄シ更ニ本年度ヨリ費額六拾七萬圓ヲ以テ約一里ノ上流ニ取入口
 ヲ設ケ隧道暗渠等ニ依リ現取入口ニ連絡シ之ヲ發電所ニ導クノ計畫ヲ立テ目下施工中ニ屬セリ依テ右埤圳工事ノ中止及今
 後ノ方針並電氣工事ノ施行堰堤ノ破壞等ニ關シ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ本埤圳工事ハ多額ノ工費
 ヲ要スルニ拘ラス其效果速ナル能ハス加之工事施行上尙精査ヲ要スル點アルヲ以テ之ヲ見合セ桃園廳管内ニ於テ比較の少

額ノ工費ニ依リ速ニ其效果ヲ見ルコトヲ得ヘキモノアルヲ以テ之ヲ前ニスルノ趣旨ニ出テタルモノニシテ今後ノ方針ニ就
 テハ貯水池堰堤附近ノ地盤等精査ノ結果ヲ待テ決定スヘク電氣工事ニ就テハ埤圳ノ落差ヲ利用シ水力電氣ヲ起スヘ一般ノ
 方針ナリト雖實際ノ必要ト地形ノ如何ニ由リ必シモ然ルヲ要セス又堰堤ノ破壞ハ五月以降七月ニ渉ル出水ニ由リ砂礫玉石
 ノ間斷ナク堰堤上ヲ滑動流下シ遂ニ磨損ヲ生シタルニ因ルモノノ如ク其工事施行ノ初ニ當リテハ勿論最善ノ調査ヲ遂ケケ
 ルモノナリト謂フニ在リ元來本件水利工事ハ總費額七百貳拾九萬餘圓ヲ要スヘキ大工事ナルヲ以テ之カ施行ニ當リテハ全
 般ニ涉リ宜シク適當ノ調査ヲ遂ケ其遺漏ナキヲ期セサルヘカラス然ルニ埤圳工事ニ就テハ全般ノ效果ヲ顧ミス單ニ一部局
 ノ計畫ヲ立テ中途之ヲ停止シテ他ノ工事ニ著手シ或ハ本工事中最重要ニシテ巨額ノ工費ヲ要スヘキ貯水池堰堤ハ地質ニ
 關シ調査ヲ要スルモノアリトシ今尙其方針ヲ確定セス空シク既成ノ工作物ヲ放棄シテ荒廢ニ委スルカ如キハ畢竟調査ノ杜
 撰ナルト工事ノ緩急ヲ誤リタルノ結果ニシテ不注意ノ甚シキモノト認メサルヲ得ス又電氣工事ニ就テハ其使用ノ目的タル
 埤圳工事ノ計畫確立セサルニ先チ之ヲ施行シ竣功後埤圳工事ヲ中止スルカ如キハ緩急ヲ失スルノ甚シキモノナルノミナラ
 ス後ニ答辯スルカ如ク獨立シテ別途ニ之ヲ施行スルカ如キハ本項豫算ノ目的ニ副ハサルモノナリ又堰堤ノ破壞ニ關シテハ
 其設計ノ大要ヲ見ルニ當初其基礎ヲ岩盤ニ置クノ計畫ニシテ岩盤ハ周圍ノ狀態ニ照シ水底ヨリ平均五尺ノ下部ニ在リト假
 定シタルモ著手後四十五尺以下ニ在ルヲ確メ設計ヲ變更シ堤ノ敷幅ヲ大ニシ根入ヲ淺クシ上流ニ鐵筋混凝土床ヲ敷詰メ下
 流ニハ鐵筋ヲ以テ相互ニ連結セル大小二種ノ混凝土塊ヲ沈設シ河底洗掘ノ擴大ヲ防止スルノ計畫ナリシニ工事中洪水ノ爲
 堰堤ノ磨損及下流保護工流失破壞等ノ損害ヲ來シタルヲ以テ復ヒ設計ヲ變更シ下流保護工ノ下ニ大塊混凝土ヲ並列シテ其
 基礎ト爲シタルモノナリト雖本溪ノ實況ヲ觀ルニ溪流急激ニシテ且堰堤附近ハ巨石ノ堆積スルモノ頗ル多ク出水ニ際シ自
 然其奔流ト共ニ流下スルコトアルヘキハ當然豫期シ得ヘキ事項ナルニ拘ラス單ニ混凝土塊ノ沈設ヲ以テ其洗掘ヲ防止シ得
 ヘシト爲シタルカ如キハ畢竟當初設計ニ際シ精細ノ調査ヲ爲ササリシニ基クモノト認メサルヲ得ス之ヲ要スルニ本件ハ工
 事ノ施行ニ際シ適當ノ注意ヲ缺キ國庫ニ多大ノ損失ヲ及ボシタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件會計検査院ニ於ケル批難ノ要點ハ二層行溪埤圳工事ノ内補梓仙溪二層行溪間ノ山脈ヲ貫通セル導水隧造及水路、水橋ノ工事ヲ竣成シタル儘其ノ前後ニ關連セル工事ヲ中止シタルト土壩發電所堰堤破壞ノ點ニアルモノト認メラル前段ニ付テハ豫テ検査院ノ審理ニ對シ答辯セル如ク調査中ナリシカ現今ノ狀態ニ照ラシ之ヲ中止スルヲ得策ト認メタルヲ以テ之ヲ中止スルコトトセリ

後段堰堤ノ破壞ニ付テハ工事終了後間モナキ期間ニ於テ嘗テ經驗セサリシ長期間ノ高水ハ堰堤上流ヨリ非常ナル急勾配ヲ以テ大小無數ノ砂礫大石ヲ運ヒ來リ數十日ニ涉リ晝夜間斷ナク堰堤面ヲ衝動磨損シ遂ニ堤體及保護工ニ多大ノ損害ヲ與ヘタルモノニシテ此ノ如キ事例ハ誠ニ豫想外ノ事ニ屬シ至ク不可抗力ニ基キタルモノナリ

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

臺灣官設鐵道用品資金

歳出

採掘請負契約ノ名ヲ以テ隨意契約ニ依リ鑛業權ノ實質利益ヲ讓渡シ且歳入歳出ヲ混同シタルモノ一件(一五) 三四三六一 六三〇

第一款 鐵道用品費 第一項 鐵道用品費

【報告】

(一五) 臺灣總督府鐵道部ノ支出ニ係ル

三四三六一 六三〇

ハ臺北賀田某ヨリ購入シタル塊炭千七萬六千八百斤ノ代價ナリ右ハ同部カ鑛業權ヲ有スル臺北廳基隆堡及石碇堡所在石炭鑛區二十三萬餘坪ニ對シ賀田某ヲ鑛業代理人ト定メ大正四年六月中之ト石炭採掘請負契約ヲ締結シ採掘炭ノ一部ヲ買收スルコトト爲シタルモ本年度中出炭ナカリシカ爲請負人所有炭山ノ採掘炭ヲ以テ代納ヲ許可シタルモノナリ抑本件鑛區ハ曩ニ海軍省豫備炭田ナリシカ臺灣總督府ハ鐵道經營上石炭價格ノ高低ハ營業費ニ影響スル所少カラサルヲ以テ自衛上鑛區ヲ有シ場合ニ由リ採炭ヲモ自營シ燃料供給上遺憾ナカラシムルト共ニ一般工業界ノ爲不自然ナル炭價ノ變動ヲ防遏セントスルノ趣旨ニ依リ所管換ヲ受ケタルモノナリ然ルニ其後同府ハ寧ロ適當ノ斯業者ヲ鑛業代理人ニ選定シ經營ノ任ニ當ラシムルヲ得策ナリトシ前記賀田某ト採掘請負契約ヲ締結シタルモノニシテ其契約ノ要點ヲ舉クレハ(一)契約後二箇月以内ニ著手シ六箇年ヲ通シ切込炭三億萬斤ヲ採掘スルコト(二)鑛業上必要ナル一切ノ設備直接間接ノ費用及公租ハ鑛業代理人ノ負擔タ

ルコト(三)鑛業代理人ハ採掘炭中規格ニ適合スル中塊炭ヲ六箇年間毎年千六百萬斤宛鐵道部ニ供給シ若シ供給不能ノ場合ハ他炭ヲ以テ代納スルコト(四)供給炭價ハ四脚亭炭ニ對スル鐵道部ノ購買時價又ハ官民各二名ノ評定價格ヨリ一萬斤ニ付貳圓四拾錢ヲ控除シタルモノトシ採掘炭中該供給炭ヲ控除シタル殘餘ハ鑛業代理人ノ所得トスルモノナリ右ノ契約ハ名ハ採掘請負契約ナリト雖別ニ採掘工費仕拂ノ約款ナク採掘炭ノ内鐵道部ニ對シ一定數量ヲ賣却スルノ外全部鑛業代理人ノ所得トシ且代納炭ヲ許容スル等契約ノ名實相副ハサルモノアルヲ以テ該契約ノ趣旨ニ關シ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ鑛業代理人ハ本鑛區兩側ニ隣接スル鑛區ニ於テ採炭ヲ爲シ設備及運搬機關ヲ具有シ餘人ノ企及スヘカラサル點アルヲ以テ之ヲ代理人ト定メタルモノニシテ契約ニ採掘請負トアルニ拘ラス之カ工費ヲ仕拂ハス且其一部ヲ買上クルコトト爲シタルハ元來本鑛區ノ採掘ハ鐵道部ノ所要炭ヲ充スト共ニ一般工業界炭價ノ調節ヲ計ルカ爲ニシテ鐵道部ノ四脚亭炭需要高ハ一箇年約千六百萬斤ナルカ故ニ採掘工費ノ請負ト爲シ其所要數ノミヲ充ス計畫ニテハ採掘事業トシテ必ス所要ノ炭量ヲ得ルコト豫期シ難ク之ヲ得ルトスルモ本計畫ニ基ク採炭費ニ比例シタル經費ヲ以テ採掘シ得サルノミナラス殘粉炭ハ之ヲ販賣セサルヘカラス又炭價調節ノ目的ヲ充ス爲五千萬斤ヲ採掘スルモノトセハ所要炭ヲ控除シタル殘炭ヲ販賣セサルヘカラスルヲ以テ其煩累ヲ避ケタルト經費ノ都合トニ依リ之ヲ工費ノ請負ト爲ササリシモノナリ又契約面ハ採掘請負契約トアルモ其趣旨ハ然ラスシテ本契約ニ依リ代理人カ自己ノ經費ヲ以テ採掘シタルモノノ一部ヲ供給セシムルコトト爲シタルモノニシテ採掘炭ハ當部ノ所有ニ歸スルモノニアラスト謂フニ在リ右契約ノ内容及答辯ノ趣旨ニ依リ之ヲ案スルニ鐵道部ハ賀田某ヲシテ鑛業代理人トシテ鑛業管理ニ關シ鑛業人ノ爲スヘキ一切ノ手續ヲ爲サシムルト共ニ鑛區稅其他鑛業上ノ公租ヲ負擔セシメ採掘ニ係ル石炭ハ總テ採掘者ノ所得ト爲シ其一部ヲ割引價格ニ依リ買入ルルノ約款ニシテ又其一萬斤ニ對シ貳圓四拾錢ヲ割引納付スル計算ノ基ク所ヲ見ルニ本鑛區ノ總採炭量ヲ十億六千萬斤ト見積リ其ノ鑛區面積貳拾參萬貳千餘坪ニ對シ價格四萬六千餘圓其二十箇年償却利子(年六分)貳萬九千餘圓計七萬五千餘圓トシ部用炭買收見込年額千六百萬斤ノ二十箇年分三億二千萬斤ニ割當テ計算シタルモノニ係リ又契約期間終了後ハ之ヲ更新繼續セシムル方針ナルニ徴シ名ハ採掘

【辯明】 請負契約ト稱スルモ其實本件鑛區ニ屬スル鑛業權ノ實質利益ヲ隨意契約ニ依リ讓渡シ之カ對價ハ毎年供給炭ノ割引額ニ依リ漸次償却セシメントスルモノニシテ歲入歳出ヲ混同スルノ措置ト認メサルヲ得ス依テ本件ハ不當ナリトス

本件契約ノ目的ハ鑛區ヲ出讓シ又ハ鑛業權ヲ讓渡スルモノニアラス從テ契約ニ依リ減額シタル石炭買收費ヲ鐵道用品費ヨリ支出シタルノ故ヲ以テ歲入歳出ヲ混同シタルモノト解スルハ其ノ當ヲ得サルモノト認ムルモ斯ク検査院ト意見ヲ異ニシ議會ノ問題トナスハ本意ニアラサルヲ以テ今後更ニ講究雙方意見ノ一致ヲ圖ルコトトスヘシ

【貴決】 措置穩當ヲ闕ク

【衆決】 不當

樺 太 廳

歳出

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(一六)

三三二 五六五

歳出經常部

第二款 樺太廳 第六項 現業費

【報告】 (一六) 樺太廳ノ支出ニ係ル

三三二 五六五

ハ樺太廳農事試験場宇遠泊農圃人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實同廳技手山本某カ大正四年五月ヨリ十一月ニ至ル間ニ於テ實際使役シタル人夫ノ賃金ニ附加シ又ハ使役セサル人夫ヲ使役シタルモノノ如ク装ヒ前記金額ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虚構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

大 藏 省 所 管

國債整理基金

歳出

債券ノ募集ニ當リ必要ナキ引受保證ヲ爲サシメ之カ料金を支出シタルモノ一件(一七)

一三五、〇〇〇 〇〇〇

第一款 國債整理基金支出 第一項 國債整理基金支出

【報告】 (一七) 大藏省ノ支出ニ係ル

一三五、〇〇〇 〇〇〇

ハ鐵道債券募集額參千萬圓ノ内貳千七百萬圓ニ對スル引受料トシテ日本銀行ニ交付シタルモノナリ右ハ英貨鐵道證券償還ノ爲大正四年九月鐵道債券發行規程ヲ發布シ之カ募集ヲ爲スニ當リ日本銀行ヲ通シ横濱正金銀行日本興業銀行及東京大阪兩市ノ十二銀行ヲシテ引受保證ヲ爲サシメ引受總額貳千七百萬圓ニ對スル千分ノ五ニ相當スル引受料ヲ交付スルコトト爲シタルモノナルモ當時金融ハ極メテ緩漫ナリシヲ以テ特ニ引受保證ヲ爲サシムル必要ナキモノト認メ之カ事由ヲ大藏大臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ募集ノ成績ヲ良好ナラシムル必要アリシニ因ルモノニシテ其結果ノ良好ナリシハ全ク引受銀行ノ應募勸誘ニ努メタルニ由ルモノナリト謂フニ在リ然レトモ引受保證ハ財界ノ狀態ニ徴シ確實ニ募集ヲ期シ難キ處アルトキ應募ヲ確保スルモノナルヲ以テ金融緩漫ニシテ容易ニ所定ノ資金ヲ得ヘキ場合ニ於テハ全ク其必要ナキモノトス而シテ當時金融市場ハ商工業ノ不況ニ因ル資金需要ノ減退及時局ノ將來ニ對スル金融界ノ警戒心ニ因リ一種變態ナル金融緩漫ノ現象ヲ呈シ引續キ資金ノ回收著シク需要ニ超過シ數次預金利子ヲ引下クルモ遊資横溢シ銀行業者ハ遂ニ之カ調節ヲ要望スルニ至リ當局者モ亦其必要ヲ認メ本債券ヲ募集シテ外債ノ償還ニ充ツルコトト爲シタルモノニシテ又本件鐵道債券ノ發行條件ハ利率年五分最低發行價格九拾六圓五拾錢償還期限五箇年ナルヲ以テ當時ノ金融狀態ニ照シ其募集成績ノ良好ナルヘキハ當然ノ事理ニシテ之ヲ豫想スルニ難カラス現ニ應募額ニ就キ之ヲ觀ルモ發行價格ヲ超ユルモノ四千九百拾四萬餘圓發行價格ノモノ千貳拾貳萬餘圓計五千九百參拾六萬餘圓ニ上レルノ狀況ナリ又辯明中募集成績ノ良好ナリシハ引受銀行ノ努力ニ因ルト謂フト雖應募額ノ過半ハ一般應募ニ屬シ引受銀行ニ於テ應募又ハ取次キタルモノ貳千參百五拾六萬餘圓ニ止マルノミナラス引受銀行十四行中六銀行ノ如キハ各引受額貳百萬圓ニ對シ全ク取次ヲ爲サス若ハ取次額僅ニ數萬圓乃至數

拾萬圓ニ過キサルノ事實ニ徴スレハ引受保證ノ爲募集上ニ著シキ效果アリシモノト認メ難シ之ヲ要スルニ本件ハ鐵道債券ノ募集ニ當リ必要ナキ引受保證ヲ爲サシメ多額ノ料金を支出シタルモノニシテ不當ナリトス

【辯明】

公債ノ發行ニ付テハ其ノ公債ノ性質、金額及金融市場ノ狀況等ヲ斟酌シテ機宜ノ措置ヲ採ルヘキハ勿論ニシテ殊ニ金融市場トノ連絡ヲ保ツハ募債ノ成績ヲ擧グルニ於テ最必要ナリトス本件鐵道債券募集當時ニ於テハ金融緩慢ナリシモ検査報告ニ云フカ如ク一種變態ナル金融緩慢ニシテ當時時局ニ伴フ事業ハ未タ勃興セス時局ノ將來ニ對スル見振付カサルヲ以テ金融界ノ警戒心最甚シク日貸若ハ短期ノ資金ハ潤澤ナリシモ稍、長期ニ互ル資金ニ至テハ全ク之ト趣ヲ異ニシタル實狀ナリシナリ此ノ如キ狀勢ノ下ニ於テ既發行公債ノ利廻ヲ標準トシテ五箇年期限ノ鐵道債券ノ條件ヲ定メ之ヲ發行スルニ當リ從來ノ取扱ニ依リ銀行團ヲシテ引受ヲ爲サシメ從來交付シタリシ引受手数料ノ半額ノ割合ヲ以テ引受手数料ヲ交付シ廣ク應募ノ勸誘ニ努メシメ以テ募債ノ成績ヲ良好ニシ金融市場ノ公債ニ對スル氣配ヲ高メ一般公債ノ流通力ヲ増進セシメタルハ最機宜ノ處置ニシテ不當ニ非ス

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

帝國鐵道

歳入

契約上ノ違約金を特ニ免除シタルモノ一件(一九)

歳出

計畫宜シキヲ得ス工費ヲ損失ニ歸セシメタルモノ一件(一八)

虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(二〇)

合計二件

資本勘定

一歳出

第一款 鐵道建設及改良費 第一項 建設費

【報告】

(一八) 鐵道院ノ支出ニ係ル

ハ北海道湧別線中留邊藥社名淵間二十六哩餘ノ建設費額百七萬九千九百參拾六圓參拾六錢貳厘ノ内ニシテ九拾六萬五千五百七拾圓五拾九錢ハ大正三年度以前ニ屬スルモノナリ抑湧別線ハ網走本線野付牛驛ヨリ分岐シ下湧別ニ至ル五十哩餘ノ區間ニシテ明治四十四年度末野付牛方面ヨリ著手シ野付牛留邊藥間十四哩餘ハ軌間三呎六吋トシ竣功シタルモノナルニ拘ラス殘區留邊藥以北ハ二呎六吋ヲ以テ施工スルコトトシ社名淵間迄ハ四年十一月迄ニ漸次其營業ヲ開始セリ然ルニ五年一月更ニ計畫ヲ變更シ總テ之ヲ三呎六吋ニ擴張改築シ以テ全線軌間ヲ統一スルコトト爲セリ右ハ當初ノ計畫其當ヲ得サリシモノト認メ之ガ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ北海道ニ敷設スル鐵道ハ拓殖ノ目的上速ニ普及セシムルヲ要スルニ由リ幹線以外ハ成ルヘク建設費ヲ節約シ以テ此目的ニ副フコトヲ必要トス本件留邊藥下湧別間ノ鐵道ハ豫定線ノ一部ナルモ著手當時即チ明治四十五年度頃ニ於テハ財政ノ關係上豫定幹線ノ一部トシテハ當分著手ノ見込ナク而モ該地方開拓ノ爲ニハ一日ヲ緩フスル能ハサルノ狀態ナリシヲ以テ二呎六吋ノ輕便線ト爲シタルニ外ナラス然ルニ四年度ニ至リ六年度ヨリ湧別奈與呂間ノ鐵道建設ニ著手スル計畫熟シ前記區間モ北海道鐵道幹線ノ一部ト爲ルニ至レルヲ以テ之カ連絡荷物積替其他ニ鑑ミ其全通ニ先チ改築スルヲ利益ト認メタルニ由ルト謂フニ在リ然レトモ北海道鐵道敷設法ニ依ルニ其豫定線路中天鹽國奈與呂ヨリ北見國網走ニ至ル鐵道ト規定シアリ即チ本件湧別線ハ該線路ノ一部ニ屬シ天鹽北見ノ兩國ヲ連絡スヘキ幹線タルコトハ當初ヨリ明カナル所ニシテ當局者ハ本件區間起工當時ニ於テハ財政ノ關係上豫定幹線ノ一部トシテハ當分著手ノ見込ナキヲ以テ地方開拓ノ爲ニ二呎六吋ノ輕便線ト爲シタリト謂フト雖既ニ幹線タルコト明カナル以上ハ假令財政上ノ都合ニ由リ之ヲ輕便鐵道ト爲スモ敢テ其軌間ヲ縮少セシムルノ要ナク之ヲ縮少スルトキハ却テ彼此聯絡上多大ノ時間ト經費トヲ要シ作業上ノ不利少カラサルノミナラス軌間ノ縮少ニ由リ建設土工費ニ及ホスヘキ影響ハ爾後其擴築工事ノ請負費額六萬餘圓ニ過キサルニ徴スルモ其節約額ノ僅少ナルニ反シ兩軌間ノ聯絡驛ニ於テハ各軌間ニ應ジ總テ兩様ノ施設ヲ要シ現ニ留邊藥驛ノ如キハ用地諸建物費其他ニ就テ普通ノ中間驛ト比較シ建設費ヲ倍蓰セルノ事實アリ加之開業後直ニ之カ擴築ヲ爲シタルカ爲建造物車輛其他ノ材料ニ於テ多額ノ不用物件ヲ生スルニ至リタルカ如キハ其不利大ナルモノナリ要ス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通
ルニ本件ハ當初ノ計畫宜シキヲ得ス多額ノ工費ヲ損失ニ歸セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【貴決】 措置適當ヲ關ク 【衆決】 不當

(參照) ○北海道鐵道敷設法(明治二十九年五月十四日) 法律第九十三號

第二條 北海道豫定鐵道線路ハ左ノ如シ

一 天鹽國奈與呂ヨリ北見國網走ニ至ル鐵道

收益勘定

歳入

第一款 鐵道作業收入 第一項 運輸收入

【報告】 (一九) 本項決算額ノ外鐵道院ニ於テ違約金ヲ徵收セサルモノ 一、一四七、六〇〇

アリ右ハ朝鮮京城株式會社共益社カ北鮮産大豆ヲ釜山ヨリ内地ニ託送スル爲鐵道院ニ對シ大正三年十一月以降滿一箇年間ニ於テ出貨五千噸ノ責任ヲ附シ特約ヲ以テ運費ノ割引ヲ受ケ託送實績カ責任噸數ニ達セサリシトキハ出貨總數量ニ對シ一噸六拾五錢ノ割合ヲ以テ違約金ヲ納付スヘキ契約ヲ爲シタルニ拘ラス其託送數量三千三百四噸ニ止マリ責任噸數ニ達セサルヲ以テ鐵道院ニ於テハ違約金トシテ前掲金額ヲ徵收スヘキ筈ナルニ同社ノ情願ヲ容レ之カ免除ヲ爲シタルモノナリ之ニ對シ當局者ノ事由トスル所ハ同社ハ本件特約期間中ニ於テ當初ヨリ専ラ咸鏡南道産ノミヲ取扱フ豫定ニシテ咸鏡北道産ニ對シテハ未タ著手セサリシモノナリ然ルニ咸鏡南道ニ於ケル三年産大豆ハ同地方未會有ノ水害ニ因リ少カラサル減收ヲ來シ且其品質一般ニ降下シ内地ヘ移入ヲ減少セシ爲同社ハ右ノ外追加承認ヲ得タル龜浦洛東江發ノモノモ託送シ以テ出貨數量ノ増加ニ努力セシモ遂ニ責任數量ヲ滿タス能ハサルニ至リシモノナリ現ニ咸鏡南道ニ於ケル大豆ハ明治四十三年以來大正二年迄ハ漸次増加セルヲ以テ三年産モ亦之ト同一ノ割合ニ増加スルモノトセハ其收穫豫想高ニ比シ實收高ハ三割六分ノ減收ト爲ルニ本件託送實績ノ責任噸數ニ對スル不足ハ三割四分ニ當リ右收穫高ノ減少率以內ニ止マルヲ以テ是等ヲ斟酌シ

特ニ違約金ヲ免除シタリト謂フニ在リ然レトモ本件特約申請ニ關シ同社專務取締役西原某カ三年九月鐵道院ニ提出セル申込書ニ依レハ北鮮大豆(城津清津等ノ地)ヲ朝鮮郵船會社汽船ニテ釜山ニ接續シ鐵道院線各驛ニ發送セントスルモノニシテ咸鏡北道ニ於ケル三年産大豆收穫高ハ前年ニ比シ却テ約一割五分ノ增收ヲ示シ咸鏡南道ヲ合スルトキハ前年ニ比シ産額僅ニ五分餘ノ減收ニ過キヌ加之本件輸送ハ説明ノ如ク當初ヨリ咸鏡南道産ノミヲ目的トセルモノト爲スモ同道ニ於ケル三年産ノ不作ハ九月未會有ノ水害ニ基因セルモノニシテ其實實ハ三年十一月本件輸送契約締結ノ當時既ニ明瞭ノ事ニ屬スルヲ以テ之カ爲特ニ其責任ヲ免除スヘキモノニアラス要スルニ本件ハ契約上徵收スヘキ違約金ヲ特ニ免除シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 本件當事者共益社ハ大豆産地ナル朝鮮咸鏡南道ニ於ケル凶作故之ニ伴フ品質不良ノ爲當初豫期セサル手違ヲ生シ遂ニ契約數量ノ託送ヲ爲ス能ハサルニ至リタルモノニシテ其ノ事情ノ斟酌スヘキモノアルニ依リ契約ノ趣旨ニ鑑ミ違約金ヲ免除シタルモノナリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

歳出

第一款 鐵道作業費 第一項 事業費

【報告】 (二〇) 鐵道院ノ支出ニ係ル 一、四二五、五六〇

ハ出張旅費トシテ證明シタルモノナルモ其實神戶鐵道管理局運輸課勤務鐵道院書記豐島某カ同掛員總代トシテ俸給及旅費ノ請求ヲ爲スヲ奇貨トシ大正三年九月ヨリ四年十二月ニ至ル間ニ於テ技手村山某外十餘名竝自己ノ旅費請求ヲ爲スニ當リ出張區間宿泊日數等ヲ延長變更シ又ハ全ク出張ノ事實ナキニ出張シタルモノノ如ク裝ヒ旅費請求書ヲ偽造シ前後百數十回ニ涉リ横領シタル總額千八百五圓八拾六錢ノ内ニシテ參百八拾圓參拾錢ハ三年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

大正四年度 帝國鐵道 (二〇)

但シ犯人豊島某ハ大正五年二月裁判所ノ確定判決ニ依リ處罰セラレタリ而シテ横領金額一千八百五圓八拾六錢ノ内金七拾八圓七拾七錢ハ大正五年五月八日迄ニ犯人外一名ヨリ辨納シ殘額金壹千七百貳拾七圓九錢ハ貸付金トシテ兵庫縣廳ニ引繼キタリ

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス 【衆決】 不當

文部省所管

學校及圖書館

歳入

受託製作料ヲ歳入ニ編入セサリシモノ一件(二二)

一〇、七八九〇〇〇

歳出

事實ニ反スル證明ヲ爲シ公私ノ仕拂資金ニ充當シ收支ノ真相判明ナラサルモノ三件(二二)

四一、四二八四二〇

歳入經常部

第一款 學校及圖書館 第三項 諸收入

【報告】

(二二) 本項決算額ノ外東京美術學校ニ於テ收入ニ至ラサルモノ

一〇、七八九〇〇〇

アリ右ハ銅像臺坐石及周圍石垣工事七千五百圓銀花盛器製作參千圓菓子器插花製作及圖案料貳百八拾九圓ニシテ孰モ學校ノ名義ヲ以テ製作ノ契約ヲ爲シタルモノナルニ由リ本項歳入トシテ徵收スヘキモノナルニ其手續ヲ爲ササルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ銅像臺坐石及石垣工事ハ受託製作事業多キカ爲豫算ニ不足ヲ生シ且竣功期日切迫シタルカ爲鍋島某ヘ六千五百圓ヲ以テ請負ハシメ銀花盛器ハ初メ受託製品トシテ取扱ヒタルモノナルモ其後他ヨリ物品製作ノ委託ヲ受ケ仕拂豫算ニ不足ヲ來スノ虞アルヲ以テ其取扱ヲ中止シ貳千八百圓ヲ以テ山本某ニ製作ヲ命シ菓子器插花ハ其實委託ヲ受ケタルニアラスシテ單ニ本校ノ名義ヲ以テ尙工舎ノ物品ヲ取次キタルニ過キス隨テ其收入ハ歳入ニ組入レサルモノナリト謂フニ在リ然レトモ銅像臺坐石及周圍石垣工事ハ年度初頭ノ契約ニ係リ銀花盛器ノ製作ハ請負當時仕拂豫算壹萬千餘圓ヲ存スルヲ以テ豫算ノ關係ヨリ斯ル取扱ヲ爲シタルモノト認メ難ク又菓子器插花製作及圖案料ハ委託者ヨリ

受領シタル金額ト製作者ニ仕拂ヒタル金額トノ差參拾五圓ヲ利得シタル點ヨリ觀ルモ單ニ取次ヲ爲シタルモノト認ムルヲ得ス而シテ其經費ハ別項歳出經常部第一款學校及圖書館ノ部ニ詳述セシ如ク不當ニ仕拂請求書ヲ發行シ之ト引換ヘタル現金ヲ以テ立替拂ヲ爲シ代價ノ收入ト共ニ之ヲ填補シタルモノニシテ本件製作ヨリ生シタル利益合計千貳百參拾五圓ノ内四百貳拾七圓六拾六錢ハ銅像取附費及工事監督費等ニ百八拾壹圓五拾五錢ハ宴會費ニ充テ參百圓ハ製作品損失填補ノ趣旨ヲ以テ津田助教教授ニ交付シ殘金參百貳拾五圓七拾九錢ハ使途不明ニ屬シ當時ノ會計主任書記高田某ヨリ提供セシメ大正五年度ノ歳入ニ納付シタルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【詳明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 不當(二三五頁參看) 【衆決】 不當

歳出經常部

第一款 學校及圖書館 第二項 校館費

【報告】

(二三) 東京美術學校ノ支出ニ係ル

三八、八〇六四四〇

ハ華族會館外十二箇所ヨリ委託ヲ受ケタル製作物品ノ材料購入代及職工人夫賃等同校ノ支出ニ係ル

一一、一六六九八〇

ハ「モデル」備入料及乗車賃掛物箱外數十種ノ代價並運搬賃等

歳出臨時部第一款設備費第一項器具機械圖書及標本費ニ於テ同校ノ支出ニ係ル

四五五〇〇〇

ハ石版石研磨機被購入代トシテ證明シタルモノナリ右ハ大正三年度検査報告ニ詳悉セシ如ク受託製作品ハ山崎某外十六名ノ請負ニ付シタルモノナルニ拘ラス學校ニ於テ直接製作シタルモノノ如ク裝ヒ虚偽ノ人名ヲ用ヒ購入セサル材料物品ヲ購入シタルモノトシ證明シタルモノ五千七百四拾壹圓備入レサル職工人夫ヲ備入レタルモノトシテ證明シタルモノ參萬千六百拾參圓五拾錢其他事實ニ反スル證明ヲ爲シタルモノ千四百五拾壹圓九拾四錢ニ上リ又「モデル」備入料及乗車賃ハ受領シ

タル授業料又ハ擅ニ仕拂請求書ヲ發行シ現金ニ引換ヘタルモノ等ヨリ任意立替拂ヲ爲シ掛物箱外數十種ノ購入代及運搬賃等ノ仕拂ニ際シテモ實際ノ供給者ト異リタル用達商人等ノ名義ニ依リ虚偽ノ證明ヲ爲シ又研磨機械ハ五年中持込ミタルモ既ニ主要部分ニ大破損ヲ生シ到底修繕ヲ加フル能ハサルノミナラス該品ハ伊太利製ニシテ當分納入ノ見込ナキモノナルニ拘ラス代金ノ仕拂請求書ヲ發行シ之ヲ本人ニ交付セスシテ現金ニ引換ヘ他ノ用途ニ充テ供給者ニ對シテハ現金ノ預リ證ヲ交付シ同人ヨリハ物品ノ預リ證ヲ徴シ置キタルモノナリ要スルニ本件ハ獨リ證明ノ事實ニ反スルニ止マラス現金ノ取扱ニ關シテモ法規ニ背戾シタルモノ甚タ多ク又仕拂義務ノ未タ確定セサルモノニ對シ仕拂請求書ヲ發行シ之ヲ現金ト引換ヘ公私ノ仕拂資金ニ充當シ或ハ之ヲ學校職員ニ貸與シ其受拂ニ就テハ正確ナル記録ナク隨テ現金收支ノ真相判明ヲ缺キ其使途不明ニ屬スルモノ少カラス依テ本件ハ不當ナリトス (大正三年度(四六)一七五頁參看)

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 不當(二三五頁參看)

【衆決】 不當

農商務省所管

製鐵所

歳出

規格ニ反スル物件ニ對シ代價ノ仕拂ヲ爲シタルモノ一件(二三)

七、八三三^円八五〇

第一款 製鐵所作業費 第三項 材料藥品費

七、八三三^円八五〇

【報告】 (二三) 製鐵所ノ支出ニ係ル

ハ大正四年度三月乃至九月ニ於テ若松市小路某ヨリ購入シタル刈田産赤鐵礦千九百五十八噸餘ノ代價ナリ右ハ當初賣買契約締結ニ際シ納入ノ提出シタル鑛石見本分析ノ結果鑛以外ノ含有鑛物ニ對シテハ購買手續ニ依リ價格ヲ増減スルコトトシ第一見本品鐵含有量百分中五四・六〇ヲ一噸當五圓拾錢第二見本品同四四・〇三ヲ一噸當參圓拾五錢平均四圓ヲ契約價格ト定

メタルモノナリ然ルニ前記納入品ハ鐵含有量百分中三六・六九乃至四一・九三ニシテ見本品ニ比シ頗ル劣等品ナルニ之ニ對シ一噸四圓ノ契約價格ニ依リ仕拂ヲ爲シタルヲ以テ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ刈田鐵礦ハ媒熔劑トシテ使用シ併セテ其鐵分ヲ利用シ居ルモノニシテ此種ノ特種貧鑛ハ購買手續ニ依ル時ハ納入ニ於テ收支償ハサルヲ以テ特別條件ノ下ニ購入シ價格ハ生産費等ノ關係ヲ斟酌シ四年度迄ハ最低一噸四圓ヲ相當ト認メ處理シタリ而シテ當所作業ノ現況ニ於テ鐵含有量大體三五%迄ハ有利ニ使用シ得サルニアラサルヲ以テ四年度ニ於テハ之ヲ契約規格ノ使用シ得ル範圍ニ適合スルモノトシ取扱ヒタリト謂フニ在リ然レトモ本件物品供給請書ハ第一回三月六日附ノ分ニ於テ「品質ハ貴所ノ使用ニ堪ヘ得ヘキ範圍内ノモノトス」トアリ第二回七月六日附分ニハ「品質ハ提出見本程度ノモノニシテ貴所ノ使用ニ堪ヘ得ルモノトス」トアルニ徴スルモ本件物品ハ見本程度ノ品格タラサルヘカラサルコトハ疑ナキ所ナルヲ以テ納付シタル鑛石カ甚シク見本ニ異ナリタル劣等品タル場合ニ於テハ規格ニ反スルモノトシテ之ヲ排斥スヘク若シ強テ使用ニ供シ得ルノ故ヲ以テ特ニ之ヲ採用セントセハ相當値引ノ方法ヲ講スヘキモノナルニ拘ラス見本ニ異ナル劣等品ノ納付ヲ受ケ其價契約價格ニ依リ之カ仕拂ヲ爲スカ如キハ其措置當ヲ得サルモノト謂ハサルヲ得ス要スルニ本件ハ鑛石ノ購入ニ當リ規格ニ反セル劣等品ニ對シ契約價格ニ依リ之カ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

熔鑛爐ニ於テ鐵ヲ鑛ヨリ分離セシムルニハ鐵ヲ還元セシムルト同時ニ鑛中鐵以外ノ含有物ヲ鑛滓化セシメサル可カラシテ精鍊上又適當ノ鑛滓量ヲ必要トスルモノナリ而シテ鑛滓ハ主トシテ石灰ト鐵鑛中ノ硅酸ノ抱合物ヨリ成ル然ルニ製鐵所ニ於テ使用スル主要鑛石ナル大冶鑛石ハ硅酸ヲ含ムニト甚少ク適當ナル鑛滓ヲ作ルコト困難ナルヲ以テ特ニ硅酸ヲ投入シ相當量ノ流動性ニ富メル鑛滓ヲ組成セシムル要アリ而シテ硅酸ニ富メル而モ鐵分ヲ含有スル鑛石ヲ投入スルトキハ鑛滓組成ノ目的ヲ達スルト共ニ一方其ノ鐵分ヲ利用スルコトヲ得ヘシ刈田鐵礦ハ硅酸多キヲ以テ所謂媒熔劑トシテ使用シ旁其ノ鐵分ヲ利用セムカ爲ニ購入シタルモノナリ從テ購入規格タル「品質ハ提出見本程度ノモノニシテ貴所ノ使用ニ堪フルモノトス」トアルハ如上ノ趣旨ニ依リ必スシモ鐵分ノミヲ目的トシテ購入シタルモノニ非ス故ニ單ニ鐵分ノ少キヲ以テ直ニ劣等品ト謂フコトヲ得サルモノニシテ鐵分ノ含有量ハ作業上ニ有利ニ使用シ得レハ足ル而シテ本鑛ノ鐵含有量ハ大體三五パーセント以上アリ利用上支障ナク且硅酸分モ相當多量含有シ媒熔劑トシテ適當ナルモノナルヲ以テ製鐵所ノ使用ニ堪ヘ得ル

大正四年度 製鐵所 (二三)

モノナルノミナラス媒格トシテ敢テ見本ニ劣ルモノニアラス依テ當初契約ノ單價ニ依リ之カ仕拂ヲ爲シタルハ不當ニアラス尙契約締結ノ際納入提出ノ第一見本品第二見本品ニ付キ其ノ分析ニ依テ價格ノ計算ヲ試ミタルコトアルモ右ハ單ニ執務上參考ノ爲算出ヲ爲シタルモノニ過キスシテ契約ノ内容ヲ決スル爲ノモノニ非ス

官 金

【貴決】 措置適當ヲ闕ク

【衆決】 不當

國庫金ノ運用宜シキヲ得ス必要ナキ大藏證券ヲ發行シ國庫ニ不利ヲ來シタルモノ一件(二四)

【報告】 (二四) 政府ハ帝國鐵道會計法第十二條ニ依リ同會計所屬現金補足ノ爲大正五年二月十六日大藏省證券五百萬圓同月二十五日同證券六百萬圓ヲ割引日歩九厘仕拂期日ヲ同三月二十五日ト定メ之ヲ發行シタリ然ルニ當時國庫金ハ潤澤ニシテ年利一分二厘五毛ヲ以テ日本銀行ニ預入セル金額頗ル多ク其預入利率ハ該證券割引利率ニ比シ低率ナルヲ以テ右ノ現金ハ該預入金ノ屬スル會計ヨリ貸付スルヲ有利且適當ト認メ之カ事由ヲ大藏大臣ニ質問セシニ其辯明ノ要旨ハ當時各會計ニ於テ仕拂元ノ準備ヲ要スルハ勿論其他一般會計ニ於テハ既發行大藏省證券償還元ノ準備ヲ要シ有期證券ノ代用ニ融通スルハ不便ナルノミナラス當時ノ金融狀態ノ大局ニ鑑ミ國家經濟全般ノ利益ノ爲ニスル金融政策上一會計ニ於テ證券ノ發行アルニ拘ラス他ノ會計ニ於テ一時多少ノ餘裕ヲ見ルコトハ毫モ異トスヘキニアラス本件證券ノ發行ハ財政及經濟ノ見地ニ於テ當然ノ事理ナリト謂フニ在リ然レトモ本件證券發行當時ニ於テ國庫ハ五千萬圓内外ヲ保有シ漸次其額ヲ増加セルノミナラス國庫餘裕金ノ預入額ハ用途指定ノモノヲ除キ同證券五百萬圓發行ノ際五千四百五萬圓アリシヲ以テ一般會計及帝國鐵道會計所屬既發行大藏省證券貳千七百萬圓ノ償還元準備ヲ見込ムモ尙多額ノ預入金ヲ有シ又同證券六百萬圓發行當日ニハ既發行證券全部ヲ償還シタル上預入金參千六百八拾萬圓ヲ存シ爾後著シク其額ヲ増加シテ本件證券ノ償還ヲ了シタル日ニ於テ五千四百拾五萬圓ニ上レリ右ノ狀況ナルヲ以テ國庫餘裕金ヲ以テ優ニ鐵道會計ノ現金補足ヲ爲シ得ヘカリシノミナラス國庫金收支ノ關係上年度末ニ近ツクニ隨ヒ餘裕金ノ増加スヘキハ既往ノ事蹟ニ徴シ明瞭ナルヲ以テ豫メ之カ事實ヲ認識スルニ

【辨明】

難カラス而シテ帝國鐵道會計法第十二條ニ依レハ一般會計及他ノ特別會計ヨリ一時借入金ヲ爲スノ途ヲ開ケルヲ以テ先ツ國庫内貸借ノ方法ニ依リ之カ融通ヲ爲スハ同法規定ノ趣旨ニ適合スルモノナリ然ルニ多額ノ國庫餘裕金ヲ低利ニ預入セルモノアルニ拘ラス特ニ大藏省證券ヲ發行スルカ如キハ其當ヲ得タルモノト認メ難シ之ヲ要スルニ本件ハ國庫金ノ運用宜シキヲ得ス必要ナキ大藏省證券ヲ發行シ國庫ニ不利ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス

大正五年二月十六日及同二十五日政府カ帝國鐵道會計法第十二條ニ依リ大藏省證券千五百萬圓ヲ發行シタルハ當時國庫ニ餘裕金ノ現在シタルハ事實ナリト雖右ハ隨時ニ各會計ノ仕拂元ニ充當スルノ必要アリ又一般會計ニテハ既發行大藏省證券償還元ノ準備ヲ要スルアリ一面ニハ外債利子仕拂其ノ他外國拂資金ヲ充實スルト同時ニ輸出爲替資金ノ疏通ヲ圓滑ニスルカ爲メ隨時正貨買上ノ爲相當資金ヲ存シ置クノ必要アリシヲ以テ國庫餘裕金ハ直チニ之ヲ有期證券ノ代用ニ融通スルコト能ハサリシニ依ルモノナリ加之財政ノ運用ハ一般經濟金融ト調和ヲ保ツヲ要シ一般經濟金融ト離レテ財政ヲ運用スルハ其ノ當ヲ得タルモノニ非サルコト言フ俟タス當時ノ金融界ノ狀態ニ鑑ミルニ帝國鐵道會計ニ於ケル資金ノ需要ニ對シテハ寧一般市場ノ餘裕金ヲ之ニ向ケシムルヲ以テ金融政策上機宜ヲ得タルモノトセリ即チ本件大藏省證券ノ發行ハ財政及經濟ノ大局ヨリ見テ國家經濟全般ノ利益ノ爲ニ採リタル措置ニシテ偶一般會計ニ多少ノ餘裕アルニ拘ハラス帝國鐵道特別會計ニ於テ大藏省證券ヲ發行シタルコトハ毫モ異トスヘキモノアルヲ見ス帝國鐵道會計法第十二條ハ一般會計其ノ他ヨリ一時借入金ヲ爲シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得ルコトヲ規定シタルモノニシテ國庫ニ餘裕金アルトキハ必ス先ツ之ヨリ借入ルヘキコトヲ規定シタルモノニ非ス要ハ時ノ財政經濟ノ狀態ニ鑑ミ機宜ノ處置ヲ採ルヲ相當トス故ニ本件ハ時宜ニ適シタル至當ノ處置ナリ

【貴決】 異議ナシ

【衆決】 不當

(參照) ○帝國鐵道會計法(明治四十二年三月二十二日)

法律第六六號

第十二條第一項 本會計ニ於テ仕拂上現金ニ不足アルトキハ本會計ノ負擔ニ於テ一般會計他ノ特別會計其ノ他ヨリ一時借入金ヲ爲シ又ハ融通證券ヲ發行スルコトヲ得

官 有 物

船舶ノ保管ニ關シ料金ノ協定宜シキヲ得ス國庫ニ損失ヲ來シタルモノ一件(二五)

【報告】 (二五) 製鐵所ニ於テ其所有汽船沙首丸ヲ日本郵船株式會社ニ惠山丸及影島丸ヲ合資會社松昌洋行ニ保管ヲ委託シ之カ使

大正四年度 官有物 (二五)

用ニ對シ低廉ナル料金ヲ徵收セルモノアリ抑本件汽船ハ明治三十七八年戰役ノ捕獲船ニ係リ重量噸數影島七千十噸沙首五千二百三十噸惠山四千六百噸ニシテ海軍省ヨリ製鐵所ニ保管轉換後四十年四月影島沙首ノ二隻ハ日本郵船株式會社ニ惠山ハ三井物産合名會社ニ保管ヲ委託シ船員費保險料及小修繕費ハ保管者ノ負擔トシ之カ使用ニ依リテ得タル利益トシテ年額影島ハ九千圓沙首ハ七千五百圓惠山ハ八千圓ヲ納付スルノ契約ヲ爲シ四十五年六月七月海運界ノ好況ニ伴ヒ影島貳萬圓沙首壹萬八千圓惠山貳萬千六百圓ニ値上ヲ爲シタリ然ルニ開平炭ノ供給者タル前記松昌洋行カ一層有利ノ條件ヲ以テ汽船ヲ借入レタキ旨申出テタルニ由リ製鐵所ハ之ヲ容レ大正二年一月及同七月惠山影島二隻ニ對スル兩會社ノ保管ヲ解キ更ニ松昌洋行ニ保管ノ委託ヲ爲スニ至レルモノナリ而シテ右三隻ニ對スル契約關係ヲ觀ルニ松昌洋行ニ貸付セル惠山ハ期限ヲ二年一月以降三箇年貸付料ヲ貳萬五千圓トシ保管者ニ於テ大修繕費ヲ負擔スルノ外返還ノ際特別檢査ヲ經屬具ヲモ補修スヘク尙製鐵所ニ於テ滿期後同ノ期限及條件ヲ以テ引續キ保管ノ委託ヲ爲サントスルトキハ保管者ハ七箇年間之ヲ拒ムコトヲ得サルノ條項ヲ定メ五年一月以降料金年額五萬圓ニ改定增額シ影島ニ對シテハ期限ヲ二年七月以降三箇年トシ滿期後ノ保管續續ニ就テハ惠山ト同一ノ條項ヲ設ケタルモ貸付料ノ約款ニ就テハ其趣ヲ異ニシ三年十一月ニ至ル一箇年半ノ間ハ年額六萬圓トシ四年一月以降ハ時價ニ依リテ協定スルモ最低參萬圓ヲ下ルコトヲ得サル旨ヲ定メ之ニ基キ四年分ハ最低參萬圓ニ減額シ五年一月乃至六月分ハ年額八萬圓ノ割合ニ値上ヲ爲シ更ニ五月ニ至リ七月以降三箇年間ノ貸付料ヲ年額八萬圓ニ一定セリ又日本郵船株式會社ニ貸付セル沙首ハ從來ノ條件ニ依リ五年一月以降之カ料金ヲ年額六萬圓ト改定シ契約ヲ續行セリ右五年一月以降ノ貸付料ハ孰モ前年末ノ改定ニ係ル重量噸一噸一箇月當影島九拾五錢壹厘惠山九拾錢五厘沙首九拾五錢六厘ニ該當シ之ヲ時局ノ爲騰貴シタル一般備船料ニ比スルニ頗ル低廉ニ失スルモノト認メ之カ事由ヲ當該官吏ニ推問セシニ其答辯ノ要旨ハ

本件汽船ハ當初ノ保管者タル三井物産、日本郵船兩會社ニ於テ明治四十一年二月ノ交海運界ノ不況ニ際シテハ返納ヲ申出ツルニ至リシモ本所ト前記會社トハ他ニ取引ノ關係モアリ又他日海運界活躍ノ時期ニ於テハ多少損失補償ノ途アルハ

キヲ懇諭シ強テ之ヲ繼續セシメ來リタルニ偶本所原料炭炭用ノ開平炭一手販賣人タル松昌洋行ニ於テ四十五年四月以降十箇年間毎年三萬噸乃至七萬噸ヲ供給スルノ契約ヲ爲シ又同炭坑ニ對シテモ長期ノ坑木供給契約ヲ締結シタル爲本所汽船ノ借入方ヲ懇請シ來リ其條件從來ノ一會社ニ比シ有利ナリシヲ以テ惠山影島二隻ノ保管ヲ解キ更ニ松昌洋行ト契約ヲ締結シ貸付料ヲ引上ケ十箇年間一箇年ニ付惠山ハ貳萬五千圓影島ハ參萬圓乃至六萬圓ニ改定シ之カ期限ハ官有財產管理規則ニ遵ヒ先ツ之ヲ三箇年ト定メ期間滿了後七箇年間同一條件ヲ以テ保管ヲ繼續シ得ルコトトセリ尙影島ニ關シテハ契約書中「前項剩餘金ハ實費計算ノ煩雜ヲ避ケル爲ニ二年七月ヨリ三年十二月迄ノ間ニ在リテハ一箇年六萬圓ノ割合トシ其後ノ分ニ就テハ市場ノ景況ニ準シ雙方協議ノ上之ヲ定ムルモノトス但最低額ハ一箇年參萬圓ヲ下ラサルモノトス」トアリテ最高ノ文字ナシト雖六萬圓ヲ超エサルコトニ協議シタルモノニ係リ隨テ保管繼續ノ場合ハ兩船共値上ヲ強要スルコト能ハサルモノナルモ海運界ノ盛況ニ會シ特ニ値上ノ協議ヲ爲シ松昌洋行ハ契約當時ノ了解ト反スル旨ヲ以テ抗議ヲ提出シタルモ契約書ニ最高ノ制限ナキ以上多少ノ値上ハ已ムヲ得サル旨ヲ諭シ之カ料金ヲ增額シタルモノナリ而シテ該貸付料ハ四年十二月附ヲ以テ契約ヲ爲シタリト雖普通備船料ノ協議ハ運搬引受ノ關係上數箇月前ヨリ開始スルヲ例トシ本件亦四年一月乃至八月ノ平均備船料內航貳圓貳拾參錢外航壹圓九拾貳錢總平均貳圓九錢ヲ參考材料トシ同年八月九月頃ヨリ協議ヲ開始シタリ又本件保管者ハ一般ニ船主ノ負擔スル保險料修繕費船員費ノ全部ヲ負擔シ休航中ノ日數ヲ控除セサルノミナラス長期ニ渉ル契約ナルヲ以テ時價ニ比シ相當低廉ナルヘキハ素ヨリ當然ニシテ時局開始以來本所方爲シタル鑛石運搬契約ニ於テ其運賃カ殆ト平時ト大差ナキニ徵スルモ契約當時ニ於ケル一般備船料ニ比シ之カ高低ヲ論スヘキモノニアラス又影島ニ對シ五年七月以降料金ヲ一定シタルハ當時戰局ノ將來ニ對スル見解區區ナリシモ一箇年內ニハ終了ノ見込ナリシヲ以テ此際長期間一定ノ料金ニ變更スルハ好機ニシテ且本所ノ利益ト信シタルカ爲ナリト謂フニ在リテ尙惠山影島兩船借受ノ根本タル開平炭ノ價格ヲ其儘トシ獨リ貸付料ヲ値上スルノ不條理ナルコト松昌洋行及日本郵船株式會社ハ本件ニ關聯シ露領水産組合ニ對シ各汽船一隻ヲ低價ニ貸付セシ等ノ理由ヲ附加シタリ

本件保管契約書ヲ案スルニ汐首ハ保管期間當初ノ一箇年ヲ經過シタル後ハ六箇月前ノ豫告ニ依リ何時ニテモ解約シ得ルノ契約ナルヲ以テ協定料金ニシテ時價ニ伴ハサルニ至レハ相手方ニ對シ料金値上ノ協議ヲ爲シ適宜ノ方法ヲ執ルコトヲ得ヘク又惠山影島ノ二隻ハ共ニ三年ノ期間ナルモ料金ニ就テハ惠山ハ一定セルニ反シ影島ハ最低額ヲ定メ時價ニ依リ協定スルコトトシ滿期後ノ契約繼續ニ關シテハ惠山ハ明治四十五年七月二十日附影島ハ大正元年十二月二十日附契約書中共ニ「本件契約期間滿了ニ際シ製鐵所ニ於テ本船ノ使用ヲ必要トセサルトキハ該期間滿了ノ日ヨリ向七箇年ノ間ニ在リテハ製鐵所ハ本契約ト同一期間及條件ニ依リ本船ノ保管ヲ松昌洋行ニ委託スルコトヲ得本船ノ保管ヲ委託セラレタルトキハ松昌洋行ハ之ヲ拒ムコトヲ得ス」ト規定セルハ單ニ同一條件ヲ以テ保管ノ繼續ヲ爲サシムヘキ製鐵所ノ權利ト松昌洋行ノ義務トヲ定メタルニ止マリ本契約ノ效力ヲ十箇年間同一條件ノ下ニ繼續セシメントスルノ主旨ニ外ナラス隨テ製鐵所ハ滿期ニ際シ獨リ料金ノ値上ノミニ止マラス期間其他條件變更ノ協議ヲ爲シ不調ノ場合ニ於テハ之ヲ解除スル等適當ノ處置ヲ採ルノ自由ヲ有スルモノナリ而シテ船舶ノ管理ニ關シ既往ノ平均額ニ基キ一定ノ料金ヲ以テ長期ニ涉リ之カ使用ヲ許スノ契約ヲ爲スカ如キハ平時常調ノ場合ニ適用スヘキ方法ニシテ時局ノ爲當時激變セル海運界ニ對シテハ宜シク市場ノ狀況ヲ參酌シ其ノ契約期間ヲ短縮スル等管理上一層有利ノ手段ヲ採ラサルヘカラス然ルニ當局者ハ滿期ニ際シ單ニ料金ノミニ對シ市場ノ現況ニ伴ハサル僅少ナル値上ノ協議ヲ爲シ期間ハ從來ノ例ヲ踏襲シテ孰モ長期ニ涉ル契約ヲ爲シ殊ニ影島ニ對スル契約ノ如キハ期間中豫測シ難キ海運界ニ適應スル剴切ノ規定ナルニ五年五月三箇年ニ涉リ低廉ナル一定料金ヲ以テ保管ヲ繼續セシムルコトト爲セリ翻テ大正三年日獨開戰前後ニ於ケル海運界ノ狀況ヲ觀ルニ戰前ニ在リテハ三四千噸級ノ備船料一箇月一噸當壹圓五拾錢内外ナリシモノ開戰後約貳圓ニ騰貴シ三年末壹圓四五拾錢ニ下落シタルモ大勢ニ變動ナク爾來急激ノ騰貴ヲ來シ四年七八月ノ交五圓内外ナリシモノ十二月約拾圓ニ五年始約拾貳圓ト爲リ爾後更ニ騰貴ノ趨勢ヲ示セリ而シテ本件船舶料金中四年四月乃至十二月分ハ既往ノ契約ニ依リ變更ヲ許ササルモノ、外ハ時價ニ比シ低廉ナルモノアリト雖契約期間其他ノ條項ニ於テ一般備船契約ト同シカラサルモノアルヲ以テ之カ事情ヲ斟酌シ多少ノ低廉ナルハ已ムヲ得サル所

ナリト認ム然レトモ五年一月以降ノ料金ハ市場ノ現況ニ伴ハサル僅少ノ増額ヲ爲シタルニ止マルヲ以テ一般船主ノ負擔スル諸經費及休航日數等ヲ斟酌計算スルモ巨額ノ損失ヲ見ルニ至ラシメタルカ如キハ失當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス右ノ外當局者ハ開平炭ノ價格露領水産組合ニ對スル船舶低價供給等ニ關シ説明セル所アルモ孰モ別異ノ契約事項ニ屬シ本件料金協定ニ關スル契約トハ何等ノ關係ヲ有セサルノミナラス殊ニ開平炭ハ明治四十五年四月ヨリ大正六年三月迄一定ノ價格ヲ以テ供給スヘキ契約ナルヲ以テ其間價格ヲ据置クハ當然ノ事ニ屬シ答辯ノ如ク低廉ナル料金ヲ以テ船舶ヲ使用セシメ間接ニ價格ノ變動ニ因ル損失ヲ補填スルカ如キハ不當ノ措置ト謂ハサルヲ得ス之ヲ要スルニ本件ハ官有財産ノ管理ニ關シ貸付料ノ協定宜シキヲ得ス國庫ニ巨額ノ損失ヲ來シタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】

本件批難ノ要旨ハ大正五年一月以降ノ貸付料金カ當時市場ノ備船料ニ伴ハサル低廉ナル料金ナリト謂フニ在ルモノ、如シ之ニ對シテハ會計検査院検査報告中當該官吏ノ答辯ナルモノ、大要ヲ掲記シアルヲ以テ之ヲ詳記スルノ必要ナシト雖畢竟本保管料金ノ其ノ當時ノ備船料ニ比シ低廉ナリシ所以ノモノハ當初松昌洋行ト締結セシ保管契約ニ依リ該料金ヲ變更スルコトヲ得サリシ結果ニ外ナラス抑影島丸及惠山丸ヲ松昌洋行ニ保管ヲ委託スルニ至リシハ同行ニ於テ明治四十五年四月以降十箇年間額三萬噸乃至七萬噸ノ開平炭ヲ製鐵所ニ供給スルノ契約ヲ締結シ之カ運炭船トシテ製鐵所々屬汽船ノ使用方ヲ懇請シ來リタルニ基因スルモノニシテ其ノ當時同行申出ノ使用條件ハ他ノ受託人ニ比シ製鐵所ニ採リテ有利ナリシモ同行ハ單ニ一時有利ノ時期ニ於テノミ之カ保管委託ヲ受ケ海運界不況ノ際ニ於テ之ヲ返還スルカ如キ場合ナキヲ保シ難ク斯クテハ從來ノ經驗上製鐵所ノ不利渺カラサルノミナラス本船ハ既ニ老齡ニ屬シ今後新造船ニ對比シテ益不利益ノ狀況ノ下ニ立タサルヘカラサルモノアルヲ以テ遠ク將來ヲ慮ルトキハ一定ノ條件ノ下ニ長期ノ契約ヲナスヲ以テ最モ利益ナルモノト信シ松昌洋行ト交渉ノ末十箇年間一箇年ニ付惠山丸ハ二萬五千圓影島丸ハ三萬圓乃至六萬圓トシ官有財産管理規則ニ遵ヒ先ツ其ノ期間ヲ三箇年ト定メ該期間滿了後ニ於テハ總テ前期間ニ於ケルト同一條件ヲ以テ三箇年毎ニ契約ヲ更新スルコトノ契約ヲ締結シタルモノナリ故ニ大正四年四月乃至十二月迄ノ料金カ既往ノ契約ニ依リ之カ増額ヲ許ササルカ如ク大正五年一月以降ノ料金モ亦右ト同一理由ニ依リ市場備船料ノ昂騰シタル故ヲ以テ之カ値上ヲ強要スルコトヲ得サルモノニシテ検査報告所載ノ如ク三箇年ノ滿期更改ニ際シテハ製鐵所ハ獨リ料金ノミニ止マラス期間其他ノ條件變更ノ協議ヲ出シ不調ノ場合ニ於テハ之ヲ解除スル等適當ノ處置ヲ採ルヘシト云フカ如キハ新規契約ヲ締結スヘキ場合ニ云フヲ得ヘシト雖前段述フル所ノ本契約成立ノ由來及其ノ本旨ニ悖ルモノト謂ハサルヘカラス要スルニ大正五年一月

以降ニ於ケル保管料金ノ増額ヲ要求スルコトヲ得サルハ本契約當然ノ結果ナリト雖時偶海運界ノ盛況ニ際會シタルヲ以テ特ニ値上ノ協議ヲナシ松昌洋行ハ契約當時ノ了解ト反スル旨ヲ以テ抗議ヲ申出テタルモ影島丸ノ如キハ契約書ニ最高ノ文字明記ナキ以上多少ノ値上ハ已ヲ得サル旨ヲ論シ惠山丸影島丸共之カ料金ヲ増額シタルモノニシテ契約條項ニ基キタルモノニアラス而シテ該保管料ハ普通備船ノ場合ト異リ短期間ノ料金ヲ定ムルモノニアラスシテ之カ變更ハ向フ七箇年ノ長期ニ互ル料金ヲ協定スルモノナルヲ以テ單ニ其ノ契約當時ニ於ケル備船料ノミヲ標準トシテ之ヲ協定スルヲ得サルノミナラス本件保管料金ノ協議ヲナシタルハ大正四年度秋期ニ始マリ同年十二月ニ至リ契約ヲ締結スルニ至リシモノニシテ之カ決定ニ關シ參考材料トシテ調査シタル其ノ當時ノ備船料ノ平均相場ヨリ本件保管料カ普通備船契約ト異ルカ爲受託人ノ負擔セサルヘカラサル費用即チ保管期間内ニ於ケル一切ノ修繕費及修繕ノ爲要スル休航期間中ノ保管料並保險料船員給其ノ他契約解除ノ場合ニ於ケル特別検査ニ要スル費用等ヲ斟酌控除スルトキハ其ノ當時ノ備船料ニ比シ頗ル低廉ニ失シタルモノト謂フコトヲ得ス又大正五年七月以降影島丸ノ料金ヲ一定シタルハ同船ノ保管契約期間カ大正五年六月ニ至リ滿了シタルヲ以テ契約ニ基キ前期間ニ於ケルト同一條件ヲ以テ契約ノ更新ヲナシタルモノニシテ且戰局モ亦近キ將來ニ於テ終了スヘキヲ顧慮シ此ノ際長期間ニ互リ一定ノ料金ヲ確定スルハ好機ニシテ且製鐵所ノ利益ト信シタルカ爲ナリ

且又検査報告中開平炭明治四十五年四月ヨリ大正六年三月マテ一定ノ價格ヲ以テ供給スヘキ契約ナルヲ以テ其ノ間價格ヲ据置クハ當然ノ事ニ屬シ低廉ナル料金ヲ以テ船舶ヲ使用セシメ間接ニ價格ノ變動ニ因ル損失ヲ補填スルカ如キハ不當ノ措置アリト云フト雖前述ノ如ク長期間一定ノ價格ヲ以テ石炭ノ供給契約ヲ締結セルカ爲ニ又長期ノ本船保管ヲ締結セルモノナルヲ以テ本件料金協定ニ關スル契約ト何等ノ關係ヲ有セスト云フハ當事者間ノ協定ノ基礎トナリタル彼此ノ損益計算ヲ全然無視シタルモノニシテ事實ニ適合セサル見解ト謂ハサル可カラス現ニ大正五年度ニ於テ製鐵所ハ事業上更ニ多量ノ開平炭ヲ要スルニ至リタル際本船保管ヲ委託スルノ趣旨ニ鑑ミ炭價著シク暴騰セルニ拘テス松昌洋行カ義務數量以外ニ同一價格ヲ以テ更ニ二萬噸増加供給ニ應セシカ如キ尙又大正六年四月開平炭ノ價格改定ノ時期ニ於テ一般市場ノ價格ニ比シ著シキ低廉ナル價格ヲ以テ承諾シタルカ如キ事蹟ニ徴スルモ畢竟兩船保管ノ關係ニ基キタルモノニ外ナラス汐首丸ハ六箇月前ノ豫告ニ依リ解約スルコトヲ得ルノ契約ナルニ依リ大正五年一月以後協定料金ニシテ市況ニ伴ハサルニ至リタルトキハ相手方ニ對シ料金値上ノ協議ヲ爲シ適宜ノ處置ヲ採ルコトヲ得ヘキモノナリシモ既往ニ於テ海運界不況ノ際日本郵船會社ヨリ本船ノ返納ヲ申出タルニ強テ之カ保管ヲ命シタルカ如キ關係モアリ且大正五年度ニ於ケル運賃ハ備船料ノ昂騰ト共ニ騰貴セルニ拘ラス當時製鐵所ト日本郵船會社ト契約セル大正五年度製品運搬賃ハ大正四年度分ニ比シ僅少ノ値上ヲ爲シタルニ止マリシヲ以テ是等ノ事情ヲ參酌シテ大正五年度中一定料金ニ變更ヲ加ヘサリシモノナリ

以上ノ事實ナルヲ以テ敢テ國庫ニ巨額ノ損失ヲ來シタルモノト謂フヲ得ス依テ本件ハ不當ニアラス
【貴決】 不當(二二六頁參看) 【衆決】 不當

【參照】 ○官有財産管理規則(明治二十三年十一月二十五日勅令第二百七十五號)

第七條 官有財産ノ貸付ハ左ノ期限ヲ超エルコトヲ得ス

- 第一 樹木培養ニ供スル土地ハ八十年以内
- 第二 農工其ノ他ノ營業及住居ニ供スル土地ハ三十年以内
- 第三 土地森林ノ使用權ハ十五年以内
- 第四 右ニ掲ケサル物件ハ三年以内

既
往
年
度

既往年度

目次

豫算及法律勅令違背ノ事項 二二九^四

大正二年度 二二九

一般會計 二二九

 歲入 二二九

 歲出 二二九

 農商務省所管 二二〇

大正三年度 二二〇

一般會計 二二〇

 歲入 二二〇

 歲出 二二〇

 農商務省所管 二二〇

 大藏省所管 二二〇

 農商務省所管 二二〇

特別會計 二二〇

 內務省所管 二二〇

 臺灣總督府 二二〇

 歲出 二二〇

既往年度 目次 二二〇

既往年度 目次

大藏省所管	二三四
帝國鐵道	二三四
資本勘定	二三四
歳出	二三四
文部省所管	二三四
東北帝國大學	二三四
歳出	二三四

既往年度

豫算及法律勅令違背ノ事項

既往年度歳入ノ賦課徴收ニ於テ	
租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ三件	四一、七一一八二〇
同歳出ニ於テ	
虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ三件	一、一一一五六三五
工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ二件	九九七、八三八〇六〇
計畫宜シキヲ得ス工費ヲ損失ニ歸セシメタルモノ一件	一五四、〇七〇八一五
其他不當ナルモノ一件	四三一、一五五〇
合計七件	一、一五三、四五六〇六〇
ナリ	

大正二年度

歳入	
租税ノ徴收不足ニ屬スルモノ一件(二六)	三三、二九八三五〇
歳出	
虚構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ一件(二七)	二二七、〇〇〇
一般會計	
歳入經常部	
第一款 租税	
第二項 所得税	
既往年度	二三九

既往大正二年度 歳入 (二六) 農商務省 (二七)

1110

【報告】 (二六) 兩國橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三二二九八^円三五〇

アリ右ハ淺野セメント株式會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ資産價格評價益參萬六千九百四拾圓八拾壹錢及使用人ニ給與シタル割賦賞與金壹萬五千五百圓ヲ所得額ニ算入セス又前期繰越損失金參百參拾貳圓七拾七錢ヲ損金トシテ重複ニ計算シタルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正四年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

農商務省所管

歳出臨時部

第四款 國有林野經營費 第二項 事業費

【報告】 (二七) 大阪大林區署ノ支出ニ係ル

二二七〇〇〇

ハ三重縣員辨郡十社村登奈井尾國有林ニ於テ大正二年八月中使役シタル手入事業人夫賃トシテ證明シタルモノナルモ其實同署管内龜山小林區署長現金前渡ヲ受ケタル官吏山林技手藤村某カ同小林區署在勤森林主事織田某及同雇伊藤某ト共謀シ關係書類ヲ偽造シ同人ニ於テ其職務上龜山支金庫ニ委託保管セル前渡金ノ中ヨリ前記金額ヲ横領シタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

大正三年度

歳入

租稅ノ徵收不足ニ屬スルモノ二件(二八)(二九)

三八、四一三^円四七〇

歳出

虛構ノ事實ニ對シ支出ヲ爲シタルモノ二件(三〇)(三一)

八八八^円六三五

工事施行上ノ注意ヲ缺キ國庫ニ損失ヲ及ホシタルモノ二件(三二)(三三)

九九七、八三八〇六〇

計畫宜シキヲ得ス工費ヲ損失ニ歸セシメタルモノ一件(三四)

一五四、〇七〇八一五

其他不當ナルモノ一件(三五)

四三一 五五〇

合計六件

一、一五三、二二九〇六〇

一般會計

歳入經常部

第一款 租稅 第二項 所得稅

【報告】 (二八) 神田橋稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

三六、八一三^円〇六〇

アリ右ハ三菱合資會社ノ所得額ヲ決定スルニ當リ自保險勘定ニ屬スル收入支出ノ差額貳拾八萬參千七百七拾七圓四拾貳錢ヲ所得額ニ加算セサルニ因ルモノナリ依テ本件ハ不當ナリトス

【辯明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正五年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

第三項 營業稅

【報告】 (二九) 品川稅務署ニ於テ徵收不足ニ屬スルモノ

一、六〇〇^円四一〇

アリ右ハ品川白煉瓦株式會社ノ製造業課稅標準額ハ資本金額百拾四萬千五百七拾九圓壹錢建物賃賃價格四萬四千九百貳拾六圓七拾七錢從業者四百十五人ト決定スヘキモノナルニ其算定ヲ誤リ資本金額ヲ百拾六萬參千六百壹圓參拾六錢建物賃賃

既往大正三年度 歳入 (二八)(二九)

1111

既往大正三年度 大藏省 (三三〇)

三三三三

價格ヲ貳萬六千五百拾圓貳拾貳錢從業者ヲ四百十九人ト計算シタルニ因ルモノナリ右ハ取扱上ノ過誤ニ因リ徵收上ノ不足ヲ生セシメタルモノニシテ不當ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ大正四年度及同五年度ニ於テ訂正處分濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

大藏省所管

歳出經常部

第十五款 諸拂戻及缺損補填金 第一項 諸拂戻金

七五四三六〇

【報告】 (三三〇) 名古屋稅務監督局ノ支出ニ係ル

ハ租稅及租稅外收入過誤納拂戻金トシテ證明シタルモノナルモ其實名古屋稅務署在勤稅務署屬河合某カ大正二年二月ヨリ四年九月ニ至ル間ニ於テ高木某外八十七名ノ地租所得稅營業稅及督促手數料過誤納金請求書ヲ偽造シテ仕拂命令ヲ發行セシメ歳出金仕拂通知書ヲ騙取シ其結果保管金ヲ横領シタル總額千四百五圓八拾錢五厘ノ内ニシテ四百九拾九圓五錢五厘ハ明治四十五年大正元年度及大正二年度ニ百五拾貳圓參拾九錢ハ四年度ニ屬スルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

但シ騙取金ハ大正五年度ニ於テ辨償濟

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

農商務省所管

歳出臨時部

第四款 國有林野經營費 第二項 事業費

【報告】 (三三一) 鹿兒島大林區署ノ支出ニ係ル

一三四二七五

ハ鹿兒島縣大島郡天城村堀割及面繩國有林新植事業ニ關シ大正三年十二月及四年一月中實行シタル黒松苗木運搬賃トシテ證明シタルモノナルモ其實同署管内大島小林區署長山林屬上野某カ運搬人白山某ト共謀シ實際運搬ニ要シタル費用ハ參拾圓四拾七錢五厘ナルニ百六拾四圓七拾五錢ヲ以テ請負ヒタルモノノ如ク裝ヒ前記金額ヲ騙取シタルモノナリ右ハ虛構ノ事實ニ對シ仕拂ヲ爲シタルモノニシテ不當ノ支出ナリトス

【辨明】 會計検査院検査報告ノ通

【貴決】 將來ノ注意ヲ促ス

【衆決】 不當

特別會計

內務省所管

臺灣總督府

歳出臨時部

第一款 特別事業費 第一項 水利事業費

九九五九五〇^四〇四〇

【報告】 (三三二) 臺灣總督府土木局ノ支出ニ係ル

同府阿蘇廳ノ支出ニ係ル

一八八八〇二〇

ハ二層行溪埤圳工事並土壩灣庄發電工事費大正五年度迄ノ決算額參百五拾七萬五千七百貳拾圓八拾壹錢ノ内ニシテ百四拾六萬七千貳百九拾貳圓貳拾貳錢ハ大正二年度以前ニ百拾壹萬五百九拾圓六拾參錢ハ四五兩年度ニ屬シ外ニ六年度豫定額參拾壹萬千六百六拾貳圓六拾六錢貳厘アリ右ハ大正四年度歳出臨時部第一款特別事業費第一項水利事業費ニ詳悉セシト同シク工事ノ施行ニ際シ適當ノ注意ヲ缺キ國庫ニ多大ノ損失ヲ及ホシタルモノニシテ不當ナリトス(二〇五頁(一四)參看)

【辨明】 本件ハ大正四年度歳出臨時部第一款特別事業費第一項水利事業費ニ於テ辯明セルト全然同一ナルヲ以テ茲ニ辯明ヲ省略ス

既往大正三年度 農商務省 (三三一) 臺灣總督府 (三三二)

三三三三